

Kumamoto University

熊本大学概要

2010





Kumamoto University

熊本大学の校章は、熊本市の市木でもあり、キャンパス内にも多く植えられている「銀杏」がモチーフとなっています。

学内外のコミュニケーションの活性化を目的としたコミュニケーションマークは、くまもとの「く」を象っていると同時に、Kumamoto の「K」を変化させ、さらに前進していく矢印をイメージし、校旗を彩る紫紺とうこんで彩色したデザインです。伝統を尊重しながら、躍進を続ける熊本大学を象徴しています。

— 理念 —

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。

— 目的 —

教 育

個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。
学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力及び主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。

大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。

また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。

研 究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。

また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。

地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢的機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。

また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に努め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。

CONTENTS

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユニバーシティ・ミュージアム

1 最近の動き

| | |
|---------------|---|
| グローバルCOEプログラム | 1 |
| 教育改革プログラム | 2 |
| 組織の設置 | 3 |
| 国際活動 | 5 |
| 最近完成の建物 | 6 |

2 組織

| | |
|--------|----|
| 管理運営体制 | 7 |
| 教育研究組織 | 8 |
| 事務組織 | 10 |
| 役職者 | 11 |

3 教育研究等

| | |
|------------|----|
| 学部 | 13 |
| 大学院 | 15 |
| 専攻科・別科 | 17 |
| 研究所 | 17 |
| 機構 | 18 |
| 学内共同教育研究施設 | 18 |
| その他の組織 | 20 |
| 学外オフィス | 20 |
| 寄附講座 | 22 |
| 医学部附属病院 | 23 |
| 附属図書館 | 24 |

4 職員・学生数等

| | |
|---------------|----|
| 役員等数・職員数 | 25 |
| 学生・生徒・児童及び幼児数 | 26 |
| 入学状況 | 29 |
| 卒業後の状況 | 30 |
| 修了後の状況 | 31 |
| 学位授与数 | 32 |
| 奨学生数 | 32 |

5 国際交流

| | |
|------------|----|
| 国際交流協定 | 33 |
| 研究者の派遣・受入れ | 34 |
| 海外派遣留学生 | 35 |
| 短期海外語学セミナー | 36 |
| 熊本大学国際奨学事業 | 36 |
| 外国人留学生 | 37 |
| 国際交流会館 | 37 |

6 社会連携

| | |
|-----------|----|
| 生涯学習 | 38 |
| 包括的連携協定等 | 39 |
| 五高記念館入館者数 | 39 |

7 福利厚生施設

| | |
|--------|----|
| 福利厚生施設 | 40 |
|--------|----|

8 財政

| | |
|----------------|----|
| 平成22年度収入・支出予算額 | 41 |
| 科学研究費補助金採択状況 | 42 |
| 外部資金等受入状況 | 42 |
| 主な競争的資金採択状況 | 43 |

9 キャンパス

| | |
|----------|----|
| 土地・建物面積 | 45 |
| 位置図 | 46 |
| 主要施設等配置図 | 47 |

10 沿革

| | |
|-------|----|
| 沿革図 | 50 |
| 沿革略年表 | 52 |

11 熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

| | |
|--|----|
| | 55 |
|--|----|

学年暦

■ 学年開始 4月1日

■ 夏季休業 8月11日～9月30日

■ 卒業式 3月25日

■ 前学期 4月1日～9月30日

■ 後学期 10月1日～3月31日

■ 学年終了 3月31日

■ 春季休業 4月1日～4月3日

■ 開學記念日 11月1日

■ 入学式 4月4日

■ 冬季休業 12月25日～1月10日

1 最近の動き

グローバルCOEプログラム

グローバルCOEプログラムは、文部科学省が平成19年度に開始した事業で、世界をリードする創造的な人材育成を図るために、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援するものです。

衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点

- 実施期間：平成20～24年度
- 分野：機械、土木、建築、その他工学
- 拠点リーダー：秋山 秀典 大学院自然科学研究科 教授
- 中核専攻等名：大学院自然科学研究科複合新領域科学専攻

衝撃エネルギー（パルスパワー）は、瞬間的な超高エネルギーです。これを制御して、狭い領域に作用させることにより、水の瞬間的プラズマ化や地球中心部に相当する高圧力の発生など、通常の方法では不可能な現象、並びに反応を実現します。衝撃エネルギー応用は、環境保全、資源循環、食品、医療、ナノテクノロジー、極限物性などの分野にまで裾野が広がっており、極めて幅広い産業創生が期待できる有望な新領域です。

本プログラムでは、国際的イニシアティブを発揮することにより、衝撃エネルギー工学のグローバルな先導拠点を構築し、先導的人材の育成、新産業創生及び衝撃エネルギー工学の体系化に貢献します。このために、衝撃エネルギー工学の衝撃超高压分野、バイオエレクトリクス分野及び環境軽負荷分野の国際的イニシアティブを強化します。また、週1回COE関係者全員が参加する英語による若手融合プロジェクト



トセミナー及び海外リエゾンラボ、英語での国際先導若手研究者阿蘇合宿研修、若手研究者の経験不足を補うシニア知恵袋プログラム等のIMPACT（衝撃）プログラムを始動し、「衝撃エネルギーの科学と工学を基礎とし、専門の枠を超えた幅広い見方ができ、かつ豊かな創造性とグローバルな視野を持つ先導的人材」を輩出します。

エイズ制圧を目指した国際教育研究拠点

- 実施期間：平成20～24年度
- 分野：医学系
- 拠点リーダー：満屋 裕明 大学院生命科学研究部 教授
- 中核専攻等名：エイズ学研究センター

AIDSの病原体、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）が発見されてから27年が経過しましたが、HIV感染は今も世界中で拡大を続けています。日本でも新規の感染者・AIDS発症者数は増加を続け、AIDS拠点病院は最早やパンク状態です。

しかも、期待されたHIVに対するワクチンの開発は難航を極めています。確かに抗HIV薬による治療は長足の進歩をとげましたが、種々の副作用、薬剤耐性HIV株の出現、まだまだ不十分な治療効果等、問題が山積しています。

本プログラムでは、HIV感染症の基礎研究から治療薬・ワクチンの研究開発へと導くトランスレーショナルリサーチを通じて、高いインパクトのある知識と研究能力を涵養し、また、若手研究者と大学院学生を米国国立衛生研究所（NIH）やオックスフォード大学などに設置する海外リエゾンラボ（OLL）及び熊本と東京の国内拠点などの競争的環境に暴露しながら実践的に教育し、世界レベルで活躍できる基礎研究者（Basic Scientist）・臨床研究者（Physician Scientist）を体系的に育成します。



※医療におけるトランスレーショナルリサーチとは、大学等の基礎研究により見出された有望な技術や新規物質を探し出し、医薬品などの評価・承認に必要な前臨床試験・臨床試験を行いつつ、基礎倫理を臨床の場で実証することにより、実際に臨床で役に立つ技術・医薬品などを生み出す研究を指します。

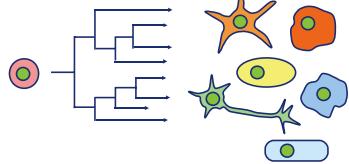
OLLのひとつとなるワシントンDCにある米国国立衛生研究所（NIH）の満屋研究室では、NIHのスーパーコンピューター（上）を使った構造学的解析（中はCCR5とその阻害薬の構造）が続けられている（下は満屋研究室のようす）

細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット

- 実施期間：平成19年度～23年度
- 分 野：生命科学
- 拠点リーダー：糸 昭苑 発生医学研究所 教授
- 中核専攻等名：発生医学研究所

リエゾンラボは、本プログラム活動の柱となるもので、大学院博士後期課程学生・学位取得後間もない博士研究員・教員などさまざまな層の研究者が、それぞれのもつ多様な学術的背景・知識・技術・経験などを活かしながら、相乗的に能力を引き出し合う触媒的役割をもつ組織です。このリエゾンラボにおいて、本プログラムでは、国内外の研究機関からの若手人材の雇用や、国外研究機関と連携した人材の相互派遣による鍛錬、国際学術集会の開催、若手研究者の自発的研究支援などの人材育成プログラムを実施しながら、国際水準の研究を推進しています。

細胞系譜制御とは、からだの成り立ちや臓器の形成と修復を司る、生命現象の理解に必須の仕組みです。様々な種類の細胞のもとになる細胞（幹細胞）から変化していく様子を細胞の系譜として捉える概念です。




教育改革プログラム

GP(Good Practice:優れた取組み)をキーワードとして、教育方法やカリキュラムなどの教育課程の工夫・改善や、社会からのニーズの強い課題に対応した取り組みなど、学生教育の質の向上を目指す特色ある優れた取組みを文部科学省が支援するもので、平成21年度は本学から以下の3件が採択され、平成15年度の制度開設当初からの採択数は32件に及んでいます。

理数学学生応援プロジェクト

■高・大・大学院連携型理数学学生ステップ・アップ・プログラム

理数科目に強い興味を持つ学生に、その意欲・能力を伸ばす少人数特別プログラムを提供し、科学技術をリードする人材を養成する。

組織的な大学院教育改革推進プログラム

■イノベーション創出のための大学院教養教育

大学院生向けの教養教育で物事を本質から考える力や幅広い発想を身につけさせ、新しい価値を創造する力を持つ人材育成を図る。

大学教育推進プログラム

■学習成果に基づく学士課程教育の体系的構築

教養と専門の壁を超えたカリキュラム改革で、学士課程全体の学習成果として、創造的知性と実践力を兼ね備えた人材を育成する。

1 最近の動き

組織の設置

大学院薬学教育部創薬・生命薬科学専攻(博士前期課程) 平成22年4月設置

大学院薬学教育部創薬・生命薬科学専攻(博士前期課程)は、独創的な発想力、探究心、創薬マインドを育みながら、物理系薬学、化学系薬学、生物系薬学、生命科学を中心とした基盤的学問を修得し、創薬科学や生命科学分野の先端的研究者及び医薬品の開発の場で先導的役割を担う研究者・技術者として活躍する人材を育成することを目的として設置されました。

博士前期課程創薬・生命薬科学専攻は、1専攻4コース制としています。「創薬研究者養成プログラム(大学院教育改革支援プログラム)」に基づき、1)医薬品の体内動態評価、製剤化および薬物送達について学ぶドラッグデリバリー(医療系創薬研究者の養成)コース、2)医薬品のターゲットを発見し、その探索について学ぶバイオファーマコース(生物系創薬研究者の養成)、3)医薬品の合成・設計について学ぶメディシナルケミストリーコース(化学系創薬研究者の養成)を設置するのに加えて、4)生命資源学を基盤として再生医療や細胞医療を担う生命科学研究者を養成するライフサイエンスコースを新設し、社会が求める各コースのスペシャリストを養成します。

■大学院薬学教育部創薬・生命薬科学専攻(博士前期課程)の特色

【目的、課題、養成する人材】

平成18年度からの薬学4年制学科の学年進行の修了に伴い、創薬及び生命科学研究に集中する教育研究を行い、医薬品創製及び生命科学の現場で主導的な役割を果たすスペシャリストを養成する。

【教育体制:教育方法】

現在の講義・実習(研究室毎に教員の専門分野を教える教育)を改め、網羅的、系統的、組織的な講義・実習(各コース所属の教員全員で各院生の教育を行う、コース単位での講義・実習・演習)を考案し実行する。

【教育体制:教育課程の編成の考え方】

社会が求める各スペシャリストの養成を目指し、薬学教育部及び薬学部を担当する全教員に加えて、生命科学系グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」を推進する教員を配置し、教育・研究を推進する。

【教育体制:履修方法】

総合的・学際的な内容や国際化に必要な英語能力やプレゼンテーション能力などの向上を図るための実習・講義・演習は、共通科目とし、その他の科目は専門性を重視し、各コースに特化した実習・講義・演習を行う。また、履修に際しては、大学院実質化を強く意識とともに、eラーニングシステムの活用などにより、効率的・効果的な授業とする。

【実習】創薬及び生命科学研究者としての実践力・国際力を鍛える

各コースとも2科目ずつの実習を行う。

ドラッグデリバリー：創薬動態実習、先端DDS実習

バイオファーマ：生体機能分子学実習、薬効解析学実習

メディシナルケミストリー：先端有機化学実習、先端物理化学実習

ライフサイエンス：発生学実習、生命資源学実習

薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンター 平成22年4月設置

熊本大学大学院薬学教育部附属薬用植物園では、官立熊本薬学専門学校の薬草園として昭和2年に開設されて以来、薬用植物など約1,000種の栽培・育種・薬用植物学の研究・教育、薬用植物の維持・保全、観察会・勉強会などの社会貢献、さらには諸外国との共同研究に取り組んできました。また、熊本大学薬学部では文部科学省平成20年度「質の高い大学教育推進プログラム」に採択された「エコファーマーを担う薬学人育成プログラム」に基づき、薬学の視点に立って環境問題に取り組むエコファーマーを推進し、優れた環境マネジメント能力と行動力を育て、地域・国際社会に貢献する薬学人を養成するため、さまざまな活動を行ってきました。そこで、これまでの薬用植物の研究教育及び社会貢献の実績にエコファーマーの考えを組み入れた薬用資源エコフロンティアセンターを設置しました。

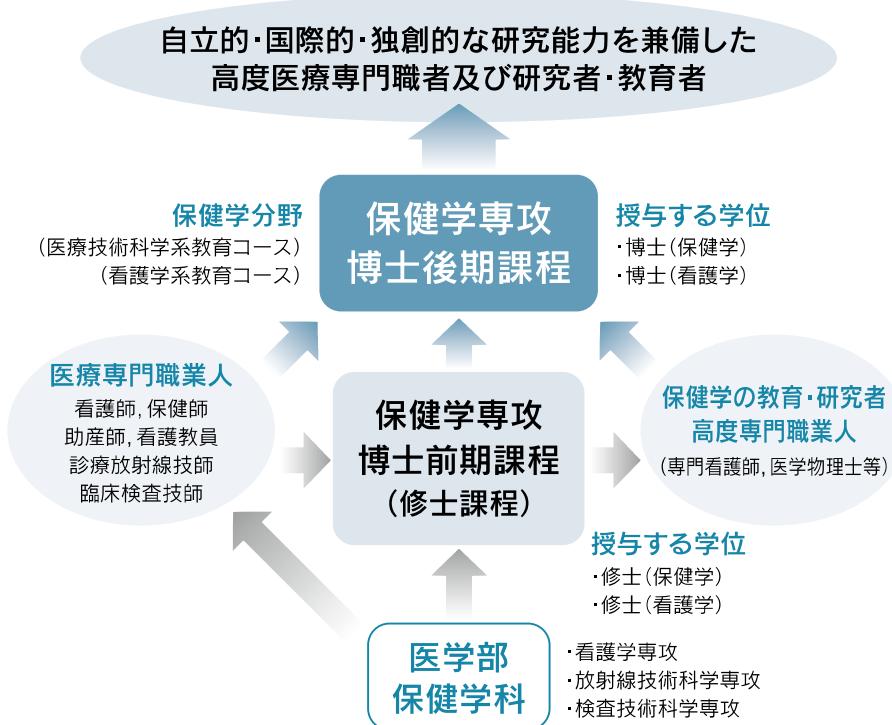
「薬用資源エコフロンティアセンター」は、平成18年度に設置した「薬学部附属創薬研究センター」、平成20年度に設置した「薬学部附属育薬フロンティアセンター」とともに創薬、育薬、薬用資源・エコの3拠点による薬学の研究・教育が強力に推進されることとなるところから、薬用植物園を発展的に薬学部附属のセンターとして改組したものです。

| 薬用資源エコフロンティアセンター | |
|-------------------------------------|--|
| 教育研究部門 | 地域国際連携部門 |
| 薬用植物園分野 天然資源化学分野 薬用資源・環境分析学分野 | 地域大学連携分野 エコファーマ地域連携分野 希少薬用植物国際連携分野 |

薬用資源エコフロンティアセンターは、「教育研究部門」と「地域国際連携部門」からなっています。「教育研究部門」には、これまでの薬用植物園の業務である薬用植物の教育研究及び社会貢献を行なう「薬用植物園分野」、海洋を含めた広い天然資源に係る教育研究を行う「天然資源化学分野」、薬用資源に係る教育研究を行うための分析技術の充実を図る「薬用資源・環境分析学分野」を配置し、「地域国際連携部門」には、地域の他の大学との連携をはかる「地域大学連携分野」、エコファーマを遂行するための地方公共団体等との連携をはかる「エコファーマ地域連携分野」、希少植物をもつ海外の大学との連携を図る「希少薬用植物国際連携分野」を配置しています。



大学院保健学教育部保健学専攻(博士後期課程) 平成22年4月設置



大学院保健学教育部保健学専攻(博士後期課程)は、看護学、放射線技術科学及び検査技術科学が共通の基盤に立ち、かつ専門的な視点から、健康支援と疾病の予防を推進することを念頭に、『保健学の学問体系の確立と発展に貢献すること』を基本理念として設置されました。

本課程では、博士前期(修士)課程で培った実践・研究能力を基盤に、保健・医療・福祉分野における学問体系の確立と技術の開発を積極的に推進し、保健学に関する豊かな学識と自立的・国際的・独創的な研究能力を兼備した高度医療専門職業人及び研究者・教育者を養成します。

なお、博士後期課程設置に伴い、修士課程は博士前期課程となりました。

1 最近の動き

国際活動

交流協定(学術交流および学生交流)

平成21年度は次の協定を含めて、大学間交流協定6校、部局間交流協定12校と交流協定を締結しました。

■本学にて以下に紹介する大学と大学間学術・学生交流協定を締結し、それぞれ調印式を行いました

[大学間学術・学生交流協定締結 山東大学]

山東大学は1901年に創立された中国教育部直轄の大学で山東省の科学技術や技術開発の中心であり、高度な技術者を育成しています。平成9年度に山東大学の前身である山東工業大学と本学工学部・大学院自然科学研究科との部局間交流協定締結以降、留学生および研究者の受け入れ、情報交換、ワークショップの開催、共同研究等を実施してきました。

[大学間学術・学生交流協定締結 四川大学]

四川大学は、中国南西部で最初に創立された110年以上の歴史を有する総合大学です。同大学は理学、医学、工学系の分野で多くの業績を有し国家重点大学として指定されています。本学工学部・大学院自然科学研究科は、平成9年度に部局間交流協定を締結し、研究者の相互



交流、研究活動など活発な交流を行い、平成12年度より同大学と本学大学院自然科学研究科と2年に一度合同シンポジウムを開催しています。

[大学間学術・学生交流協定締結 吉林大学]

吉林大学は、1946年に設置された中国の国立大学で、中国国家重点政策211プロジェクト及び同985プロジェクトに指定されており、その研究内容は国内外から高い評価を得ています。本学とは、平成17年度より研究者の受け入れ及び共同研究などを通じて継続的に交流を行ってきました。



[大学間学術・学生交流協定締結 朝鮮大学校]

朝鮮大学校は、韓国南西部全羅道地方で最初に設立された私立大学であり、国内外で高い評価を受けています。平成15年度に朝鮮大学校人文学部と本学文学部との部局間交流協定の締結以降、活発な研究者交流活動が行われており、なかでも考古学分野において大きな学術的成果を挙げています。



これらの協定関係により今後、本学との共同研究、研究者及び留学生の相互交流がさらに発展することが大いに期待できます。

国際フォーラム等

■「国際学長フォーラム—第7回熊本大学フォーラム」を開催

「第7回熊本大学フォーラム」が平成21年10月31日、熊本大学で開催されました。「熊本大学フォーラム」は大学の情報を発信する場であり、平成15年度から国内外で毎年開催されています。平成21年度は、新制国立大学発足から60周年を迎えたことを記念して「国際学長フォーラム—第7回熊本大学フォーラム」を開催し、世界11カ国の交流協定大学25校の学長・副学長が参加しました。午前の部の「国際学長会議」においては、海外協定校7校の発表と各大学が取り組む国際的教育研究連携についての紹介、具体的な共同研究や共同人材育成のプログラム形成などについて議論が交わされました。午後の部の「記念講演会」においては、午前の「国際学長会議」の成果報告と海外協定校4校が各大学の国際化推進活動について発表しました。

また、本フォーラム開催期間中に、参加校である山東大学(中国)吉林大学(中国)四川大学(中国)朝鮮大学校(韓国)との交流協定調印式が行われました。

本学では、国際化推進を全学的な重点課題として位置付けるとともに、積極的に国際交流活動を展開する方針を打ち出しており、平成22年度は、「熊本大学フォーラム」の海外での開催が予定されています。



■第3回学生国際会議(ICAST)を梨花女子大学校(韓国・ソウル)で開催

平成21年12月12日、13日の両日第3回学生国際会議(ICAST: International Student Conference on Advanced Science and Technology)を梨花女子大学校(Ewha Womans University)との共催により、梨花女子大学校・Ewha Campus Complexで開催し熊本大学から89名の学生が参加しました。

本国際会議は平成19年度採択の大学院教育改革支援プログラム「大学院科学技術教育の全面英語化計画: GRASIUS (Graduate School Action Scheme for Internationalization of University Students)」での取り組みの一つとして、位置付けられているものです。(平成20年3月には本学大学院自然科学研究科にて、また12月には中国・北京大学との共催で北京大学の国際交流センターにて開催)

平成21年度は学生交流協定のある梨花女子大学校をはじめとして、ソウル国立大学校(韓国)、ソウル市立大学校(韓国)、ソウル女子大学校(韓国)、KAIST(韓国)、成均館大学校(韓国)、エーゲ大学(トルコ)、四川大学(中国)、ITS(インドネシア)などの海外大学より67名の学生が参加し、オーラルおよびポスターセッションにて英語による研究成果発表や討論が行われました。平成22年度はエーゲ大学での開催が予定されています。



最近完成の建物

(黒髪)耐震対策事業(改修)

場 所 黒髪北地区・南地区

建 物 ①(黒髪北)教育学部本館Ⅱ期

②(黒髪北)文学部・法学部本館Ⅱ期

③(黒髪北)教育学部東教室

④(黒髪南)共用棟黒髪7(旧図書館工学部分室)

⑤(黒髪南)水理実験棟

構 造 鉄筋コンクリート造

改修面積 ①4,544m² ②2,721m² ③1,718m² ④404m² ⑤599m²

概 要 教育研究に著しく支障をきたしていた既存校舎等の機能改善、老朽再生を目的とした耐震補強および内部改修を行い、その際、学生のためのスペースを確保した。

また、共用棟黒髪7は大正14年建設当時の装飾を残しながら、1階を学生ラウンジ、2階を共用スペースとして改修を行い、新たな利用価値を生み出した。

主要な室 教員室、実験室、研究室、ラウンジ、共用スペース

完 成 平成22年3月(事業全体)



同右 学生ロビー



文学部・法学部本館



共用棟黒髪7



同左 学生ラウンジ

薬学部附属育薬フロンティアセンター(新営)

場 所 大江地区

構造・階 鉄骨造／地上1階

建築面積 196m²

延床面積 196m²

概 要 平成18年に本学に設置された「創薬研究センター」や学内外の教育研究機関との有機的連携を図り、更には基盤研究が生み出す知的財産を利活用した地域医療への貢献を標榜する中核的な支援施設として設置した。

主要な室 模擬薬局、調剤室、無菌製剤室

完 成 平成21年8月



育薬フロンティアセンター



模擬薬局 受付

国際交流会館C・D・E棟(新営)

場 所 宇留毛地区

構造・階 鉄骨造／地上3階

延床面積 シェア棟600m²(C・D棟) 単身棟1,219m²(E棟)

概 要 本学の国際化に向けた取り組みの一環として、国際交流の強化等による留学生の増加に対応すべく、留学生用宿泊施設として整備した。

ワンルームタイプの単身棟(個室48室)と4人で共同生活を行うシェア棟2棟(4人部屋18室)を設置した。

主要な室 居室、ラウンジ、多目的ホール、洗濯室 等

完 成 平成21年10月



C棟



E棟

医学部附属病院東病棟(新営)

場 所 本荘北地区

構造・階 鉄骨鉄筋コンクリート造(免震構造)／地上12階、地下1階

建築面積 1,964m²

延床面積 19,718m²

概 要 附属病院再開発事業のうち、第1期の西病棟、第2期の中央診療棟に続く第3期の事業として整備した。

本建物の整備により平成14年に整備された西病棟と一体になることにより、病棟が一つにまとまった。

今秋に開棟を予定しており、本院の基本理念である「心の通う病院」として、更なる高度先進医療の提供および入院患者サービスの向上が図られる。

主要な室 病室、診察室、デイルーム、一般製剤室 等

完 成 平成22年2月



第6病棟

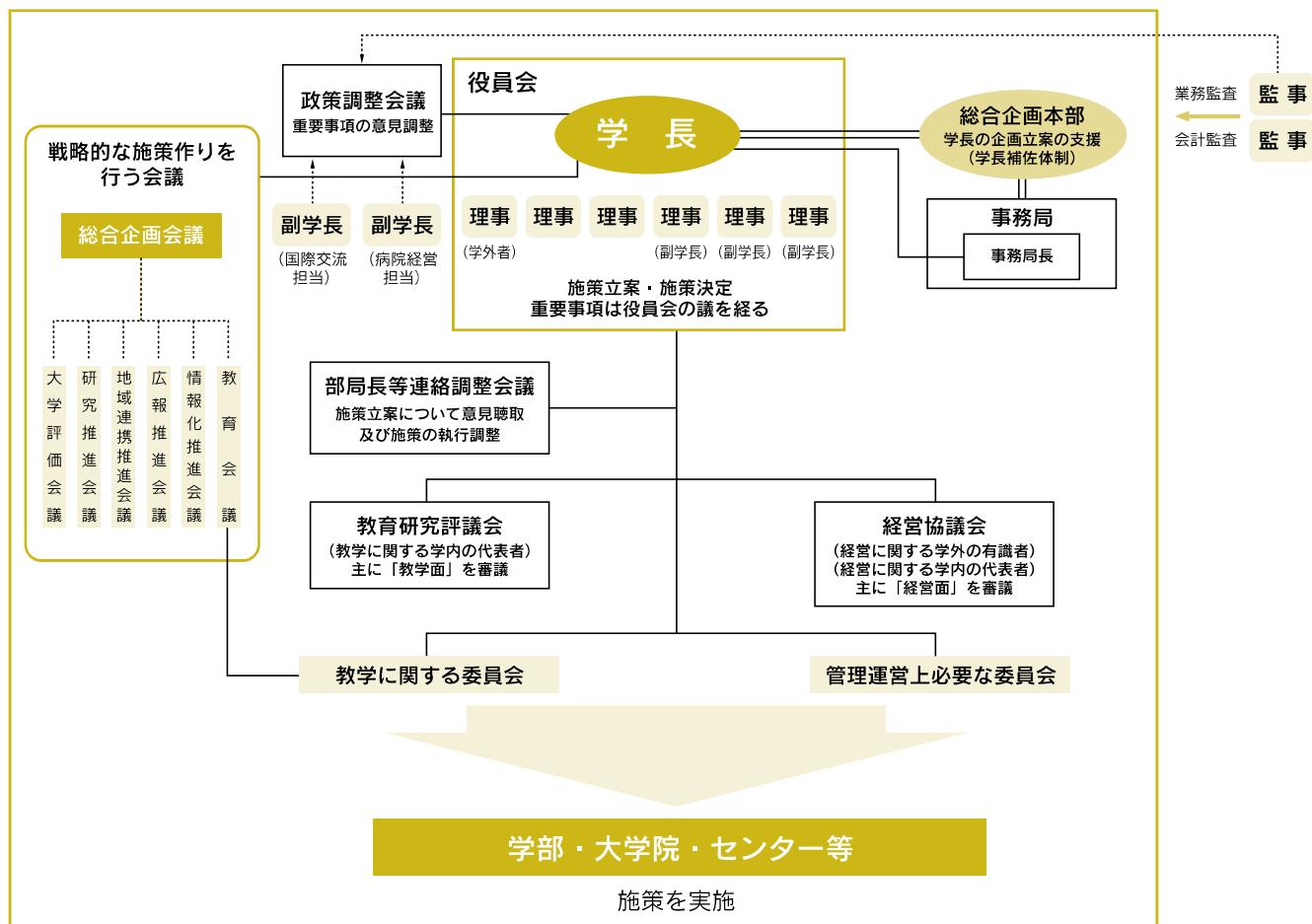
東病棟

西病棟

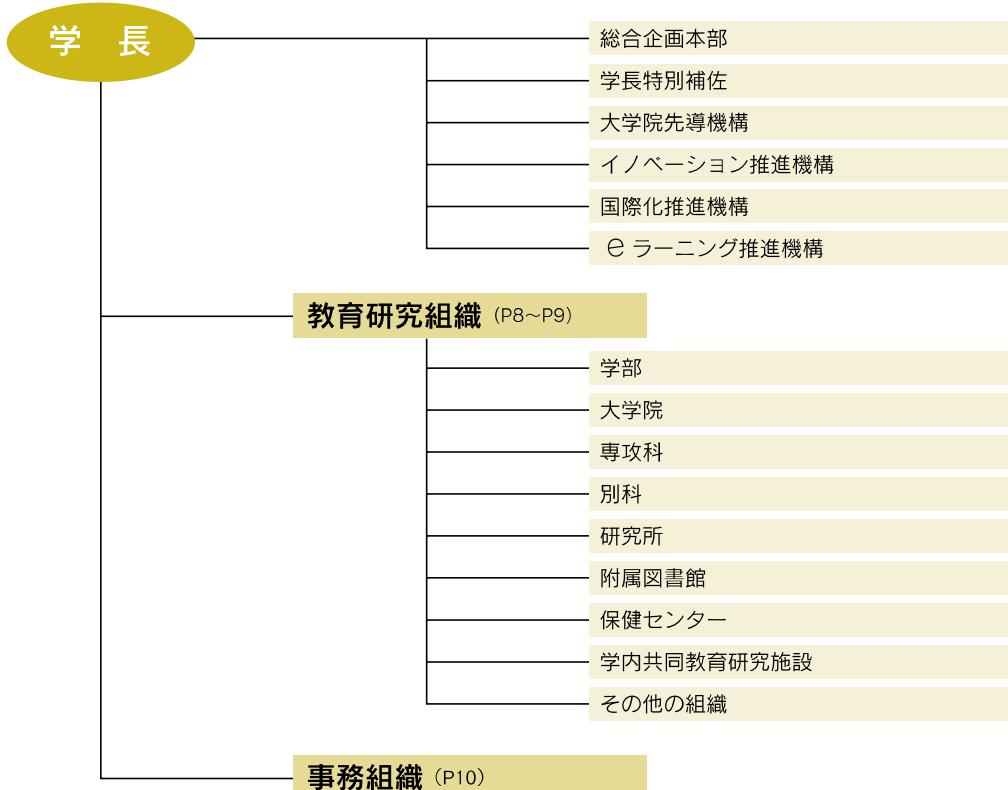
2 組織

管理運営体制

概念図



組織図



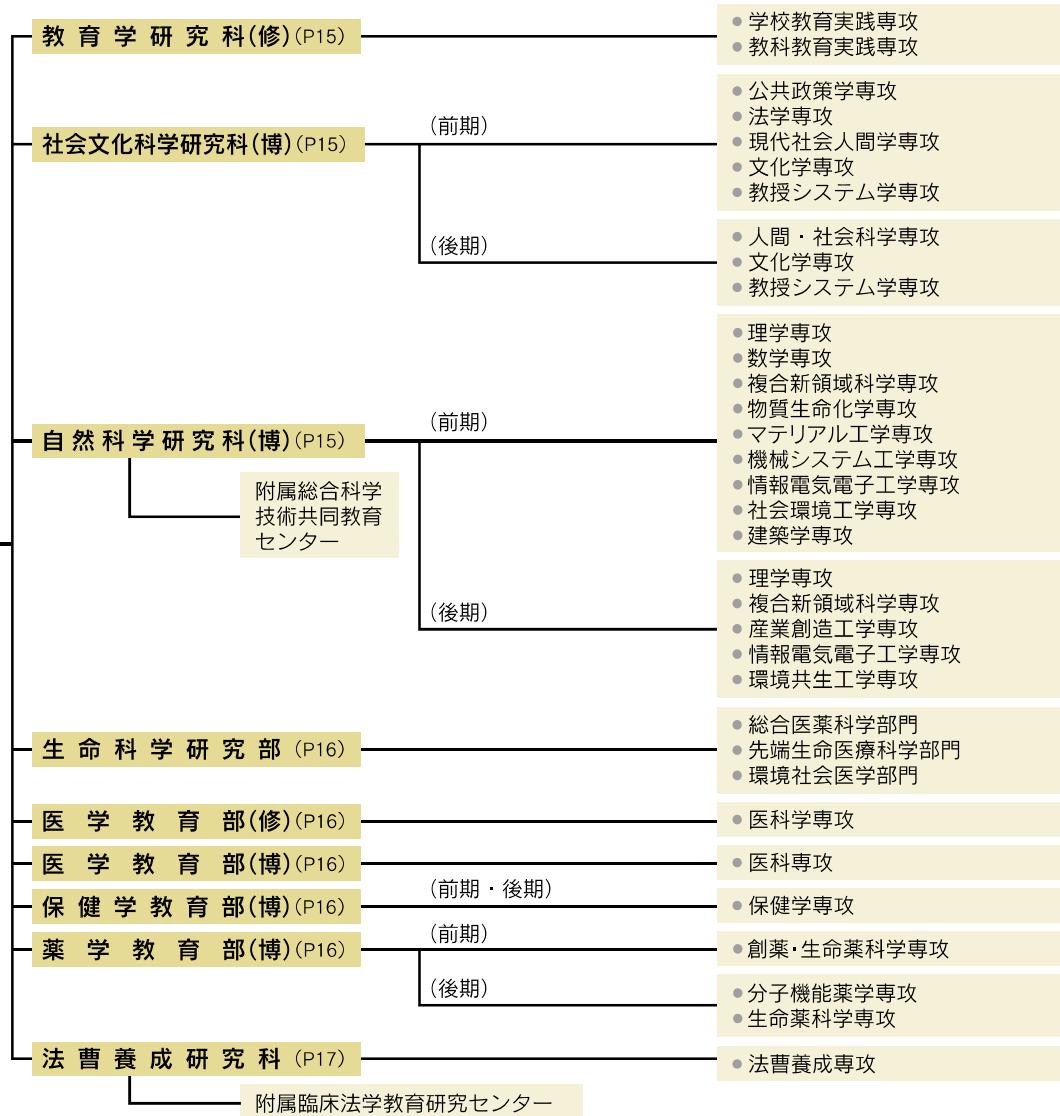
教育研究組織

熊本大学

学部
(P13
↓
P14)

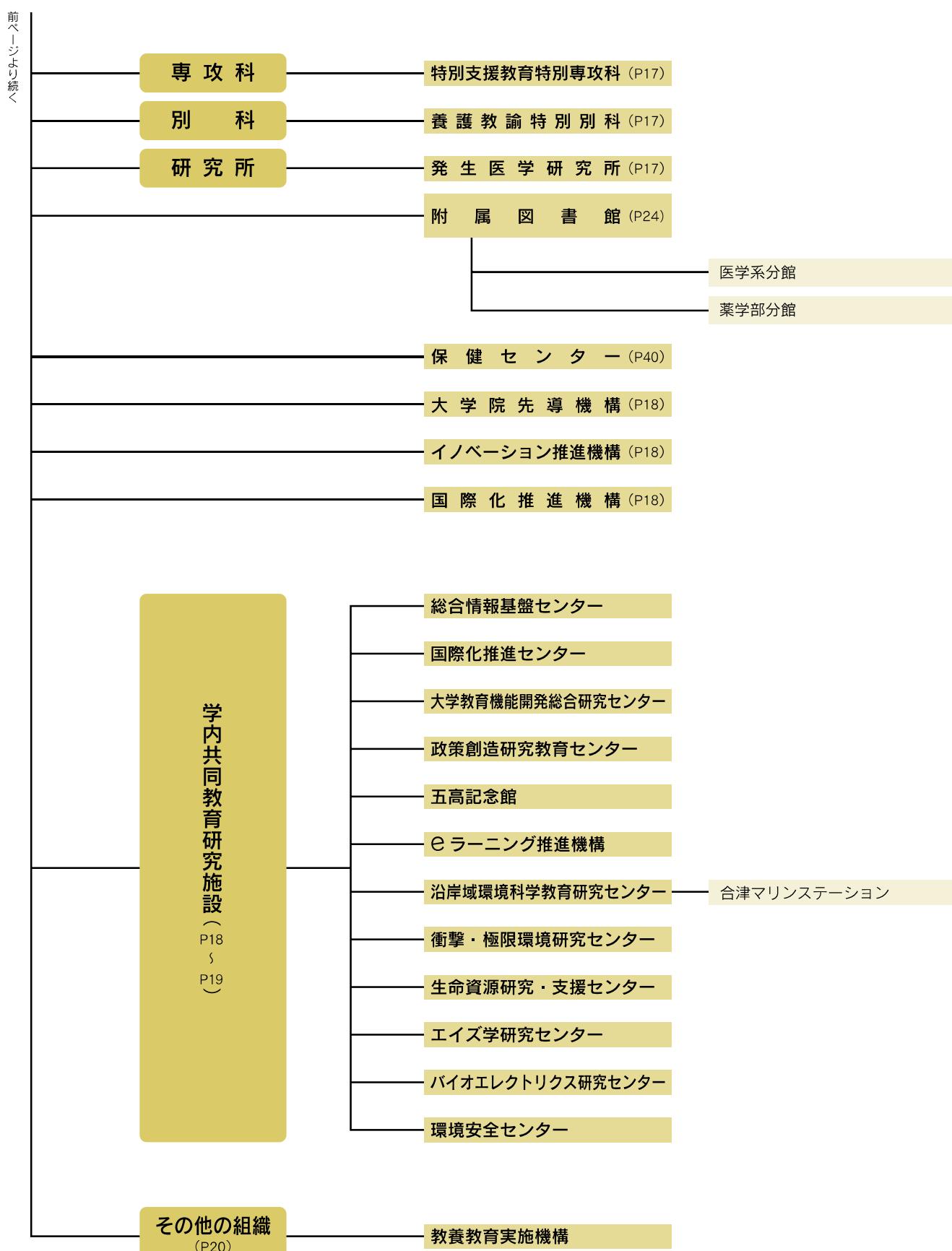


大学院
(P15
↓
P17)



2 組織

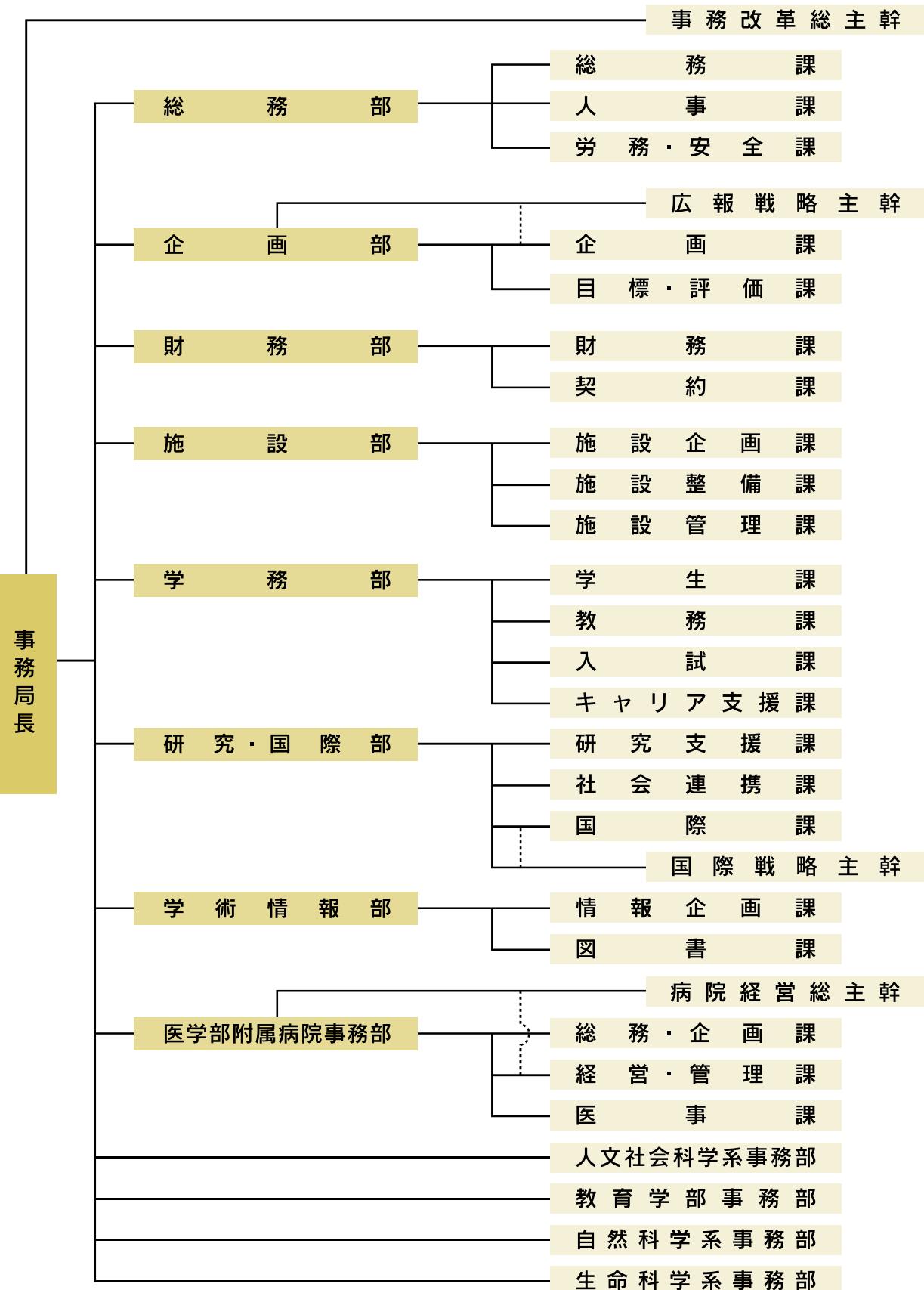
教育研究組織



事務組織

監査室

グローバルCOE推進室



2 組織

役職者

役員

| 学長 | | 谷口 功 |
|------------------------------|---------------------------|-------|
| 教育・学生担当(副学長) | 安部 真一 | |
| | 研究・社会貢献担当(副学長) | 山村 研一 |
| 目標・計画・評価・情報・広報・基金・同窓会担当(副学長) | 田口 宏昭 | |
| | 人事・労務・男女共同参画・附属学校園・個人評価担当 | 森 光昭 |
| 財務・施設担当(事務局長) | 山本 晃 | |
| 法務担当(非常勤・弁護士) | 野口 敏夫 | |
| 監事 | 高橋 誠一 | |
| 業務監査 | 立石 和裕 | |
| 会計監査(非常勤・公認会計士) | | |

| | |
|------------------------------|-------|
| 富士電機ホールディングス株式会社取締役相談役 | 伊藤 晴夫 |
| 学校法人尚絅学園理事長 | 江口 吾郎 |
| 株式会社肥後銀行取締役会長 熊本経済同友会代表幹事 | 小栗 宏夫 |
| 株式会社熊本日日新聞社専務取締役 | 田川 憲生 |
| 財団法人新国立劇場運営財団理事長 | 遠山 敦子 |
| 前熊本大学同窓会連合会会长 | 中島 最吉 |
| 一般財団法人化学及血清療法研究所理事長・所長 | 船津 昭信 |
| 日本消費者協会 消費生活コンサルタント | 星子 邦子 |
| 熊本県副知事 | 村田 信一 |
| 熊本県文化協会副会長 公益財団法人永青文庫常務理事 | 吉丸 良治 |

副学長

| | |
|------------------|--------|
| 病院経営担当(医学部附属病院長) | 猪股 裕紀洋 |
| 国際交流担当 | 古川 憲治 |

顧問

| | |
|----------------|-------|
| 前国立大学法人 熊本大学長 | 崎元 達郎 |
| 元国立大学法人 熊本大学理事 | 小野 友道 |
| 元国立大学法人 熊本大学理事 | 平山 忠一 |
| 前国立大学法人 熊本大学理事 | 菅原 勝彦 |

学長特別補佐

| | | | |
|----------|------------------|----|--------|
| 広報・IR担当 | 政策創造研究教育センター | 教授 | 矢加部 和幸 |
| 入試・就職担当 | 大学院自然科学研究科 | 教授 | 市村 憲司 |
| 教育改革担当 | 大学教育機能開発総合研究センター | 教授 | 大森 不二雄 |
| 社会連携担当 | 政策創造研究教育センター | 教授 | 上野 真也 |
| 情報化担当 | 大学院自然科学研究科 | 教授 | 宇佐川 肇 |
| 男女共同参画担当 | 発生医学研究所 | 教授 | 桑 昭苑 |

経営協議会

| 学長 | | 谷口 功 |
|------------------------------|---------------------------|-------|
| 教育・学生担当(副学長) | 安部 真一 | |
| | 研究・社会貢献担当(副学長) | 山村 研一 |
| 目標・計画・評価・情報・広報・基金・同窓会担当(副学長) | 田口 宏昭 | |
| | 人事・労務・男女共同参画・附属学校園・個人評価担当 | 森 光昭 |
| 財務・施設担当(事務局長) | 山本 晃 | |
| 教育研究評議会評議会等 | 社会文化科学研究科長 | 岩岡 中正 |
| | 理学部長 | 古島 幹雄 |
| | 医学部長 | 原田 信志 |
| | 保健学教育部長 | 木原 信市 |
| | 薬学教育部長 | 高濱 和夫 |
| | 法曹養成研究科長 | 橋本 真 |
| | 附属図書館長 | 入口 紀男 |
| | 発生医学研究所長 | 中尾 光善 |
| | 総合情報基盤センター長 | 中野 裕司 |
| | 大学教育機能開発総合研究センター長 | 岡部 勉 |
| | 生命資源研究・支援センター長 | 浦野 徹 |
| | エイズ学研究センター長 | 滝口 雅文 |

教育研究評議会

| | |
|-------------------|--------|
| 学長 | 谷口 功 |
| 副学長 | 猪股 裕紀洋 |
| 国際交流担当 | 古川 憲治 |
| 文学部長 | 大熊 薫 |
| 教育学部長 | 登田 龍彦 |
| 法学部長 | 山崎 広道 |
| 理学部長 | 古島 幹雄 |
| 工学部長 | 両角 光男 |
| 大学院 | 岩岡 中正 |
| 社会文化科学研究科長 | 西山 忠男 |
| 自然科学研究科長 | 原田 信志 |
| 生命科学研究部長 | 原田 信志 |
| 医学教育部長 | 木原 信市 |
| 保健学教育部長 | 高濱 和夫 |
| 薬学教育部長 | 橋本 真 |
| 法曹養成研究科長 | 入口 紀男 |
| 附属図書館長 | 中尾 光善 |
| 発生医学研究所長 | 中野 裕司 |
| 総合情報基盤センター長 | 中野 裕司 |
| 大学教育機能開発総合研究センター長 | 岡部 勉 |
| 生命資源研究・支援センター長 | 浦野 徹 |
| エイズ学研究センター長 | 滝口 雅文 |

部局長等

| | | |
|-----|--|---|
| 学部 | 文学部長 附属永青文庫研究センター長 教育学部長 附属教育実践総合センター長 附属幼稚園長 附属小学校長 附属中学校長 附属特別支援学校長 法学部長 理学部長 医学部長 附属病院長 薬学部長 附属創薬研究センター長 附属育薬フロンティアセンター長 附属薬用資源エコフロンティアセンター長 工学部長 附属工学研究機器センター長 附属ものづくり創造融合工学教育センター長 | 大熊 薫 甲元 真之 登田 龍彦 吉田 道雄 横出 正紀 中川 保敬 堀畠 正臣 干川 隆 山崎 広道 古島 幹雄 原田 信志 猪股 裕紀洋 高濱 和夫 水島 徹 平田 純生 矢原 正治 両角 光男 石飛 光章 村山 伸樹 |
| 大学院 | 教育学研究科長 社会文化科学研究科長 自然科学研究科長 附属総合科学技術共同教育センター長 生命科学研究部長 医学教育部長 保健学教育部長 薬学教育部長 法曹養成研究科長 附属臨床法学教育研究センター長 | 登田 龍彦 岩岡 中正 西山 忠男 西山 忠男 原田 信志 原田 信志 木原 信市 高濱 和夫 橋本 真 橋本 真 |
| | 附属図書館長 大学院先導機構長 イノベーション推進機構長 国際化推進機構長 発生医学研究所長 総合情報基盤センター長 国際化推進センター長 大学教育機能開発総合研究センター長 政策創造研究教育センター長 五高記念館長 eラーニング推進機構長 沿岸域環境科学教育研究センター長 衝撃・極限環境研究センター長 生命資源研究・支援センター長 エイズ学研究センター長 バイオエレクトリクス研究センター長 環境安全センター長 保健センター長 | 入口 紀男 谷口 功 山村 研一 谷口 功 中尾 光善 中野 裕司 古川 憲治 岡部 勉 山村 研一 伊藤 重剛 安部 真一 嶋田 純 檜山 隆 浦野 徹 滝口 雅文 勝木 淳 城 昭典 岸川 秀樹 |

事務部門

| | |
|--|---|
| 事務局長 事務改革総主幹 総務部 企画部 財務部 施設部 学務部 研究・国際部 学術情報部 医学部附属病院事務部 人文社会科学系事務部 教育学部事務部 自然科学系事務部 生命科学系事務部 | 山本 晃 柳瀬 寿 小原 康伸 吉井 裕治 池田 純久 本田 公治 佐藤 悟 坂田 親信 坂田 親信 岩倉 公男 麻生 亘 川口 幸一 田代 文彦 廻 正弘 斎藤 正実 藤木 政信 岩間 吉治 武田 篤郎 柚原 敬三 高浜 佳依 日和田 伸一 今田 幸二郎 北村 武紀 城 義雄 福村 龍也 島田 正俊 西島 学 永田 正次 福永 重智 増村 隆之 岩村 和彦 城川 康博 江藤 龍一 北村 敏夫 永田 敦 春山 英夫 津田 則行 |
|--|---|

(H22.6.1現在)

3 教育研究等

学 部

文学部

文学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年5月に新制熊本大学法文学部文学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、文学部として独立しました。現在の教育・研究組織は、総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科の4学科9の教育コースを有し、毎年170名の学生を迎えています。教育スタッフはおよそ70名で、人間・社会・文化にかかわる23もの領域にわたって教育研究を行っています。

また、平成21年4月から「文学部附属永青文庫研究センター」が設置され、研究事業として永青文庫史資料群の学術的価値の解明と学界への提起、さらに学際的な新研究領域の開拓と組織の構築を目指し、文化事業として同史資料群の学術的・文化的価値を市民向けフォーラム、公開講座の実施等を通じて広く市民に発信するため、文化行政諸機関と連携を図り、事業を推進しています。



教育学部

教育学部は、明治7年5月開校の（県立）熊本師範学校等を前身としており、昭和24年5月の新制熊本大学が設置されたことに伴い、熊本大学教育学部として設置され、現在に至っています。

現在、教育学部には、義務教育の教員を養成する小学校教員養成課程、中学校教員養成課程、及び特別支援学校教員養成課程、養護教諭養成課程の4つの課程と、社会教育及び福祉等の学校教育以外の教育専門家養成を目的とした、生涯スポーツ福祉課程（平成9年4月設置）及び地域共生社会課程（平成12年4月設置）が設置されています。

また、「附属教育実践総合センター」では、教育実習関係の指導のほか、教育相談等、特に、教育現場の諸問題に対する対応と実践的研究を行っています。



法学部

法学部は、旧制第五高等学校を前身とし、昭和24年に新制熊本大学法文学部法学科として設置されました。その後、昭和54年に法文学部を分離改組し、法学部として独立しました。平成15年度までは法学科と公共政策学科の2学科編成としていましたが、大学院法曹養成研究科の設置に伴い、平成16年度からは1学科（法学科）2コース制（3年次から）を採用し、法学と公共政策に関する基本・基礎教育に徹することとしました。

熊本大学法学部の教育目的は、法的知識を基礎として、法のあるいは政策的に「考える力」「表現する力」「議論する力」を身につけ、現代社会に生起する具体的な問題を解決し得る基礎的能力を育成することにあります。このため1年次から4年次まで演習科目を必修として開講し、少人数で行き届いた教育を行います。



理学部

理学部は、明治20年10月熊本に設置された第五高等中学校の理科と熊本工業専門学校の一部を母体として、昭和24年5月新制熊本大学の1学部として設置されました。

理学部の学科は理学科1学科となっています。学生は、入学後の2年間で自ら適正を見極めて、志望する教育プログラムを数理科学・物理・化学・地球環境・生物環境の5プログラムから選定し、3年次以降の専門課程に進みます。また、学部スタッフによるチューター制を導入し、一人一人の学生に対してきめ細かな教育サービスを提供しています。

理学部が最も得意とする基礎研究を行う一方、地域や社会のニーズに応じた応用分野の研究にも積極的に取り組んでいます。卒業後の進路は、官公庁、企業、教員などが中心ですが、大学院博士前期課程にも多数の学生が進学しています。



医学部

医学部は、医学士教育課程である6年制の医学科と、保健学士教育課程である4年制の保健学科から成っています。前者の卒業生は国家試験を経て医師に、後者の卒業生は同様に看護師、保健師、助産師、放射線技師及び臨床検査技師になります。また、所定の単位を修得すると高等学校教諭一種免許状(看護)を取得できます。

現在キャンパスの再開発が進行中で、平成18年6月には附属病院中央診療棟が、平成21年4月には図書講義棟も完成しました。さらに病棟や外来を整備し、充実した医学教育環境を整えつつあります。

医学科は、明治29年の私立熊本医学校設立以来、1万人を超す卒業生を輩出しています。医学関係の専門教育は、大学院生命科学研究部の医学系教員が担当しており、先端的な医学研究や臓器別診療の枠組みを基盤とした教育カリキュラムを構築しており、リサーチマインドを持ち人間的で意思疎通能力の高い医師を育てる教育を実施しています。

保健学科は、前身の熊本大学医療技術短期大学部(専攻科助産学特別専攻を含む)と本学教育学部特別教科(看護)教員養成課程が統合され、平成15年10月に設置されました。生命や人間の尊厳に基づく豊かな教養と高度な専門知識・技能を揃え、チーム医療のスタッフとして広く社会に貢献できる資質の高い医療者、研究者、教育者を育成しています。



薬学部

薬学部では、“薬学は医薬を通じて人類の健康に貢献する総合科学である”との理念のもと、医薬品の創製・生産・管理、環境・保健衛生及び薬剤師の職能等に関わる基礎知識を修得させ、生命科学を基盤とする高度の“薬学的思考力”と論理観を備えた創造性豊かな人材を育成することを目指し、知識・技能・態度の3つの観点から最新の講義並びに基礎実習及び臨床実習を行っています。卒業後の進路は、病院・薬局薬剤師、製薬・化学企業、官公庁など多彩ですが、卒業生の半数以上は大学院に進学し、薬学研究者及び高度薬剤師を目指しています。

平成18年度には、薬剤師養成6年制課程として「薬学科」を設置するとともに、従来の4年制学科の特色を活かした研究者養成に特化した「創薬・生命薬科学科」を設置しました。さらに、一流の創薬研究者を養成するとともに医薬品の開発を目指す教育、研究拠点として、日本初の「創薬研究センター」を設置しました。

また、平成20年度には、育薬を推進する人材育成、薬剤師の生涯教育、職能支援及び地域医療への貢献を行う教育、研究拠点として、「育薬フロンティアセンター(模擬薬局(平成21年設置)を含む)」を設置しました。

薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンターは、「薬の元になる薬用資源の啓発、教育・研究を推進する」ことを目的に、教育・研究活動を行ない、その資源を社会に還元すると共に、人材育成を図ります。

本センターは、センター専任職員3名に加え、大学院・学部学生の所属する薬用植物学分野、さらに協力分野として天然薬物学分野、機器分析分野の4分野から成り、薬用植物の栽培・育種・保護、薬用植物からの有用資源の探索、海洋資源からの機能性物質の探索、それらを分析する分野から構成されます。センターでは複合化合物の有用植物・生薬、さらに数種の生薬を用いる漢方薬を科学的に解明する研究を推進しています。また、希少植物となっている、薬用植物・有用植物の栽培・育種・保護に取り組んでいます。



薬学部A棟

工学部

工学部は明治30年旧制第五高等学校に設立されて以来、3万数千人に及ぶ卒業生を社会に送り出し、わが国の科学技術や経済の発展に大きく寄与してきました。今や活躍の場は、世界へと広がっており、海外の大学との教育研究に関する交流協定締結や海外でのフォーラム開催など国際的な連携や拠点づくりに大きく貢献しています。本学部では特に問題解決能力や新規分野を開拓発展させる能力を備え、人類の福祉と文化の進展、自然との共生に寄与できる技術者、研究者の養成を目的としており、創造教育としての「ものづくり」から社会との連携を図りながら実現化する「ものづくり」にまで力を入れています。また、国際的にリーダーシップをとれる技術者、研究者を養成する観点から、国際的な技術レベルを保証するJABEE(日本技術者教育認定機構)による認定や国際標準機構ISO14001の認定に基づく教育プログラムを採用しています。企業からの求人、採用状況はたいへん良好ですが、多くの学生はさらに高レベルの知識や技術を修得するために大学院(博士前期課程)へ進学しています。高度な研究機器を備えた「工学研究機器センター」やものづくりを支える「ものクリ工房・まちなか工房」、そして高度加工技術を取り入れた「中央工場」など備えており、施設や設備面でも充実しています。



実際のプロジェクトを通して建築を学ぶ

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバニク・コージアム

3 教育研究等

大学院

教育学研究科(修士課程)

教育学研究科は、修士課程の大学院研究科として昭和61年4月に設置され、平成21年4月から、学校教育実践専攻(学校教育[教育学・心理学]、特別支援教育、養護教育の各専修)、教科教育実践専攻(言語系教育[国語教育・英語教育]、理数系教育[数学教育・理科教育]、社会系教育[社会科教育]、生活系教育[技術教育・家政教育]、芸術・スポーツ系教育[音楽教育・美術教育・保健体育]の各専修)の2専攻で構成される新しい組織となりました。

本研究科は、教員の資質向上を目的として、大学卒業者だけでなく、現職教員も受け入れ、教育実践に関する総合的な教育と研究を行っています。なお、教育学研究科を修了した方には修士(教育学)の学位が授与され、教員専修免許状も取得できます。



社会文化科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

社会文化科学研究科は、平成14年4月に文学部・法学部の専門領域の上に学際的・総合的な独立研究科として博士課程3年が設置され、平成18年4月にはエラーニング専門家の育成を目指した教授システム学(修士課程)が新設されました。また、平成20年4月からは、これまでの社会文化科学研究科と文学研究科(修士課程)、法学研究科(修士課程)を再編統合し、博士前期課程と博士後期課程より構成される新しい組織となりました。

博士前期課程には、従来型の研究コース(8コース)と教授システム学に加え、新しく、公共政策・交渉紛争解決、東アジア・ビジネス・コミュニケーション、文化行政・学芸員、英語教育等の専門職コース(7コース)が設置され、広く社会的ニーズに応える教育を実現します。

博士後期課程では高度専門職業人と研究者の養成を目指し、人間文化の諸側面の研究・現代にふさわしい文化政策形成を目指す「文化学専攻」と、新しい社会システムの構築・政策研究及びその理論的基礎付けを目指す「人間・社会科学専攻」、また「教授システム学専攻」の3つに専攻が置かれ、博士前期課程からの進学者だけでなく、社会人、留学生にも門戸を開いています。



自然科学研究科(博士前期課程、博士後期課程)

自然科学研究科は、平成18年度から理学部と工学部の全教員が自然科学研究科に所属する大学院重点化と一元化の改組を行い、研究を主軸に据えた教育を行う研究大学院としてスタートしました。学部との連続性により理学と工学の専門性をより深く研究教育する専攻(前期課程7専攻と後期課程4専攻)と先端的複合・融合新領域を研究教育する専攻(前・後期課程の複合新領域科学専攻)から成っています。

平成19年度に採択された文部科学省の大学院教育改革支援プログラム「大学院科学技術教育の全面英語化計画(GRASIUS)」に続き、平成21年度には、組織的な大学院教育改革推進プログラム「イノベーション創出のための大学院教養教育(AGEIN)」が採択されました。これらのプログラムによって、多くの海外教員の招へいが行われ、学生の海外派遣、英語教育の充実により、大学院の国際化が一層進展しています。また、平成20年度にはグローバルCOEプログラムに「衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点」が採択され、複合新領域科学専攻を中心として国際的教育研究拠点の構築を行っています。さらに、平成21年度イノベーション創出若手研究者人材育成プログラムに採択された「異分野融合イノベーション推進人材の育成」プログラムでは、企業における長期インターンシップの実施などにより、産業界で活躍できる博士の養成を行っています。



ソウルで開催された国際学生会議ICAST



ICAST学生交流会

生命科学部

近年の飛躍的な生命科学研究の進展により、従来の垣根は実質的に消滅し、学際領域の研究の発展が目覚ましくなりました。この状況に対応するため、従来の医学研究科と薬学研究科を統合し、研究部(教員の研究組織)と教育部(学生の教育組織)に分離した新システムの大学院医学薬学研究部が平成15年4月に誕生しました。平成22年1月、この医学薬学研究部に医学部保健学科の教員を組み入れ、新たに生命科学部として発足いたしました。

生命科学部は、3部門13講座79研究分野からなる日本最大級の研究特化型医薬系教員組織です。「総合医薬科学部門」では、医学・薬学分野の基盤的な学問体系の深化を目指した研究を、「先端生命医療科学部門」では移植医療やゲノム創薬など生命科学分野の先端的研究を、「環境社会医学部門」では、「医学・薬学と社会」と並びに「疾病と環境」のかかわりを科学的に究明するとともに、生命倫理に関する先導的研究を推進します。生命と医療に関する研究と教育を通じて人類の健康と福祉に貢献することを生命科学部の使命としています。



(本荘) 総合研究棟

医学教育部(修士課程、博士課程)

医学教育部は、平成15年4月、医学研究者・教育者ならびに高度医療人を育成するための、大学院教育に特化した組織として設置されました。医学教育部は、4年制の博士課程と、平成14年度に開設した2年制の修士課程により構成されています。修士課程(医学専攻)は、医学・生命科学分野の人材育成に対する社会的要請に対応するものであり、4年制大学等の卒業生を対象としており、各学年20名、総計40名が学べ、修了後には博士課程への進学を奨励しています。博士課程では各学年88名、総計352名が学べます。平成20年4月から、先進的な医療人の育成をもめざして、従来の4専攻を「医学」の1専攻に改め、カリキュラムも大幅に改良しました。講義科目、研究の実践に加え、エイズ、がん、代謝循環病と発生再生医学の教育コースを設け、セミナー、医学実験講座や臨床実習を含む多彩な教育により30単位を習得し、国際学術誌に受理された研究論文と総合的かつ倫理的な学位論文の完成をもって課程修了としています。生命科学部、医学部附属病院、保健センター、発生医学研究所、生命資源研究・支援センター、エイズ学研究センター及び学外連携研究組織の約80の研究分野や診療部などに所属する教員が、教育を担当します。



基礎医学研究棟

保健学教育部(博士前期課程、博士後期課程)

保健学教育部保健学専攻は、平成20年4月に看護学分野、医用放射線科学分野、検査技術科学分野の3分野を備えた大学院修士課程として設置され、平成22年4月には新たに博士後期課程の設置に伴い、修士課程は博士前期課程となりました。

博士前期課程では、保健・医療・福祉領域における実践的指導者(高度専門職業人)及び研究者・教育者の養成を目的として、一般学生ならびに医療現場の社会人でも学びやすい教育プログラムを編成しています。募集人員は16名で、修了後は修士(看護学)または修士(保健学)の学位が取得できます。博士後期課程は、医療技術科学系教育コースと看護学系教育コースがあり、博士前期課程で培った実践・研究能力を基盤に、保健・医療・福祉分野における学問体系の確立と技術の開発、医療状況の変革を推進する自立的・学際的・独創的な研究能力を兼備した高度医療専門職業人及び研究者・教育者を養成します。募集人員は6名で、修了後は博士(保健学)または博士(看護学)の学位が取得できます。



保健学教育部 E棟

薬学教育部(博士前期課程、博士後期課程)

薬学領域の大学院教育をさらに充実させるため、平成15年4月より大学院の教育組織として薬学教育部が設置されました。薬学教育部では、生命科学部の教員に加えて発生医学研究所、生命資源研究・支援センター及び医学部附属病院などの教員が教育に当たります。この教員組織の特色を活かして、動物実習やゲノム創薬学・遺伝学特論、生命環境倫理学特論など薬学系と医学系の教員が連携して行う特色あるプログラムを多数用意しています。薬学教育部では、学部教育で培われた基礎薬科学を基盤にして、生命科学研究、医薬品の創製、臨床及び環境衛生行政など広範な分野で自立して指導性を発揮できる、薬学研究者や指導的立場に立つ薬剤師など高度な薬の専門家の育成を目指します。



(大江) 総合研究棟

3 教育研究等

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数人等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティミュージアム

大学院

法曹養成研究科(法科大学院の課程)

法曹養成研究科は、地域特有の法的ニーズに応えると同時に、グローバルな法的諸問題を解決する能力をもつ、21世紀を担う法曹の養成を目的として、平成16年4月に設置されました。学生定員は22名(3年標準コース14名程度、2年短縮コース8名程度)、専任教員19名(うち実務家教員5名)です。法学教育、司法試験、司法修習というプロセスとしての法曹養成を重視して、授業科目を「法律基本科目群」、「法律実務基礎科目群」、「基礎法学・隣接科目群」、「展開・先端科目群」の4大科目群に分け、段階的・系統的なカリキュラムを編成し、理論と実務を架橋する実践的教育、新しい法的ニーズにも対応する特色ある教育を行っています。



また、臨床法学の教育と研究を専門的に担う臨床部門として、「附属臨床法学教育研究センター」を設置しています。本センターは、法律問題をより身近、実践的に学ぶ場として、街中に開設されています。本センターに附置している弁護士法人法律事務所と連携して、リーガル・クリニックなど学生の臨床教育や教員の実務研修のほか、大学の地域貢献を目的として県内各地で無料法律相談を行っています。

専攻科・別科

特別支援教育特別専攻科

本専攻科は、現職教員や他分野の教員免許状をもつ、本学及び他大学卒業生を対象に、充実した特別支援教育に関する専門教育を施して、特別支援学校一種、または特別支援学校専修免許状の所要資格を得させ、特別支援教育に関する専門的な知識を有する人材を育成しています。



養護教諭特別別科

本別科は、看護師の免許を受けている者や取得見込みの者を対象に、資質の優れた養護教諭を養成することを目的としています。カリキュラムは一般教育科目・養護専門科目・教職専門科目で構成され、学生は理論と技術をバランスよく学習することができます。



研究所

発生医学研究所

熊本大学発生医学研究所は、昭和14年に設置された体質医学研究所を原点にして、昭和59年に遺伝医学研究施設、平成4年に遺伝発生医学研究施設を経て、平成12年に発生学と医学を融合する新しい学問分野である発生医学の研究教育を推進する目的で、前身の発生医学研究センターが設立されました。平成21年に発生医学研究所に改組拡充し、平成22年に発生医学分野の共同利用・共同研究拠点に認定されました。

本研究所は、発生学の視点から生命科学領域の国際水準の研究教育を推進することを組織目標とし、発生医学の先端的研究、恒常的視野に立った人材育成、国内外の連携ネットワークを強化した国際研究教育拠点として社会的な役割を果たすことを基本理念としております。



機 構

大学院先導機構

本学は、優れた研究環境を確保し学術研究を推進することにより、国際社会及び地域社会に貢献しうる存在感ある総合大学の構築を目指しています。そのために、大学院先導機構では、基礎科学と応用科学の有機的連携のもと、生命科学、自然科学、人文社会科学及び学際・複合・新領域の学問領域で最も力のある分野において先導的研究を重点化し、国際競争力のある研究拠点の形成を推進しています。

また、それを通じて、新しいCOE、新研究センター、新大学院専攻等を創出し、もって本学の教育研究活動の充実発展及び変革に寄与することを目指しています。

イノベーション推進機構

イノベーション推進機構は、本学の知的・人的・物的資源を最大限に活用し、イノベーション創出のための産学官連携を積極的に推進し、国際的に優れた特許を生み出し、国際競争力につながる知的財産の活用を図るとともに、地域における技術開発・技術教育の振興、ベンチャー企業の起業家の育成及び起業化の支援並びにこれらに係る高度な人材の育成を目的としています。

国際化推進機構

国際化推進機構は、本学の国際化に関する最重要事項や課題に関する意思決定機関として平成21年1月に発足しました。学長を機構長とする本機構は、「戦略的連携」「人材の流動化」「情報発信」「英語共用語化」を国際化推進の重要な戦略として位置づけ、教育・研究両面における国際交流を推進します。

学内共同教育研究施設

総合情報基盤センター

全学の情報通信ネットワークを有機的に結合した情報基盤の中核組織です。

計算機援用教育研究部門、メディア情報処理研究部門、ネットコミュニケーション研究部門の三つの研究部門からなり、それれ情報メディア通信を利用した教育システムの研究、学術情報コンテンツの作成公開に関する研究、情報セキュリティに関する研究などを集めています。全学の学生に対して情報基礎教育を実施し、本学の全卒業生に対して相当レベルのコンピュータ技術の修得を保証しています。また、全学に10ギガビットネットワークを通して約1,350台のパソコン端末を提供し、さらに、全学無線LANによってどこでもインターネットに接続できる環境などを提供しています。

国際化推進センター

副学長(国際交流担当)をセンター長とする国際化推進機構の中核組織です。国際化推進機構会議等で決定された事項の実施を担当し、「国際交流支援部門」及び「国際語学部門」に分かれ、教育における国際通用性の向上、研究における国際的卓越性を持つこと、留学生の受入れと支援、日本人学生・教職員の海外派遣の促進、学際的・国際的教育研究交流の活発化などを達成するための多彩な施策を展開します。

大学教育機能開発総合研究センター

大学教育機能開発総合研究センターは、熊本大学の教養教育を含む大学教育について調査・研究・開発を行なうとともに、教養教育の実施に関し教養教育実施機構と有機的に連携して期待される役割を果たし、本学の教育活動の充実発展に寄与することを目的としています。

主な業務としては、教養教育のカリキュラム開発、教養教育及び専門教育の有機的連携、学部教育及び大学院教育との連携、CALL教育、教育能力向上のための方策の開発、効果的な教授法の開発・支援、教育活動評価方法の開発・支援、教養教育の円滑かつ実効的な実施システムの開発、学生の学習・生活支援システムの開発に関するなどがあげられます。

政策創造研究教育センター

政策創造研究教育センターは、熊本大学が有する知的・人的・物的資源を利用して、地域社会の課題解決に向けた研究や政策提言を行うシンクタンク機能を発揮するとともに、さらに地域社会を担う人材の育成という生涯学習機能を果たすことで、良き地域社会の形成に貢献することを目指しています。

3 教育研究等

学内共同教育研究施設

五高記念館

五高記念館は旧制第五高等学校の本館及び隣接する化学実験場を活用した大学博物館です。建物は国の重要文化財指定を受けています。本館の内部は旧制第五高等学校に関するさまざまな高等教育史・資料を展示し、講演会や講座、体験学習会、コンサートなども実施しています。学芸員養成課程の博物館実習の受け入れや、広く博物館に関するレンタルサービスも行っており、本学における生涯学習・地域医療連携の拠点施設の一つとなっています。

eラーニング推進機構

eラーニング推進機構は、熊本大学におけるeラーニング推進・支援体制の確立を目指し、様々な活動を展開しています。

eラーニングコンテンツの開発と開発支援を行うため、「eラーニング全般に関するサポート窓口の一本化」、「全学的視野に立ったプロジェクトタイプの効率的開発」、「インストラクショナルデザインに基づく教育効果の高い教材開発」、「評価、表彰、著作権・使用権、管理・システム連携」に重点を置き、全学的な強い連携体制のもとで推進しています。

沿岸域環境科学教育研究センター

平成13年4月、学内共同教育研究施設として発足した沿岸域環境科学教育研究センターは、日本最大級の干潟で知られる有明海・八代海を中心とする沿岸域環境に関する基礎科学、応用科学などの研究を行い、地域社会へ貢献することを目指しています。主な研究内容としては、干潟沿岸域における生態系の解明、持続可能な水産資源の保全・開発、自然調和型の沿岸域の保全・開発・防災などがあげられます。また海洋施設として、天草に合津マリンステーションを持つおり、学内外の学生の臨海実習をはじめとする環境教育などにも広く貢献しています。

衝撃・極限環境研究センター

衝撃・極限環境研究センターでは、衝撃超高压、静的超高压、極低温、強磁場、超重力場をはじめとする極限環境をつくり出し、そこに固体や液体を置いた場合の状態や次世代半導体開発などについて研究しています。さらにそれを用いた新材料の開発、複合化させた各種の極限環境を利用した新しい凝縮体の解明、その応用技術の開発など、研究分野は無限大の広がりを見せています。

本センターは、国内の大学では唯一、爆薬・衝撃銃等主要な衝撃エネルギーを全て利用することが可能な総合実験施設を持っているため、国内外から注目を集めています。海外の著名な研究機関との間に学術交流協定を結んでおり、留学生の受け入れや研究者の派遣・受け入れなどの交流も盛んです。国際的視野に立った先導的研究の推進と、地域や産学官の交流をさらに深め、社会的ニーズを常に意識した先端的科学技術研究の発展を目指しています。

生命資源研究・支援センター

平成15年度からスタートした生命資源研究・支援センターは、熊本大学における研究資源に関する開発研究等を行なうとともに、研究資源及び研究資源情報をベースとした諸科学分野の教育研究のさらなる発展を目的として活動しています。

主な業務としては、遺伝子変異動物などの実験動物の作製、開発、保存、供給、データベースの構築・解析、表現型解析、動物実験、遺伝子実験、アイソトープ実験・機器分析実験などの研究、情報提供並びに技術指導などがあげられます。

エイズ学研究センター

エイズ学研究センターは、日本の大学では初めてで唯一エイズ専門のセンターとして平成9年の設立以来、生命科学研究部のエイズ研究分野や、東京の国立国際医療研究センターと連携をとりながら、エイズ撲滅を目指して最先端の研究を行っています。特に、HIV感染症での免疫を中心とした研究と新薬の開発に焦点を絞り、新たな治療法や予防法の開発を目指して、エイズとの戦いを続けています。

バイオエレクトリクス研究センター

平成19年10月に学内共同教育研究施設として設置された医薬理工の連携・融合による日本国内唯一のバイオエレクトリクスの研究センターです。「バイオエレクトリクス」とは、ナノ秒オーダーの瞬間的電気エネルギーであるパルスパワーをバイオに作用させて、食品、環境、医療を研究する異分野融合型の新しい学問分野です。本分野の基礎研究を進展することにより、社会の重要な課題である水処理等の環境分野、殺菌等の食品分野、がん治療等の医療分野にも大きな貢献が期待されるとともに新たな産業の創出に繋げることを目指しています。そして、世界における中核研究センターとして、世界の研究をリードしています。

環境安全センター

本学の教育研究活動等における教職員及び学生等の安全を確保するとともに、教育研究等の活動に伴い発生する廃液等廃棄物の適正な管理及び処理並びに環境安全に係る啓発活動等を図ります。

その他の組織

教養教育実施機構

教養教育実施機構は、本学の教務委員会及び大学教育機能開発総合研究センターと有機的に連携して、教養教育を円滑に運営・実施することを目的としています。

学外オフィス

熊本大学東京リエゾンオフィス

開 設 平成16年4月

業務内容 ①産学連携の支援

②本学の教育研究活動の情報発信

③入試情報の発信及び学生の就職活動支援

④同窓会組織との連携活動

⑤各種セミナー及び会議等の開催

郵便番号 〒108-0023

住 所 東京都港区芝浦3-3-6

キャンパス・イノベーションセンター6階

リエゾン室608

TEL・FAX 03-5440-9093

E-mail kuma-u.tokyo@friend.con.ne.jp

開館時間 平日10:00~17:00

休 館 日 土・日曜日、祝祭日、年末年始

(12月29日~1月3日)



熊本大学上海オフィス

開 設 平成17年10月

業務内容 ①交流協定校等の学生交流・学術交流の促進

②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援

③産学官国際連携活動の促進

④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援

⑤同窓会の支援拠点

郵便番号 〒200051

住 所 上海市遵义路107号安泰大厦7楼704号室



熊本大学韓国KAISTオフィス

開 設 平成20年9月

業務内容 ①学術協力の推進

②両校合同研究シンポジウム開催支援

③大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援

郵便番号 〒305-701

住 所 373-1 Kusong-dong, Yusong-gu, Taejon, Korea
(韓国科学技術院(KAIST) Biomedical Research Center内)



3 教育研究等

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティミュージアム

学外オフィス

熊本大学関西オフィス

開 設 平成21年10月

- 業務内容 ①企業訪問等による産学連携促進及び技術移転活動
②技術相談及び共同研究打合せ
③研究シーズ等の常設展示及び広報活動
④工学部案内、入試情報等の周知及び就職支援等
⑤同窓会組織等との連携活動
⑥各種セミナー及び会議等の開催

郵便番号 〒577-0011

住 所 大阪府東大阪市荒本北1-4-1
クリエイション・コア東大阪南館 2225室
TEL・FAX 06-6747-9260
(現在は常駐する職員はありません)

E-mail kansai@kumamoto-u.ac.jp



熊本大学(駐山東大学)国際产学連携サテライトオフィス

開 設 平成22年3月

- 業務内容 ①产学連携活動の促進
②学術交流の推進
③大学情報の発信
④中国における本学の活動拠点

郵便番号 〒250100

住 所 中国濟南山大南路27号
山東大学(国際合作及び交流処)内

T E L +86-0531-8836-4853

F A X +86-0531-8856-5657

E-mail ipo@sdu.edu.cn



熊本大学インドネシアITSオフィス

開 設 平成22年4月

- 業務内容 ①交流協定校等との学生交流・学術交流の促進
②留学生の開拓及び留学予定者に対する渡航前準備の支援
③産学官国際連携活動の促進
④大学情報及び入試情報の発信、広報活動の支援
⑤同窓会の支援拠点

郵便番号 〒60111

住 所 Gedung Rektorat Lantai 2
Kampus ITS Keputih - Sukolilo Surabaya,
Jawa Timur, Indonesia
(スラバヤ工科大学<ITS>国際交流室内)



寄附講座

奨学を目的とする民間等からの寄附により設置・運営し、教育研究の充実をはかります。

(H3.4～H22.5現在)

| 部局名 | 寄附講座名称 | 設置期間 | 寄附者 |
|------------|--------------------|-----------------------|---|
| 医学部附属病院 | 移植医療学寄附講座 | 平成22年5月1日～平成27年3月31日 | 一般財団法人 化学及血清療法研究所 |
| 医学部附属病院 | 循環器予防医学先端医療寄附講座 | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 医療法人社団陣内会 陣内病院 |
| 大学院生命科学部 | 糖尿病分子病態解析学寄附講座 | 平成22年4月1日～平成27年3月31日 | 萬有製薬株式会社 |
| 医学部附属病院 | 地域専門医療推進学寄附講座 | 平成22年4月1日～平成26年3月31日 | 熊本県 |
| 医学部附属病院 | 重症心身障がい学寄附講座 | 平成22年4月1日～平成26年3月31日 | 熊本県 |
| 医学部附属病院 | 循環器臨床研究先端医療寄附講座 | 平成21年4月1日～平成26年3月31日 | 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 バイエル薬品株式会社 田辺三菱製薬株式会社 塩野義製薬株式会社 シェリング・プラウ株式会社 日本セルヴィイ工株式会社 アステラス製薬株式会社 |
| 医学部附属病院 | 地域医療システム学寄附講座 | 平成21年1月1日～平成26年3月31日 | 熊本県 |
| 医学部附属病院 | 新生児学寄附講座 | 平成21年1月1日～平成25年12月31日 | 医療法人社団愛育会 福田病院 |
| 医学部附属病院 | 機能神経外科先端医療寄附講座 | 平成20年7月1日～平成25年3月31日 | 医療法人社団北斗会 北斗病院 |
| 大学院自然科学研究科 | 電力フロンティア講座 | 平成20年4月1日～平成23年3月31日 | 株式会社 九州電力 |
| 医学部附属病院 | 心血管治療先端医療寄附講座 | 平成20年4月1日～平成25年3月31日 | ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 テルモ株式会社 株式会社カネカメディックス 日本メトロニック株式会社 日本ライフライン株式会社 アボットバスキャラージャパン株式会社 セント・シード・メディカル株式会社 ジーエムメディカル株式会社 アイテーアイ株式会社 株式会社ネオテック |
| 大学院生命科学部 | 感染制御学(肥後銀行)寄附講座 | 平成19年4月1日～平成24年3月31日 | 株式会社 肥後銀行 |
| 医学部附属病院 | 不整脈先端医療寄附講座 | 平成19年4月1日～平成24年3月31日 | 日本ガイダント株式会社 日本光電工業株式会社 フクダ電子株式会社 株式会社ゲッツプラスーズ 日本ライフライン株式会社 日本メトロニック株式会社 株式会社ネオテック 医療法人田中会 武藏ヶ丘病院 医療法人東陽会 東病院 医療法人社団鶴友会 鶴田病院 医療法人社団イチイ会 小沢医院 医療法人永田会 医療法人社団仁誠会 |
| 薬学部 | 医薬高分子学寄附講座 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | ニプロ株式会社 |
| 薬学部 | 先端DDS学寄附講座 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | 株式会社LTU バイオファーマ |
| 工学部 | 太陽電池・環境自然エネルギー寄附講座 | 平成18年4月1日～平成23年3月31日 | 富士電機システムズ株式会社 |
| 大学院生命科学部 | 感染症阻止学寄附講座 | 平成17年4月1日～平成27年3月31日 | 一般財団法人 化学及血清療法研究所 |
| 大学院生命科学部 | 画像診断解析学寄附講座 | 平成15年10月1日～平成26年3月31日 | 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン |
| 薬学部 | 病態薬効解析学寄附講座 | 平成3年10月1日～平成23年9月30日 | 阿蘇製薬株式会社 |

3 教育研究等

医学部附属病院

附属病院は、診療科、薬剤部、看護部及び中央診療施設等を有し、病床数845床(一般病床795床、精神病床50床)で、1日平均の外来患者数は1,300人を超えております。

現在、21世紀の医学、医療を担うに足る附属病院の完成を目指し、新病棟の建設を行つておき、先進医療と全人的包括的医療を兼ね備えた総合的診療体制の確立を推進しております。その一環として、平成16年1月から診療内容も臓器別・系統別診療体制へ移行したほか、都道府県がん診療連携拠点病院として熊本県のがん医療水準の向上に取組んでおります。

理念

本院は、患者本位の医療の実践、臨床医学の発展及び医療人の育成に努め、地域の福祉と健康に貢献する。

基本方針

- 患者の主訴・希望・期待・要求を尊重する医療の実践
- 適切で安全安心と高信頼性の医療サービスを仁恵の心で提供
- 優れた医療人の育成
- 先進医療の開発と推進

診療科

●内科部門

<診療科名>
呼吸器内科／消化器内科／血液内科
膠原病内科／腎臓内科
代謝・内分泌内科／循環器内科
神経内科

●外科部門

<診療科名>
心臓血管外科／呼吸器外科
消化器外科／乳腺・内分泌外科
小児外科／移植外科／泌尿器科
婦人科

●成育医療部門

<診療科名>
小児科／発達小児科／産科

●感覚・運動部門

<診療科名>
整形外科／皮膚科／形成・再建科
眼科／耳鼻咽喉科・頭頸部外科
歯科口腔外科

●放射線診療部門

<診療科名>
画像診断・治療科／放射線治療科

●脳・神経・精神部門

<診療科名>
こころの診療科／神経精神科
脳神経外科／麻酔科

中央診療施設等

中央検査部
集中治療部
輸血・細胞治療部
光学医療診療部
周産母子センター
医療の質管理センター

中央放射線部
救急・総合診療部
感染免疫診療部
治験支援センター
ME機器センター

病理部
中央材料部
血液浄化療法部
高度医療開発センター
がんセンター

中央手術部
リハビリテーション部
総合臨床研修センター
地域医療連携センター
地域医療支援センター

医療情報経営企画部

薬剤部

看護部

医療技術部

医療安全管理部

事務部



各診療科等の実習に対応できる臨床シミュレーションシステム



平成21年6月に(財)日本医療機能評価機構から
病院機能評価の認定を受けました



中央検査部では平成18年8月に
ISO15189を取得

附属図書館

附属図書館は、中央館・医学系分館・薬学部分館で構成され、それぞれのキャンパスにおける教育研究活動を支援する情報基盤の1つとして活動しています。ネットワークを通じて利用できる電子図書館のサービス(各種情報検索、電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等)の提供など、いつでも利用できる図書館となっています。また、開かれた大学の図書館として、一般市民への貸出、蔵書目録のインターネットへの公開など、地域社会に対する学術情報提供の拠点としても機能しています。

蔵書類

(H22.3.31現在)

| | 単位 | 中央館 | 医学系分館 | 薬学部分館 | 合計 |
|---------------------|-----------|-----------|---------|--------|-----------|
| 図書 | 和書(蔵書数) 冊 | 714,287 | 71,872 | 15,779 | 801,938 |
| | 洋書(蔵書数) | 357,119 | 109,487 | 23,032 | 489,638 |
| 合計 | | 1,071,406 | 181,359 | 38,811 | 1,291,576 |
| 雑誌 | 和書 種類 | 10,553 | 2,421 | 578 | 13,552 |
| | 洋書 | 4,058 | 2,616 | 445 | 7,119 |
| 合計 | | 14,611 | 5,037 | 1,023 | 20,671 |
| 入館者数 | 人 | 376,582 | 108,913 | 55,071 | 540,566 |
| 貸出冊数 | 冊 | 57,840 | 6,476 | 1,295 | 65,611 |
| 文献複写数受付 (相互利用)依頼 | 件 | 1,498 | 2,138 | 205 | 3,841 |
| | | 2,413 | 1,894 | 509 | 4,816 |
| 座席数 | 席 | 665 | 210 | 58 | 933 |



▲閲覧室(中央館)



▲パソコンコーナー



▲八雲文庫「ちりめん本」



▲永青文庫寄託「源氏物語」

貴重資料

| 文庫名 | 内 容 |
|---------|---------------------------|
| 阿蘇家文書 | 阿蘇家旧蔵の中世以降の古文書類(国指定重要文化財) |
| 細川家北岡文庫 | 肥後藩政に関する資料 |
| 時習館文庫 | 旧藩校時習館の典籍類 |
| 松井文庫 | 旧松井男爵家旧蔵の古文書典籍類 |
| 菅野文庫 | 菅野是政氏旧蔵の幕末期の蘭書 |
| 落合文庫 | 落合東郭氏旧蔵の漢籍類 |
| 袖原文庫 | 袖原益樹氏旧蔵の支那哲学関係漢籍類 |
| ポーター文庫 | ウィリアム・ポーター氏五高在職当時の所蔵書 |
| 八雲文庫 | 小泉八雲に関する作品・伝記・評論の集積 |
| 永松文庫 | 永松謙一氏旧蔵のゲーテに関するコレクション |
| 仲光家文庫 | 旧熊本藩士、仲光家に伝わった古文書・典籍類 |
| 横井小楠文書 | 横井小楠に関する古文書・古記録類 |

全国共同利用大型資料（人文・社会科学系）

| 資料名 | 内 容 |
|----------------------|--|
| 英國議会資料 | IPU BLUE BOOKS, 1,000 Vols. 19世紀英国議会報告書の中から、主要な社会・政治的資料を1,000巻にまとめたもの |
| SYNTHÈSE LIBRARY | 認識論・論理学・社会哲学とその関連領域の最新史料 135巻 |
| 民国二十年代中国大陆土地問題資料 | 1932年に国民政府によって中央政治学校内に設置された地政学院の研究生が2年にわたって行った実地調査の報告書(全200冊) |
| シェイクスピア研究書コレクション | 英国の文学批評家であるフランク・カーモード教授旧蔵のシェイクスピア研究書コレクション 805点 |
| 少数民族と移出入民：地球規模の現象と課題 | 世界の少数民族に関する民族誌、少数民族問題の社会学的研究、地球レベルでの移民と移動に関する研究及び書誌1セット(462冊 148リール) |
| 米田家文書 | 熊本藩第二家老米田家の近世初期・中期及び幕末期の文書群126点、書類約400綴 |

4 職員・学生数等

役員等数・職員数

役員等数

| 学長 | 理事 | 監事 | 副学長 (教員が兼務) |
|----|----|----|----------------|
| 1 | 6 | 2 | 2 |

職員数

(H22.5.1現在)

| 区分 | 教 員 | | | | | | | | | | | | | | 事務・技術職員等 | 計 | | |
|------------------|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----------|-------|-------|-----|
| | 教 授 | | | 准教授 | | | 講 師 | | | 助 教 | | | 助 手 | | | | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 文 学 部 | 27 | 3 | 30 | 26 | 6 | 32 | 2 | 0 | 2 | | | | | | | 55 | 9 | 64 |
| 教 育 学 部 | 41 | 7 | 48 | 35 | 13 | 48 | 3 | 2 | 5 | | | | 54 | 30 | 84 | 133 | 52 | 185 |
| 法 学 部 | 15 | 0 | 15 | 9 | 7 | 16 | 0 | 1 | 1 | | | | 0 | 1 | 1 | 24 | 9 | 33 |
| 理 学 部 | | | 0 | | 0 | | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 3 |
| 薬 学 部 | 2 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 2 | | | | 5 | 1 | 6 | | | 5 |
| 工 学 部 | | | | 1 | 0 | 1 | | | | | | | 1 | 0 | 1 | 38 | 3 | 41 |
| 大学院社会文化科学研究科 | 9 | 2 | 11 | 3 | 2 | 5 | | | | 0 | 1 | 1 | | | | 12 | 5 | 17 |
| 大学院自然科学研究科 | 104 | 2 | 106 | 69 | 4 | 73 | 7 | 0 | 7 | 36 | 4 | 40 | | | | 216 | 10 | 226 |
| 大学院生命科学研究部 | 76 | 14 | 90 | 45 | 7 | 52 | 13 | 3 | 16 | 78 | 23 | 101 | 0 | 1 | 1 | 212 | 48 | 260 |
| 大学院法曹養成研究科 | 12 | 2 | 14 | 3 | 2 | 5 | | | | | | | | | | 15 | 4 | 19 |
| 保 健 センタ ー | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | | | | 0 | 1 | 1 | | | | 2 | 1 | 3 |
| 発 生 医 学 研 究 所 | 9 | 1 | 10 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 10 | 4 | 14 | | | | 22 | 5 | 27 |
| イノベーション推進機構 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | 2 | 0 | 2 |
| 総合情報基盤センター | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | | | | 2 | 0 | 2 | | | | 7 | 0 | 7 |
| 国際化推進センター | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 | | | | | | | 4 | 2 | 6 |
| 大学教育機能開発総合研究センター | 2 | 0 | 2 | 3 | 2 | 5 | | | | | | | | | | 5 | 2 | 7 |
| 政策創造研究教育センター | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | | | 4 | 1 | 5 |
| 五 高 記 念 館 | | | | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| e ラーニング推進機構 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | 2 | 0 | 2 |
| 沿岸域環境科学教育研究センター | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | | | | | | | | | | 5 | 0 | 5 |
| 衝撃・極限環境研究センター | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | | | | 1 | 0 | 1 | | | | 6 | 0 | 6 |
| 生命資源研究・支援センター | 2 | 0 | 2 | 4 | 1 | 5 | | | | 3 | 1 | 4 | 1 | 0 | 1 | 10 | 2 | 12 |
| エイズ学研究センター | 3 | 0 | 3 | 3 | 0 | 3 | | | | 1 | 0 | 1 | | | | 7 | 0 | 7 |
| バイオエレクトリクス研究センター | 5 | 0 | 5 | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | 6 | 0 | 6 |
| 環 境 安 全 センタ ー | | | | 1 | 0 | 1 | | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 |
| 埋 藏 文 化 財 調 査 室 | | | | 1 | 0 | 1 | | | | 0 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 2 |
| 附 属 病 院 | 2 | 0 | 2 | 5 | 0 | 5 | 31 | 2 | 33 | 58 | 9 | 67 | | | | 96 | 11 | 107 |
| 事 務 部 門 | | | | | | | | | | | | | | | | 305 | 131 | 436 |
| 合 計 | 325 | 31 | 356 | 225 | 46 | 271 | 60 | 10 | 70 | 189 | 44 | 233 | 1 | 2 | 3 | 54 | 30 | 84 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 1,017 | 431 | 588 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 1,019 | 1,285 | 751 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | 2,036 | | |

学生・生徒・児童及び幼児数

学部

(H22.5.1現在)

| 学科・課程 | 入学定員 | 総定員 | 現 員 | | | | | | | | | | | | | | | 合計 | | | | | |
|---------------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|-----|-------|-----|----|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|
| | | | 1年次 | | | 2年次 | | | 3年次 | | | 4年次 | | | 5年次 | | | 6年次 | | | | | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | |
| 文学部 | 170 | 700 | 60 | 134 | 194 | 47 | 146 | 193 | 45 | 157 | 202 | 58 | 169 | 227 | | | | 210 | 606 | 816 | | | |
| 総合人間学科 | 55 | 220 | 17 | 49 | 66 | 9 | 48 | 57 | 14 | 53 | 67 | 12 | 52 | 64 | | | | 52 | 202 | 254 | | | |
| 歴史学科 | 35 | 140 | 21 | 17 | 38 | 15 | 25 | 40 | 16 | 24 | 40 | 22 | 31 | 53 | | | | 74 | 97 | 171 | | | |
| 文学科 | 50 | 200 | 15 | 40 | 55 | 16 | 43 | 59 | 9 | 49 | 58 | 17 | 52 | 69 | | | | 57 | 184 | 241 | | | |
| コミュニケーション情報学科 | 30 | 120 | 7 | 28 | 35 | 7 | 30 | 37 | 6 | 31 | 37 | 6 | 33 | 39 | | | | 26 | 122 | 148 | | | |
| 人間科学科 | | | | | | | | | | | | 0 | 1 | 1 | | | | 0 | 1 | 1 | | | |
| 地域科学科 | | | | | | | | | | | | 1 | 0 | 1 | | | | 1 | 0 | 1 | | | |
| (学部共通) | | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育学部 | 290 | 1,160 | 132 | 184 | 316 | 142 | 166 | 308 | 135 | 172 | 307 | 171 | 191 | 362 | | | | 580 | 713 | 1,293 | | | |
| 小学校教員養成課程 | 110 | 440 | 50 | 69 | 119 | 58 | 51 | 109 | 55 | 57 | 112 | 72 | 74 | 146 | | | | 235 | 251 | 486 | | | |
| 中学校教員養成課程 | 70 | 280 | 40 | 39 | 79 | 43 | 35 | 78 | 38 | 40 | 78 | 53 | 40 | 93 | | | | 174 | 154 | 328 | | | |
| 特別支援学校教員養成課程 | 20 | 80 | 6 | 15 | 21 | 8 | 15 | 23 | 6 | 16 | 22 | 4 | 16 | 20 | | | | 24 | 62 | 86 | | | |
| 養護教諭養成課程 | 30 | 120 | | 33 | 33 | | 34 | 34 | | 33 | 33 | | 33 | 33 | | | | 133 | 133 | | | | |
| 地域共生社会課程 | 20 | 80 | 10 | 11 | 21 | 9 | 13 | 22 | 8 | 14 | 22 | 13 | 11 | 24 | | | | 40 | 49 | 89 | | | |
| 生涯スポーツ福祉課程 | 40 | 160 | 26 | 17 | 43 | 24 | 18 | 42 | 28 | 12 | 40 | 27 | 16 | 43 | | | | 105 | 63 | 168 | | | |
| 養護学校教員養成課程 | | | | | | | | | | | | 2 | 1 | 3 | | | | 2 | 1 | 3 | | | |
| 法学部 | 210 | 860 | 109 | 101 | 210 | 132 | 118 | 250 | 98 | 106 | 204 | 132 | 127 | 259 | | | | 471 | 452 | 923 | | | |
| 法学科 | 210 | 840 | 109 | 101 | 210 | 132 | 118 | 250 | 98 | 106 | 204 | 127 | 126 | 253 | | | | 466 | 451 | 917 | | | |
| 公共政策学科 | | | | | | | | | | | | 5 | 1 | 6 | | | | 5 | 1 | 6 | | | |
| (学部共通) | | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理学部 | 190 | 760 | 147 | 55 | 202 | 154 | 65 | 219 | 127 | 60 | 187 | 155 | 66 | 221 | | | | 583 | 246 | 829 | | | |
| 理学科 | 190 | 760 | 147 | 55 | 202 | 154 | 65 | 219 | 127 | 60 | 187 | 154 | 66 | 220 | | | | 582 | 246 | 828 | | | |
| 生物科学科 | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | 1 | 1 | | | | |
| 医学部 | 259 | 1,233 | 116 | 155 | 271 | 150 | 132 | 282 | 122 | 144 | 266 | 108 | 143 | 251 | 79 | 26 | 105 | 70 | 36 | 106 | 645 | 636 | 1,281 |
| 医学科 | 115 | 625 | 84 | 38 | 122 | 88 | 29 | 117 | 84 | 21 | 105 | 72 | 27 | 99 | 79 | 26 | 105 | 70 | 36 | 106 | 477 | 177 | 654 |
| 保健学科 | 144 | 576 | 32 | 117 | 149 | 62 | 103 | 165 | 38 | 123 | 161 | 36 | 116 | 152 | | | | 168 | 459 | 627 | | | |
| (保健学科共通) | | 32 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬学部 | 90 | 415 | 48 | 51 | 99 | 54 | 40 | 94 | 55 | 41 | 96 | 49 | 43 | 92 | 26 | 31 | 57 | | | | 232 | 206 | 438 |
| 薬学科 | 55 | 275 | 24 | 33 | 57 | 27 | 32 | 59 | 29 | 27 | 56 | 28 | 23 | 51 | 26 | 31 | 57 | | | | 134 | 146 | 280 |
| 創薬・生命薬学科 | 35 | 140 | 23 | 18 | 41 | 27 | 8 | 35 | 24 | 14 | 38 | 20 | 19 | 39 | | | | 94 | 59 | 153 | | | |
| 薬学科 | | | 1 | 1 | | | | 2 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | | | | 4 | 1 | 5 | | | |
| 工学部 | 513 | 2,127 | 485 | 65 | 550 | 460 | 76 | 536 | 516 | 72 | 588 | 676 | 93 | 769 | | | | 2,137 | 306 | 2,443 | | | |
| 物質生命工学科 | 80 | 320 | 63 | 24 | 87 | 55 | 31 | 86 | 62 | 27 | 89 | 72 | 36 | 108 | | | | 252 | 118 | 370 | | | |
| マテリアル工学科 | 46 | 184 | 48 | 1 | 49 | 43 | 3 | 46 | 49 | 2 | 51 | 50 | 4 | 54 | | | | 190 | 10 | 200 | | | |
| 機械システム工学科 | 97 | 388 | 99 | 6 | 105 | 101 | 2 | 103 | 110 | 1 | 111 | 134 | 2 | 136 | | | | 444 | 11 | 455 | | | |
| 社会環境工学科 | 71 | 284 | 63 | 13 | 76 | 65 | 11 | 76 | 70 | 9 | 79 | 71 | 14 | 85 | | | | 269 | 47 | 316 | | | |
| 建築学科 | 56 | 224 | 48 | 15 | 63 | 45 | 15 | 60 | 46 | 21 | 67 | 62 | 18 | 80 | | | | 201 | 69 | 270 | | | |
| 情報電気電子工学科 | 153 | 612 | 154 | 4 | 158 | 144 | 11 | 155 | 168 | 8 | 176 | 196 | 12 | 208 | | | | 662 | 35 | 697 | | | |
| 数理工学科 | 10 | 40 | 10 | 2 | 12 | 7 | 3 | 10 | 11 | 4 | 15 | 12 | 4 | 16 | | | | 40 | 13 | 53 | | | |
| 環境システム工学科 | | | | | | | | | | | | 17 | | | | | | 17 | 0 | 17 | | | |
| 知能生産システム工学科 | | | | | | | | | | | | 22 | 1 | 23 | | | | 22 | 1 | 23 | | | |
| 電気システム工学科 | | | | | | | | | | | | 21 | | 21 | | | | 21 | | 21 | | | |
| 数理情報システム工学科 | | | | | | | | | | | | 19 | 2 | 21 | | | | 19 | 2 | 21 | | | |
| (学部共通) | | 75 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | 1,722 | 7,255 | 1,097 | 745 | 1,842 | 1,139 | 743 | 1,882 | 1,098 | 752 | 1,850 | 1,349 | 832 | 2,181 | 79 | 26 | 105 | 70 | 36 | 106 | 4,858 | 3,165 | 8,023 |

外国人留学生を含む。

4 職員・学生数等

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(修士課程・博士前期課程)

(H22.5.1現在)

| 研究科・専攻 | 入学定員 | 総定員 | 現 員 | | | | | | | | |
|-----------------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-------|
| | | | 1年次 | | | 2年次 | | | 計 | | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 社会文化科学研究科(修士) | | | | | | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 教授システム学専攻 | | | | | | 2 | 2 | 4 | 2 | 2 | 4 |
| 保健学教育部(修士) | | | | | | 10 | 15 | 25 | 10 | 15 | 25 |
| 保健学専攻 | | | | | | 10 | 15 | 25 | 10 | 15 | 25 |
| 教育学研究科(修士) | 47 | 94 | 29 | 21 | 50 | 19 | 27 | 46 | 48 | 48 | 96 |
| 学校教育実践専攻 | 13 | 26 | 6 | 9 | 15 | 4 | 10 | 14 | 10 | 19 | 29 |
| 教科教育実践専攻 | 34 | 68 | 23 | 12 | 35 | 13 | 13 | 26 | 36 | 25 | 61 |
| 学校教育専攻 | | | | | | | 2 | 2 | | 2 | 2 |
| 特別支援教育専攻 | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| 教科教育専攻 | | | | | | 2 | | 2 | 2 | | 2 |
| 養護教育専攻 | | | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 |
| 社会文化科学研究科(博士前期) | 76 | 146 | 31 | 41 | 72 | 46 | 53 | 99 | 77 | 94 | 171 |
| 公共政策学専攻 | 13 | 23 | 6 | 3 | 9 | 7 | 6 | 13 | 13 | 9 | 22 |
| 法学専攻 | 12 | 21 | 1 | 4 | 5 | 7 | 5 | 12 | 8 | 9 | 17 |
| 現代社会人間学専攻 | 18 | 36 | 5 | 16 | 21 | 7 | 16 | 23 | 12 | 32 | 44 |
| 文化学専攻 | 18 | 36 | 7 | 11 | 18 | 11 | 17 | 28 | 18 | 28 | 46 |
| 教授システム学専攻 | 15 | 30 | 12 | 7 | 19 | 14 | 9 | 23 | 26 | 16 | 42 |
| 自然科学研究科(博士前期) | 392 | 784 | 402 | 77 | 479 | 422 | 51 | 473 | 824 | 128 | 952 |
| 理学専攻 | 85 | 185 | 75 | 26 | 101 | 95 | 30 | 125 | 170 | 56 | 226 |
| 数学専攻 | 15 | 15 | 18 | | 18 | | | | 18 | | 18 |
| 複合新領域科学専攻 | 12 | 24 | 8 | 2 | 10 | 12 | | 12 | 20 | 2 | 22 |
| 物質生命化学専攻 | 43 | 86 | 34 | 18 | 52 | 60 | 9 | 69 | 94 | 27 | 121 |
| マテリアル工学専攻 | 25 | 50 | 33 | 5 | 38 | 22 | 1 | 23 | 55 | 6 | 61 |
| 機械システム工学専攻 | 57 | 114 | 62 | 1 | 63 | 68 | 1 | 69 | 130 | 2 | 132 |
| 情報電気電子工学専攻 | 81 | 162 | 96 | 5 | 101 | 89 | 4 | 93 | 185 | 9 | 194 |
| 社会環境工学専攻 | 38 | 76 | 47 | 11 | 58 | 42 | 1 | 43 | 89 | 12 | 101 |
| 建築学専攻 | 36 | 72 | 29 | 9 | 38 | 34 | 5 | 39 | 63 | 14 | 77 |
| 医学教育部(修士) | 20 | 40 | 14 | 19 | 33 | 22 | 13 | 35 | 36 | 32 | 68 |
| 医科学専攻 | 20 | 40 | 14 | 19 | 33 | 22 | 13 | 35 | 36 | 32 | 68 |
| 保健学教育部(博士前期) | 16 | 32 | 9 | 13 | 22 | 0 | 0 | 0 | 9 | 13 | 22 |
| 保健学専攻 | 16 | 32 | 9 | 13 | 22 | | | | 9 | 13 | 22 |
| 薬学教育部(博士前期) | 35 | 104 | 27 | 14 | 41 | 52 | 42 | 94 | 79 | 56 | 135 |
| 創薬・生命薬科学専攻 | 35 | 35 | 26 | 14 | 40 | | | | 26 | 14 | 40 |
| 分子機能薬学専攻 | | 42 | 1 | | 1 | 27 | 16 | 43 | 28 | 16 | 44 |
| 生命薬科学専攻 | | 27 | | | | 25 | 26 | 51 | 25 | 26 | 51 |
| 合 計 | 586 | 1,200 | 512 | 185 | 697 | 573 | 203 | 776 | 1,085 | 388 | 1,473 |

外国人留学生を含む。

学生・生徒・児童及び幼児数

大学院(博士課程・博士後期課程)

(H22.5.1現在)

| 研究科・専攻 | 入学定員 | 総定員 | 現 員 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|
| | | | 1年次 | | | 2年次 | | | 3年次 | | | 4年次 | | | 合計 | | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 医学研究科(博士) | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 脳・免疫統合科学系専攻 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 社会文化科学研究科(博士後期) | 15 | 45 | 18 | 12 | 30 | 7 | 19 | 26 | 19 | 16 | 35 | | | | 44 | 47 | 91 |
| 人間・社会科学専攻 | 6 | 18 | 11 | 9 | 20 | 3 | 10 | 13 | 4 | 4 | 8 | | | | 18 | 23 | 41 |
| 文化学専攻 | 6 | 18 | 2 | 3 | 5 | 1 | 7 | 8 | 3 | 6 | 9 | | | | 6 | 16 | 22 |
| 教授システム学専攻 | 3 | 9 | 5 | | 5 | 3 | 2 | 5 | 4 | | 4 | | | | 12 | 2 | 14 |
| 公共社会政策学専攻 | | | | | | | | | 8 | 6 | 14 | | | | 8 | 6 | 14 |
| 自然科学研究科(博士後期) | 62 | 186 | 59 | 16 | 75 | 62 | 13 | 75 | 103 | 12 | 115 | | | | 224 | 41 | 265 |
| 理学専攻 | 10 | 30 | 9 | 1 | 10 | 14 | | 14 | 17 | 3 | 20 | | | | 40 | 4 | 44 |
| 複合新領域科学専攻 | 18 | 54 | 22 | 6 | 28 | 23 | 7 | 30 | 21 | 4 | 25 | | | | 66 | 17 | 83 |
| 産業創造工学専攻 | 14 | 42 | 7 | 3 | 10 | 9 | 1 | 10 | 13 | 3 | 16 | | | | 29 | 7 | 36 |
| 情報電気電子工学専攻 | 10 | 30 | 14 | 1 | 15 | 12 | 1 | 13 | 20 | 2 | 22 | | | | 46 | 4 | 50 |
| 環境共生工学専攻 | 10 | 30 | 7 | 5 | 12 | 4 | 4 | 8 | 19 | | 19 | | | | 30 | 9 | 39 |
| 生産システム科学専攻 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 |
| システム情報科学専攻 | | | | | | | | | 6 | | 6 | | | | 6 | | 6 |
| 環境共生科学専攻 | | | | | | | | | 5 | | 5 | | | | 5 | | 5 |
| 物質・生命科学専攻 | | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | 1 | | 1 |
| 医学教育部(博士) | 88 | 352 | 58 | 23 | 81 | 46 | 16 | 62 | 47 | 17 | 64 | 64 | 19 | 83 | 215 | 75 | 290 |
| 医学専攻 | 88 | 264 | 58 | 23 | 81 | 46 | 16 | 62 | 47 | 17 | 64 | | | | 151 | 56 | 207 |
| 生体医科学専攻 | | | 26 | | | | | | | | | 4 | 3 | 7 | 4 | 3 | 7 |
| 病態制御学専攻 | | | 22 | | | | | | | | | 9 | | 9 | 9 | | 9 |
| 臨床医科学専攻 | | | 31 | | | | | | | | | 41 | 10 | 51 | 41 | 10 | 51 |
| 環境社会医学専攻 | | | 9 | | | | | | | | | 10 | 6 | 16 | 10 | 6 | 16 |
| 保健学教育部(博士後期) | 6 | 6 | 3 | 6 | 9 | | | | | | | | | | 3 | 6 | 9 |
| 保健学専攻 | 6 | 6 | 3 | 6 | 9 | | | | | | | | | | 3 | 6 | 9 |
| 薬学教育部(博士後期) | 31 | 93 | 15 | 3 | 18 | 12 | 4 | 16 | 19 | 6 | 25 | | | | 46 | 13 | 59 |
| 分子機能薬学専攻 | 18 | 54 | 12 | 1 | 13 | 9 | | 9 | 10 | 3 | 13 | | | | 31 | 4 | 35 |
| 生命薬科学専攻 | 13 | 39 | 3 | 2 | 5 | 3 | 4 | 7 | 9 | 3 | 12 | | | | 15 | 9 | 24 |
| 合 計 | 202 | 682 | 153 | 60 | 213 | 127 | 52 | 179 | 188 | 51 | 239 | 64 | 20 | 84 | 532 | 183 | 715 |

外国人留学生を含む。

法曹養成研究科(専門職学位課程)

(H22.5.1現在)

| 名 称 | 入学定員 | 総定員 | 現 員 | | | | | | | | | | | |
|--------|------|-----|-----|----|----|-----|---|----|-----|---|----|----|----|----|
| | | | 1年次 | | | 2年次 | | | 3年次 | | | 合計 | | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 法曹養成専攻 | 22 | 82 | 32 | 13 | 45 | 17 | 7 | 24 | 17 | 5 | 22 | 66 | 25 | 91 |

専攻科(修業年限1年)

(H22.5.1現在)

| 名 称 | 定員 | 現 員 | | |
|-------------|----|-----|----|----|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 特別支援教育特別専攻科 | 20 | 9 | 16 | 25 |

別科(修業年限1年)

(H22.5.1現在)

| 名 称 | 定員 | 現 員 | | |
|----------|----|-----|---|----|
| | | 男 | 女 | 計 |
| 養護教諭特別別科 | | 40 | 1 | 36 |

教育学部附属学校

(H22.5.1現在)

| 区分 | 入学(園)定員 (学級数) | 総定員 | 現 員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------------------|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|
| | | | 1年次 | | | 2年次 | | | 3年次 | | | 4年次 | | | 5年次 | | | 6年次 | | | | | | |
| | | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | | | | | | | |
| 小学校 | 120 (18) | 720 | 60 | 60 | 120 | 60 | 60 | 120 | 60 | 60 | 120 | 60 | 60 | 120 | 60 | 60 | 120 | 60 | 59 | 119 | 360 | 359 | 719 | |
| 中学校 | 160 (12) | 480 | 82 | 82 | 164 | 77 | 85 | 162 | 81 | 78 | 159 | | | | | | | | | | 240 | 245 | 485 | |
| 特別支援学校 | 小学部 | 6 (複式3) | 18 | 2 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | 1 | 2 | 3 | 11 | 6 | 17 |
| 中学部 | 6 (3) | 18 | 4 | 2 | 6 | 3 | 3 | 6 | 3 | 3 | 6 | | | | | | | | | | 10 | 8 | 18 | |
| 高等部 | 8 (3) | 24 | 5 | 3 | 8 | 5 | 4 | 9 | 5 | 4 | 9 | | | | | | | | | | 15 | 11 | 26 | |
| 幼稚園 | 3年保育 | 20 (5) | 160 | 3歳児 | | | 4歳児 | | | 5歳児 | | | | | | | | | | | 58 | 62 | 120 | |
| | 2年保育 | 50 | 14 | 14 | 28 | 20 | 19 | 39 | 24 | 29 | 53 | | | | | | | | | | | | | |

4 職員・学生数等

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティニアジアム

入学状況

学部

(平成22年度)

| 区分 | 入学定員 | 入学志願者 | | | 入学者 | | | 外国人留学生(内数) | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|------------|----|----|-----|---|---|---|
| | | | | | | | | 入学志願者 | | | 入学者 | | | |
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 文学部 | 170 | 252 | 464 | 716 | 55 | 132 | 187 | 4 | 9 | 13 | 0 | 3 | 3 | |
| 教育学部 | 290 | 354 | 504 | 858 | 127 | 182 | 309 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 法学部 | 210 | 446 | 297 | 743 | 109 | 101 | 210 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | |
| 理学部 | 190 | 546 | 247 | 793 | 147 | 55 | 202 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | |
| 医学部 | 医学科 | 115 | 619 | 252 | 871 | 78 | 38 | 116 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 保健学科 | 144 | 134 | 417 | 551 | 32 | 117 | 149 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 薬学部 | 90 | 197 | 227 | 424 | 43 | 50 | 93 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 工学部 | 513 | 1,204 | 210 | 1,414 | 482 | 65 | 547 | 10 | 5 | 15 | 2 | 2 | 4 | 4 |
| 合計 | 1,722 | 3,752 | 2,618 | 6,370 | 1,073 | 740 | 1,813 | 16 | 16 | 32 | 3 | 6 | 9 | 9 |

政府派遣留学生3名(外数)

大学院

(平成22年度)

| 区分 | 入学定員 | 入学志願者 | | | 入学者 | | | 社会人入試(内数) | | | | | | 外国人留学生(内数) | | | | | | |
|-------------|------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-----------|----|----|-----|----|----|------------|----|----|-----|----|----|----|
| | | | | | | | | 入学志願者 | | | 入学者 | | | 入学志願者 | | | 入学者 | | | |
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 教育学研究科(修) | 47 | 33 | 33 | 66 | 29 | 21 | 50 | — | — | — | — | — | — | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | |
| 社会科学研究科 | 前期 | 76 | 57 | 53 | 110 | 29 | 40 | 69 | 34 | 23 | 57 | 21 | 15 | 36 | 3 | 15 | 18 | 2 | 15 | 17 |
| | 後期 | 15 | 26 | 15 | 41 | 18 | 12 | 30 | 11 | 8 | 19 | 7 | 6 | 13 | 3 | 3 | 6 | 2 | 3 | 5 |
| 自然科学 研究科 | 前期 | 392 | 514 | 92 | 606 | 401 | 72 | 473 | 3 | 0 | 3 | 2 | 0 | 2 | 12 | 6 | 18 | 9 | 5 | 14 |
| | 後期 | 62 | 40 | 10 | 50 | 39 | 10 | 49 | 9 | 1 | 10 | 9 | 1 | 10 | 7 | 3 | 10 | 6 | 3 | 9 |
| 医学教育部 | 修士 | 20 | 18 | 21 | 39 | 14 | 19 | 33 | — | — | — | — | — | — | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 |
| | 博士 | 88 | 55 | 21 | 76 | 54 | 21 | 75 | 24 | 10 | 34 | 24 | 10 | 34 | 4 | 2 | 6 | 4 | 2 | 6 |
| 保健学教育部 | 前期 | 16 | 16 | 22 | 38 | 9 | 13 | 22 | — | — | — | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 後期 | 6 | 4 | 8 | 12 | 3 | 6 | 9 | — | — | — | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 薬学教育部 | 前期 | 35 | 28 | 17 | 45 | 26 | 14 | 40 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 後期 | 31 | 14 | 2 | 16 | 14 | 2 | 16 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 法曹養成研究科 | | 22 | 62 | 20 | 82 | 13 | 6 | 19 | — | — | — | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 810 | 867 | 314 | 1,181 | 649 | 236 | 885 | 82 | 42 | 124 | 64 | 32 | 96 | 30 | 34 | 64 | 24 | 32 | 56 |

専攻科

(平成22年度)

| 区分 | 入学定員 | 入学志願者 | | | 入学者 | | |
|--------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 特別支援教育 | 20 | 10 | 17 | 27 | 9 | 16 | 25 |
| 特別専攻科 | | (6) | (3) | (9) | (6) | (3) | (9) |

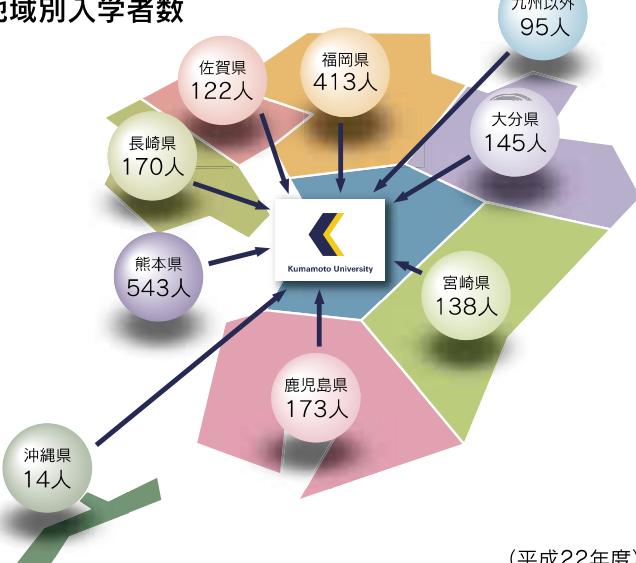
()内は現職教員で内数。

別科

(平成22年度)

| 区分 | 入学定員 | 入学志願者 | | | 入学者 | | |
|--------|------|-------|----|----|-----|----|----|
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 養護教諭別科 | 40 | 2 | 54 | 56 | 1 | 36 | 37 |

地域別入学者数



卒業後の状況

(H22.5.1現在)

| 区分 | 学 部 | | | | | | | | | | | | | | | | 工学部 | | | | | |
|------------------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|------------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | 文学部 | | | 教育学部 | | | 法学部 | | | 理学部 | | | 医学部 | | | 薬学部 | | | 工学部 | | | |
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 卒業者数 | 62 | 123 | 185 | 121 | 169 | 290 | 107 | 94 | 201 | 131 | 57 | 188 | 98 | 151 | 249 | 28 | 12 | 40 | 513 | 76 | 589 | |
| 進学者数 | 6 | 11 | 17 | 26 | 32 | 58 | 10 | 9 | 19 | 90 | 25 | 115 | 8 | 3 | 11 | 25 | 11 | 36 | 323 | 41 | 364 | |
| 就職者数 | 39 | 86 | 125 | 73 | 107 | 180 | 69 | 64 | 133 | 29 | 29 | 58 | 33 | 115 | 148 | 1 | 1 | 152 | 28 | 180 | | |
| 農・林・漁業・鉱業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 29 | 9 | 38 | | |
| 食料品・飲料・たばこ・飼料 | 3 | 2 | 5 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 織維工業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 印刷・同関連業 | 1 | 2 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 化学工業・石油・石炭製品 | | 1 | 1 | 1 | 3 | 4 | 2 | | 2 | 2 | 5 | 7 | | | | | | 2 | 2 | 4 | | |
| 製鐵鋼業・非鉄金属・金属製品 | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | 8 | 1 | 9 | | |
| 造はん用・生産用・業務用機械器具 | 2 | 1 | 3 | | | | 4 | 4 | | | | | | | | | | 14 | 1 | 15 | | |
| 業電子部品・デバイス・電子回路 | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 6 | 2 | 8 | | |
| 電気・情報通信機械器具 | 2 | 1 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 1 | 17 | | |
| 輸送用機械器具 | | | | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | | | 6 | 6 | | | |
| その他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | | 1 | 1 | | | | 3 | 2 | 5 | | 1 | 1 | | | | | | 7 | 7 | | | |
| 情報通信業 | 2 | 12 | 14 | 2 | 1 | 3 | 8 | 3 | 11 | 3 | 5 | 8 | | | | | | 24 | 1 | 25 | | |
| 運輸業、郵便業 | | | | 1 | | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | | 7 | 7 | | | |
| 卸売業・小売業 | 4 | 8 | 12 | 4 | 4 | 8 | 6 | 4 | 10 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 4 | 1 | 5 | | |
| 金融業・保険業 | 6 | 24 | 30 | 4 | 12 | 16 | 11 | 8 | 19 | 1 | 5 | 6 | | | | | | 5 | 1 | 6 | | |
| 不動産業、物品貯蔵業 | | 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | 2 | 2 | | | |
| 学術研究・専門・技術サービス業 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 4 | 5 | 2 | 2 | 4 | | | | | | 3 | 4 | 7 | | |
| 宿泊業・飲食サービス業 | 2 | | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 生活関連サービス業、娯楽業 | 1 | 4 | 5 | 1 | 1 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| 教育、学習支援業 | 5 | 8 | 13 | 38 | 65 | 103 | | 2 | 2 | 9 | 1 | 10 | | | | | | 2 | 2 | 4 | | |
| 医療、福祉 | 2 | 2 | 4 | 1 | 6 | 7 | 1 | | 1 | 3 | 3 | 27 | 101 | 128 | | | | 1 | 1 | | | |
| 複合サービス事業 | | | | 1 | | 1 | | | | 2 | 2 | 4 | | | | | | 2 | 1 | 3 | | |
| サービス業 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | | 1 | 2 | 2 | | | | | | | 1 | 1 | | | |
| 公 国 家 公 務 | 2 | 1 | 3 | 4 | | 4 | 10 | 14 | 24 | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | | 1 | 1 | 1 | | |
| 務 地 方 公 務 | 7 | 13 | 20 | 14 | 10 | 24 | 17 | 24 | 41 | 1 | 3 | 4 | 5 | 12 | 17 | | 1 | 1 | 12 | 12 | | |
| 上記以外 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 2 | | 2 | | | | | | | | | | | | |
| その他の | 17 | 26 | 43 | 22 | 30 | 52 | 28 | 21 | 49 | 12 | 3 | 15 | 57 (48) | 33 (31) | 90 (79) | 3 | | 3 | 38 | 7 | 45 | |

卒業者数は平成21年度間(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)に卒業した者を示す。「その他」欄の医学部の()内は、臨床研修医を示す。

修了後の状況

(H22.5.1現在)

修了者数は平成21年度間(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)に修了した者を示す。

学位授与数

(H22.3.31現在)

| 区分 | 旧制 | 新 制 | | | | |
|------------|-------|---------|-------|--------|--------|-------|
| | | 課 程 | | | 論 文 | |
| | | 卒業者・修了者 | 遞及修了者 | 累 計 | 平成21年度 | 累 計 |
| 博士(文学) | | 10 | 0 | 36 | 0 | 9 |
| 博士(公共政策学) | | 4 | 0 | 16 | 1 | 2 |
| 博士(法学) | | 0 | 0 | 3 | | |
| 博士(理学) | | 8 | 0 | 144 | 2 | 27 |
| 博士(工学) | | 22 | 3 | 461 | 5 | 107 |
| 博士(学術) | | 16 | 0 | 197 | 0 | 18 |
| 博士(医学) | 1,663 | 42 | 21 | 1,751 | 8 | 931 |
| 博士(薬学) | | 8 | 2 | 199 | 4 | 133 |
| 博士(臨床薬学) | | 0 | 0 | 7 | | |
| 博士(生命科学) | | 4 | 1 | 10 | 2 | 2 |
| 法務博士(専門職) | | 16 | 0 | 96 | | |
| 修士(文学) | | 39 | 0 | 864 | | |
| 修士(教育学) | | 51 | 0 | 905 | | |
| 修士(法学) | | 10 | 0 | 415 | | |
| 修士(公共政策学) | | 6 | 0 | 60 | | |
| 修士(医学) | | 21 | 0 | 130 | | |
| 修士(看護学) | | 9 | 0 | 9 | | |
| 修士(保健学) | | 10 | 0 | 10 | | |
| 修士(薬学) | | 79 | 0 | 1,502 | | |
| 修士(臨床薬学) | | 0 | 0 | 76 | | |
| 修士(理学) | | 93 | 0 | 1,689 | | |
| 修士(工学) | | 324 | 0 | 6,973 | | |
| 修士(学術) | | 11 | 0 | 21 | | |
| 修士(教授システム) | | 15 | 0 | 32 | | |
| 合 計 | 1,663 | 798 | 27 | 15,606 | 22 | 1,229 |

平成21年度中に授与した学位の数(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

奨学生数

(H22.3.31現在)

| 区分 | 在学生数 | 日本学生支援機構 | | | 各種団体 育英会 | 合 計 |
|-----|---------|----------|-------|-------|-------------|-------|
| | | 一種 | 二種 | 計 | | |
| 学 部 | 7,924 | 1,400 | 2,975 | 4,375 | 157 | 4,532 |
| 大学院 | 博士前期・修士 | 1,470 | 577 | 215 | 792 | 5 |
| | 博士後期・博士 | 694 | 115 | 3 | 118 | 2 |
| | 法曹養成研究科 | 91 | 35 | 25 | 60 | 2 |
| 合 計 | 10,179 | 2,127 | 3,218 | 5,345 | 166 | 5,511 |

「学部」は、特別支援教育特別専攻科及び養護教諭特別別科を含む。

5 国際交流

国際交流協定

大学間交流協定

(H22.5.1現在)

| 国名・地域 | 大学名 | 協定締結年 | |
|----------|---------------------------|-------|------|
| | | 研究者交流 | 学生交流 |
| インドネシア | スラバヤ工科大学連合 | 2008 | 2008 |
| 韓国 | 培材大学校 | 1999 | 2000 |
| | 東亜大学校 | | 2005 |
| | 韓国科学技術院 | 2006 | 2006 |
| | 朝鮮大学校 | 2009 | 2009 |
| タイ | カセサート大学 | 1994 | |
| | コンケン大学 | 2004 | 2005 |
| 中国 | 広西師範大学 | 2005 | 2005 |
| | 同濟大学 | 2007 | 2005 |
| | 南昌大学 | 2006 | |
| | 大連理工大学 | 2006 | 2006 |
| | 上海師範大学 | 2008 | 2008 |
| | 南開大学 | 2009 | |
| | 山東大学 | 2009 | 2009 |
| | 四川大学 | 2009 | 2009 |
| | 吉林大学 | 2009 | 2009 |
| | 哈爾濱工業大学 | 2009 | 2009 |
| 台湾 | 南台科技大学 | 2008 | 2008 |
| パングラデシュ | ダッカ大学 | 2000 | |
| フィリピン | フィリピン大学ティリマン校 | 2002 | |
| ベトナム | ベトナム国立大学ハノイ校 ハノイ科学大学 | 2007 | 2008 |
| アメリカ合衆国 | モンタナ州立大学 | 1987 | 1987 |
| | モンタナ大学 | 1987 | 1987 |
| | バージニアコモンウェルス大学 | 1989 | |
| | ノースカラローナ大学シャーロット校 | 1990 | |
| | テキサステック大学 | 1994 | |
| | テキサス大学ヘルスサイエンスセンター・アントニオ校 | 1999 | |
| | パシフィック大学 | | 2006 |
| カナダ | アルバータ大学 | 2001 | |
| イギリス | ダラム大学 | | 1993 |
| | バーミンガム大学 | 1993 | 1994 |
| | リーズ大学 | | 2006 |
| ドイツ | ザールラント大学 | 2001 | 2001 |
| フランス | ポルドー国立電子情報高等学院 | 2006 | 2006 |
| | ポルドー大学連合 | 2007 | 2007 |
| ポーランド | ワルシャワ大学 | 2009 | 2009 |
| イスラエル | ネゲフ・ベン・グリオン大学 | 1999 | |
| トルコ | エーゲ大学 | 2000 | 2005 |
| エジプト | スエズ運河大学 | 2006 | |
| | ファユム大学 | 2008 | |
| オーストラリア | ニューカッスル大学 | | 1986 |
| ニュージーランド | マツセー大学 | 2008 | 1996 |

部局間交流協定

(H22.5.1現在)

| 部局名 | 国名・地域 | 大学名 | 協定締結年 | |
|-------------------|---------------|--------------------------------|-----------------------------|------|
| | | | 研究者交流 | 学生交流 |
| 文学部 | 中國 | 杭州師範大学外国語学部 | 2010 | 2010 |
| | ドイツ | ボン大学日本文化研究所 | 1997 | 1997 |
| 教育学部 | 韓国 | 江南大学校第1カレッジ | 2002 | 2003 |
| | 台湾 | 南栄技術学院 | 2005 | 2005 |
| 法學部 | 韓国 | 韓南大学校法科大学 | 2001 | 2001 |
| | 中国 | 華東政法大学 | 1999 | 2000 |
| | 中国 | 中国人民大学法学院 | 2008 | |
| | 韓国 | 高麗大学校保健科学大学 | 2007 | 2008 |
| 医学部 | タンザニア | ムヒンビリ医科学大学医学部 | 2003 | |
| | 中国 | 中国医学科学院中国協和医科大学 | 1983 | |
| 薬学部 | 中国 | 北京中医大学中藥学院 | 2000 | |
| | 中国 | 南京中医大学中藥学院 | 2000 | |
| 医学薬学研究部 | 中国 | 広西医科大学 | 2007 | |
| | 中国 | 温州医学院 | 2008 | |
| 医学教育部・医学薬学研究部 | タイ | スラナリ技術大学 | 2009 | |
| 医学部・医学教育部・医学薬学研究部 | 中国 | 中国医科大学 | 1999 | |
| 医学部・医学教育部・医学薬学研究部 | 中国 | 哈爾濱医科大学 | 1999 | |
| 医学部・医学教育部・医学薬学研究部 | 中国 | 青島大学医学院 | 2006 | |
| 医学部・医学教育部・医学薬学研究部 | ラオス | ラオス保健科学大学薬学部 | 2010 | |
| | オランダ | ユトレヒト大学薬学部 | 1998 | |
| 薬学部・薬学教育部・医学薬学研究部 | エジプト | カイロ大学薬学部 | 2003 | |
| | ネパール | ボカラ大学 | 2007 | |
| 工学部 | 中国 | 中国科学院力学研究所 | 1993 | |
| | アメリカ | ジョージア工科大学工学部 | 1996 | 2003 |
| | アメリカ | ノースカロライナ州立大学工学部・物理数学科学部 | 1997 | |
| | ブラジル | カンピーナス大学 | 2009 | 2009 |
| | インド | アナマライ大学工学部 | 2006 | |
| | インド | カルナタカ国立工科大学 | 2009 | 2009 |
| | インド | マニバール大学 | 2009 | 2009 |
| | インド | ビルラ工科大学 | 2010 | 2010 |
| | インド | ターパル大学 | 2010 | 2010 |
| | インドネシア | バンドン工科大学 | 2009 | 2009 |
| | 韓国 | 国立釜慶大学校工科大学 | 2000 | 2006 |
| | 韓国 | 韓国生産技術研究院非晶質・ナノ素材開発事業団 | 2003 | |
| | 韓国 | 湖西大学校工科大学半導体ディスプレー革新技術・経営融合大学院 | 2007 | |
| | 韓国 | ソウル市立大学校都市科学部 | 2009 | 2009 |
| | 台湾 | 国立高雄第一科技大学工学院 | 2009 | 2009 |
| | 中国 | 桂林理工大学 | 1999 | 2004 |
| | 中国 | 北京工業大学工学部 | 2005 | 2005 |
| | 中国 | 廣西大学土木建築工程学院・化學化工学院 | 2007 | |
| | 中国 | 北京大学工学院 | 2008 | 2008 |
| | 中国 | 吉林化工学院 | 2008 | 2008 |
| | 中国 | 浙江大学理学院 | 2009 | 2009 |
| | 中国 | 雲南財經大学都市管理及び資源環境学院 | 2009 | 2009 |
| | ベトナム | ハノイ建設大学 | 2002 | 2002 |
| | ベトナム | ホーチミン市建築大学 | 2008 | |
| | ベトナム | フエ科学大学 | 2008 | 2008 |
| | ベトナム | ダナン工科大学 | 2008 | 2008 |
| | マレーシア | マレーシア理科大学機械航空宇宙工学部 | 2009 | 2009 |
| | 中国 | 延辯大学理学院 | 2006 | |
| | ベトナム | ベトナム自然資源環境省地質鉱物資源研究所 | 2007 | |
| | 韓国 | 梨花女子大学高機能ナノ・マイクロ材料センター | 2008 | 2008 |
| | トルコ | ボアジチ大学環境科学研究所 | 2008 | 2008 |
| | チエコ | オストラ・江秋大学及びチエコ科学アカデミー・地球科学研究所 | 2009 | |
| | 中国 | 復旦大学国際関係及び公共事務学院 | 2009 | 2010 |
| | 法曹養成研究科 | 韓国 | 嶺南大学校法學専門大学院 | 2010 |
| | 衝撃・恒限環境研究センター | 韓国 | 湖西大学校ナノ素材及び応用製品地域技術革新センター | 2004 |
| | エジプト | 口シア | ノボル・スクワード立工科大学航空機工学部及び機械工学部 | 2008 |
| | アメリカ | アメリカ | ジャクソン研究所 | 2004 |
| | 生命資源研究・支援センター | 韓国 | 韓国生命工学研究院 | 2008 |
| | 中国 | 中国科学院上海実験動物センター | 2004 | |
| | 中国 | 広東省医学実験動物センター | 2004 | |
| | 地域共同研究センター | 韓国 | 仁荷大学熱プラズマ環境技術地域研究センター | 2006 |

※部局名は、協定締結(更新)当時の名称。

研究者の派遣・受入れ

(平成21年度)

| 地域 | 国名・地域 | 派遣 | | | | | | | 受入れ | | | | | | | |
|--------|---------------|-------|---------|---------|---------|------------|-----|-----|-------|---------|---------|---------|------------|----|-----|----|
| | | 文部科学省 | 日本学術振興会 | 国際協力事業団 | その他国内資金 | 外国政府・研究機関等 | 私費 | 計 | 文部科学省 | 日本学術振興会 | 国際協力事業団 | その他国内資金 | 外国政府・研究機関等 | 私費 | 計 | |
| アジア | イ　ン　ド | 1 | | | 6 | 2 | 1 | 10 | | 1 | | 3 | | 3 | 7 | |
| | イ　ン　ド　ネ　シ　ア | 2 | | 19 | 7 | 5 | 2 | 35 | 1 | 1 | 4 | 4 | 1 | 1 | 12 | |
| | 韓　　国 | 45 | | 1 | 44 | 21 | 9 | 120 | 3 | | | 35 | 1 | 7 | 46 | |
| | シ　ン　ガ　ポ　ー　ル | 2 | | | 7 | 1 | 3 | 13 | | 1 | | | | | 1 | |
| | ス　リ　ラ　ン　カ | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | 0 | |
| | タ　　イ | 2 | | | 7 | 3 | 4 | 16 | | 2 | | 3 | 3 | 2 | 10 | |
| | 台　　湾 | 4 | | | 7 | 6 | 8 | 25 | | | | 8 | | 1 | 9 | |
| | 中　　国 | 36 | | 1 | 77 | 6 | 14 | 134 | 2 | 2 | | 30 | 8 | 15 | 57 | |
| | ネ　パ　ー　ル | | | | | 2 | | 1 | 3 | | | | | | 0 | |
| | ハ　ン　グ　ラ　テ　シ　ュ | 1 | | | 1 | | 2 | 4 | 1 | 3 | | | | 1 | 5 | |
| | フ　イ　リ　ビ　ン | 2 | | | 1 | | 1 | 4 | | | | | | | 0 | |
| | ベ　ト　ナ　ム | 4 | | 11 | 4 | 3 | 1 | 23 | | | 3 | 2 | | | 5 | |
| | マ　レ　ー　シ　ア | 1 | | | 4 | 2 | 1 | 8 | | | | 4 | 2 | | 6 | |
| | モ　ン　ゴ　ル | 3 | | | 1 | | | | | 4 | | | | | 0 | |
| | ラ　オ　ス | 2 | | | | | | 2 | | | | | | | 0 | |
| | 小　計 | 105 | 0 | 32 | 168 | 49 | 48 | 402 | 7 | 10 | 7 | 89 | 15 | 30 | 158 | |
| 中近東 | アラブ首長国連邦 | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | イスラエル | 3 | | | | | 1 | | 4 | | | | | | 0 | |
| | イラ　ン | 1 | | | | | | | 1 | | | | 1 | | 1 | |
| | トルコ | | | | 2 | | | | 2 | 1 | | 2 | 1 | | 4 | |
| | 小　計 | 5 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 8 | 1 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 5 | |
| アフリカ | エ　ジ　プ　ト | 1 | | | | 3 | | | 4 | | 1 | | 1 | 7 | 5 | 14 |
| | ガ　ボ　ン | | | | | | | | 0 | | | | 1 | | 1 | |
| | ボ　ツ　ワ　ナ | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | 0 | |
| | 南　ア　フ　リ　カ | | | | 1 | 1 | 1 | 3 | | | | | | | 0 | |
| | 小　計 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 8 | 0 | 1 | 0 | 2 | 7 | 5 | 15 | |
| オセアニア | オ　ー　ス　ト　ラ　リ　ア | 8 | | | 9 | 1 | 2 | 20 | | 1 | | 2 | | 1 | 4 | |
| | ニュージーランド | 1 | | | 2 | | | 3 | | | | | | | 0 | |
| | 小　計 | 9 | 0 | 0 | 11 | 1 | 2 | 23 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 4 | |
| 北アメリカ | ア　メ　リ　カ | 80 | 3 | 1 | 89 | 7 | 21 | 201 | | 1 | | 5 | | | 6 | |
| | カ　ナ　ダ | 9 | | | 8 | 1 | 4 | 22 | | 1 | | 2 | | | 3 | |
| | 小　計 | 89 | 3 | 1 | 97 | 8 | 25 | 223 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0 | 0 | 9 | |
| 中南アメリカ | コ　ス　タ　リ　カ | | | | | 1 | | | 1 | | | | | | 0 | |
| | アルゼンチン | | | | | | | | 0 | | | | | 1 | 1 | |
| | ブ　ラ　ジ　ル | | | | 4 | | | | 4 | | | 1 | | | 1 | |
| | メ　キ　シ　コ | 1 | | | | 1 | | | 2 | | | | | | 0 | |
| | 小　計 | 1 | 0 | 0 | 4 | 2 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 2 | |
| ヨーロッパ | イ　ギ　リ　ス | 18 | | | 10 | 1 | 5 | 34 | 2 | | | 4 | 1 | 1 | 8 | |
| | イ　タ　リ　ア | 3 | | | 4 | 1 | 2 | 10 | | | | | 1 | 1 | 1 | |
| | オ　ー　ス　ト　リ　ア | 3 | | | 4 | | | 7 | | | | | | | 0 | |
| | オ　ラ　ン　ダ | 2 | | | 1 | | | 3 | 1 | | | | | | 1 | |
| | ギ　リ　シ　ヤ | 4 | | | 2 | | 2 | 8 | | | | 2 | | | 2 | |
| | グ　ル　ジ　ア | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | 1 | |
| | ク　ロ　ア　チ　ア | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | ス　イ　ス | 3 | | | 3 | | 1 | 7 | | | | 1 | | | 1 | |
| | ス　ウェ　ー　デン | 1 | 1 | | | | 1 | 3 | | | | | | | 0 | |
| | ス　ペ　イ　ン | 3 | | | 4 | | 1 | 8 | | | | 1 | | | 1 | |
| | ス　ロ　ベ　ニ　ア | | 2 | | | | | 2 | | | | | | | 0 | |
| | チ　エ　コ | 3 | | | 4 | | | 7 | | | | 2 | | | 2 | |
| | テ　ン　マ　ー　ク | 2 | | | | | 1 | 3 | | | | | 1 | 1 | 1 | |
| | ド　イ　ツ | 22 | | | 16 | 4 | 2 | 44 | | | | 3 | 1 | 1 | 5 | |
| | ノ　ル　ウ　エ　ー | | | | 1 | | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | ハ　ン　ガ　リ　ー | | | | 3 | | | 3 | | | | | | | 0 | |
| | 芬　蘭　ラ　ン　ド | 4 | 1 | 1 | | 1 | 7 | | | | | | | | 0 | |
| | 芬　蘭　ス　ラ　ン　ス | 10 | 2 | | 11 | | 5 | 28 | 1 | 1 | | 4 | | 8 | 14 | |
| | ペ　ル　ギ　ー | | | | 2 | | | 2 | | | | 2 | | | 2 | |
| | 波　蘭　ラ　ン　ド | 3 | | | 3 | | | 6 | | | | | | | 0 | |
| | 波　ル　ト　ガ　ル | 1 | | | 1 | | | 2 | | | | | | | 0 | |
| | リ　ト　ア　ニ　ア | | 1 | | | | | 1 | | | | | | | 0 | |
| | ル　ー　マ　ニ　ア | 3 | | | 1 | | | 4 | | | | | | | 0 | |
| | 口　シ　ア | 1 | 2 | | 5 | | 2 | 10 | | 1 | | 1 | | 1 | 3 | |
| | カ　ザ　フ　ス　タ　ン | | | | | | | 0 | | | | 1 | | | 1 | |
| | 小　計 | 87 | 6 | 3 | 76 | 6 | 23 | 201 | 4 | 3 | 0 | 21 | 2 | 13 | 43 | |
| | 計 | 297 | 9 | 36 | 359 | 71 | 100 | 872 | 12 | 17 | 7 | 124 | 26 | 50 | 236 | |

5 国際交流

海外派遣留学生

交流協定校への派遣学生

学生交流協定を締結している大学への1年以内の派遣のほか、熊本市派遣留学制度による交流事業も行われています。

| 国名・地域 | 大 学 名 | 派 遣 人 員 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------------------------------|---------|----|----|--------|---|----|--------|---|----|--------|---|----|--------|---|----|
| | | 平成17年度 | | | 平成18年度 | | | 平成19年度 | | | 平成20年度 | | | 平成21年度 | | |
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| アメリカ合衆国 | モンタナ州立大学 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | モンタナ大学 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 |
| | パシフィック大学 | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| オーストラリア | ニューカッスル大学 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| ニュージーランド | マッセー大学 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| イギリス | ダラム大学 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | バーミンガム大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | リーズ大学 | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 |
| ドイツ | ボン大学 (文学部との部局間交流協定校) | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | ザールラント大学 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| フランス | ボルドー大学連合 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 |
| | ボルドー国立電子情報高等学院 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 0 | 1 |
| 中国 | 同 濟 大 学 | — | — | — | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 廣 西 师 範 大 学 | — | — | — | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 上 海 师 範 大 学 | — | — | — | — | — | — | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 華東政法大学 (法学部との部局間交流協定校) | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 台湾 | 南栄技術学院 (教育学部との部局間交流協定校) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 南台科技大学 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 0 | 1 |
| 韓国 | 培材大学校 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 韓南大学校 (法学部との部局間交流協定校) | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ベトナム | ハノイ建設大学 (工学部・自然科学研究科との部局間交流協定校) | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 1 | 0 | 1 |
| トルコ | エーゲ大学 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 6 | 0 | 6 |
| アメリカ合衆国 (熊本市による交流事業) | インカーネットワード大学 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — |
| | アワディーオブザレイク大学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | — | — | — |
| 合 計 | | 5 | 12 | 17 | 5 | 5 | 10 | 11 | 7 | 18 | 6 | 9 | 15 | 12 | 8 | 20 |

短期海外語学セミナー

全学生を対象に海外交流協定校等において、語学研修、ホームステイ、スタディツアーなど充実したプログラムで海外語学セミナーを実施しています。

| 国名・地域 | | 大学名 | 実施期間 | 平成10年度 | 平成11年度 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 累計 |
|-------|---------|-----------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 協定校 | カナダ | アルバータ大学 | 夏期4週間 | 10 | 16 | 9 | 26 | 23 | SARS問題により中止 | 29 | 23 | 15 | 28 | 14 | 14 | 207 |
| | 韓国 | 東亜大学校 | 夏期2週間 | — | — | — | — | — | — | — | — | 11 | 7 | 6 | 7 | 31 |
| | 韓国 | 培材大学校 | 夏期2週間 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 4 | 3 | 4 | 11 |
| | オーストラリア | ニューカッスル大学 | 春期2週間 | — | — | — | — | — | — | 7 | 5 | 6 | 8 | 6 | 4 | 36 |
| | 中国 | 上海師範大学 | 夏期2週間 | — | — | — | — | — | — | — | — | 5 | 10 | 14 | 5 | 34 |
| | 中国 | 華東政法学院 | 夏期2週間 | — | — | — | — | — | — | 12 | — | — | — | — | — | 12 |
| | 台湾 | 南台科技大学 | 夏期2週間 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | 2 | 2 | 4 |
| 協定校外 | ドイツ | フライブルク大学 | 夏期4週間 | — | — | — | 8 | 7 | 13 | 9 | 22 | 18 | 21 | 16 | 30 | 144 |

熊本大学国際奨学事業

本事業は、本学学生の海外での学習・研究活動への参加を支援するために平成17年度からはじまった本学独自の奨学金制度です。対象となる活動は、国際学会での発表、国際的な調査活動、国際インターンシップ、交流協定校での目標を定めた学習、国際的な学習・研究活動、短期海外語学セミナーです。

| 部局名 | 平成20年度以前 | | | 平成21年度 | | | |
|-------------|---------------|-----|-----|--------|-----|----|--|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | |
| 学部 | 文学部 | 2 | 6 | 8 | 0 | 5 | |
| | 教育学部 | 16 | 28 | 44 | 3 | 5 | |
| | 法学部 | 1 | 15 | 16 | 1 | 5 | |
| | 理学部 | 14 | 5 | 19 | 5 | 1 | |
| | 医学部 | 6 | 4 | 10 | 1 | 4 | |
| | 薬学部 | 2 | 1 | 3 | 0 | 5 | |
| | 工学部 | 56 | 20 | 76 | 15 | 6 | |
| 小計 | | 97 | 79 | 176 | 25 | 31 | |
| | | 56 | | | | | |
| 大学院 | 文学研究科(修士) | 5 | 7 | 12 | 0 | 0 | |
| | 教育学研究科(修士) | 11 | 9 | 20 | 2 | 2 | |
| | 法学研究科(修士) | 2 | 6 | 8 | 0 | 0 | |
| | 医学教育部 | 23 | 2 | 25 | 6 | 3 | |
| | 保健学教育部 | 2 | 0 | 2 | 3 | 0 | |
| | 薬学教育部 | 17 | 2 | 19 | 6 | 0 | |
| | 自然科学研究科(博士前期) | 117 | 21 | 138 | 31 | 4 | |
| | 自然科学研究科(博士後期) | 42 | 3 | 45 | 26 | 8 | |
| | 社会文化科学研究科(博士) | 6 | 2 | 8 | 1 | 3 | |
| 小計 | | 225 | 52 | 277 | 75 | 20 | |
| | | 95 | | | | | |
| 特別支援教育特別専攻科 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | |
| 専攻科 | 小計 | | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| | | 0 | | | | | |
| 合計 | | 322 | 132 | 454 | 100 | 51 | |
| | | 151 | | | | | |

| 活動内容 | 平成20年度以前 | 平成21年度 |
|------------|----------|--------|
| 国際学会発表 | 258 | 93 |
| 国際的な調査活動 | 88 | 25 |
| 国際インターンシップ | 11 | 1 |
| 留学 | 26 | 6 |
| その他 | 71 | 26 |
| 合計 | 454 | 151 |

短期語学セミナーへの補助

| 国名 | 大学名 | 平成20年度 | 平成21年度 |
|---------|-----------|--------|--------|
| カナダ | アルバータ大学 | 14 | 14 |
| 中国 | 上海師範大学 | 10 | 5 |
| オーストラリア | ニューカッスル大学 | 6 | 4 |
| ドイツ | フライブルク大学 | 15 | 30 |

* 短期語学セミナーへの補助は19年度より開始

渡航した国および地域(平成21年度)

| | | | | | | | | | | |
|------|------|------|----------|---------|---------|--------|------|-------|-------|---------|
| | | | | | | | | | | |
| アメリカ | イギリス | イタリア | インド | インドネシア | オーストラリア | オーストリア | オランダ | カナダ | タイ | 大韓民国 |
| | | | | | | | | | | |
| 台湾 | 中国 | ドイツ | ニュージーランド | バングラデシュ | フィリピン | フランス | ベトナム | ポーランド | ポルトガル | ルクセンブルク |

5 国際交流

外国人留学生

出身地域別・出身国別外国人留学生数

(H22.5.1現在)

| 出身地域 | 学 部 | | | | | | | | | | 大 学 院 | | | | | | | | | | 日本語 研修生 小計 | |
|-----------|-----------|------|------|----|-------------|----|-----------|----|-----|------|-------|------|-----|-------------|----|-----------|-----|--------------------|----|-----|------------------|-------|
| | 学部学生 | | 研究 生 | | 科 目 等 履 修 生 | | 特 別 講 師 生 | | 小計 | 学部学生 | | 研究 生 | | 科 目 等 履 修 生 | | 特 別 講 師 生 | | 特別研究学生 私費 小計 | | | | |
| | 国費 | 外国政府 | 私費 | 国費 | 熊本県 | 私費 | 国費 | 私費 | | 国費 | 外国政府 | 私費 | 国費 | 外国政府 | 私費 | 国費 | 熊本県 | 私費 | | | | |
| ア ブ ニ ア | 中 国 | 24 | | | 7 | | | | 12 | 43 | 4 | 9 | 68 | | | 9 | | | 11 | 101 | 144 | |
| | 韓 国 | 2 | 8 | | | | | | 17 | 27 | | 10 | | | | | | | | 10 | 37 | |
| | イ ン ド | | | | | | | | 0 | 2 | | | | | | | | | 2 | 2 | | |
| | インドネシア | | | | | | | | 2 | 2 | 4 | 8 | 10 | 1 | | | | | 8 | 31 | 33 | |
| | カンボジア | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | タ イ | | | | | | | | 0 | 3 | | 2 | | | | | | | 5 | 5 | | |
| | 台 湾 | | 2 | | | | | | 2 | 4 | | 6 | | | | | | | 1 | 7 | 11 | |
| | ネ バ ー ル | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | バングラデシュ | | | | | | | | 0 | 14 | | 4 | | | | | | | 18 | 18 | | |
| | フィリピン | | | | | | | | 0 | 3 | | | | | | | | | 3 | 3 | | |
| | ブ ラ ン | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ベトナム | 1 | 1 | | | | | | 2 | 4 | | 5 | | | | | | | 9 | 11 | | |
| | マ レ ー シ ア | | 8 | | | | | | 8 | 2 | 1 | | | | | | | | 1 | 4 | 12 | |
| | ミャンマー | | | | | | | | 0 | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | モ ネ ゴ ル | | | | | | | | 0 | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ラ オ ス | | | | | | | | 1 | 1 | | | | | | | | | 1 | 2 | | |
| | キルギス | | | | | | | | 0 | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | 小 計 | 3 | 8 | 35 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 1 | 33 | 87 | 38 | 19 | 107 | 3 | 0 | 9 | 0 | 0 | |
| 中 近 東 | イ ラ ン | | | | | | | | 0 | | | 3 | | | | | | | 3 | 3 | | |
| | サウジアラビア | | | | | | | | 0 | | 2 | | | | | | | | 2 | 2 | | |
| | シ リ ア | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | トルコ | | | | | | | | 0 | 12 | | | | | | | | | 2 | 14 | | |
| | パレスチナ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| 非 欧 | 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 21 | |
| | アメリカ合衆国 | | | | | | | | 3 | 3 | 1 | 1 | | | | | | | 2 | 5 | | |
| 中 南 アメリカ | 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | パラグアイ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ブラジル | | | | | | | | 0 | | | 1 | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ベネズエラ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ペ ル ー | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| 南 ア メ リ カ | グアテマラ | | | | | | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | 1 | | |
| | 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | | |
| ア ブ ニ ア | ツ バ ル | | | | | | | | 0 | | | | | | | | | | 0 | 1 | | |
| | 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| ヨーロッパ | ウ ガ ン ダ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | モ ロ ッ コ | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 0 | 1 | | |
| | エ ジ ピ ト | | | | | | | | 0 | 2 | 2 | | | | | | | | 4 | 4 | | |
| | ガ ー ナ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | カ メ ル ー ン | | | | | | | | 0 | 2 | | | | | | | | | 2 | 2 | | |
| | ジンバブエ | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | マ ラ ウ イ | | | | | | | | 0 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | ル ワ ン ダ | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | | | | | 0 | 1 | | |
| | タンザニア | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | 小 計 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| ヨーロッパ | イタリア | | | | | | | | 0 | 1 | | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | 英 国 | | | | | | | | 4 | 4 | | | | | | | | | 0 | 4 | | |
| | ド イ ツ | | | | | | | | 5 | 5 | | | | | | | | | 0 | 5 | | |
| | フ ラ ン ス | | | | | | | | 4 | 4 | | | | | | | | | 0 | 4 | | |
| | ポーランド | | | | | | | | 1 | | 1 | | | | | | | | 0 | 1 | | |
| | ロ シ ア | | | | | | | | 0 | | 1 | | | | | | | | 1 | 1 | | |
| | 小 計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 13 | 14 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 16 | |
| 計 (44ヶ国) | | 4 | 8 | 36 | 0 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 49 | 106 | 65 | 23 | 113 | 4 | 0 | 9 | 0 | 237 | 2 345 |
| | | 48 | | 7 | | 0 | | 51 | 106 | 201 | | 13 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 23 | 237 | 2 345 |

国際交流会館

熊本大学国際交流会館は、海外からの留学生・研究者用の宿泊施設として昭和60年にA棟が建てられました。その後留学生・研究者の増加に伴い平成7年にはB棟、平成21年11月にはC棟、D棟、E棟が新たに建てられ、平成22年5月現在で全232室に29ヶ国からの留学生・外国人研究者が居住しています。

(H22.5.1現在)

| | 居 室 | | | | | | | 構 造 | | | 共用施設 | | |
|-----|-----|-----|-----|--------|----|-----|--|----------------|--|--|-------|----|--|
| | 家族室 | 夫婦室 | 单身室 | シェアタイプ | 計 | | | | | | | | |
| A 棟 | 3 | 3 | 49 | | | 55 | | 鉄筋コンクリート造(5階建) | | | 談話室 | 1 | |
| B 棟 | 4 | 3 | 50 | | | 57 | | 鉄筋コンクリート造(5階建) | | | 研修室 | 1 | |
| C 棟 | | | | | 36 | 36 | | 鉄骨造(3階建) | | | 和室 | 1 | |
| D 棟 | | | | | 36 | 36 | | 鉄骨造(3階建) | | | 共用ロビー | 1 | |
| E 棟 | | | | 48 | | 48 | | 鉄骨造(3階建) | | | 多目的室 | 1 | |
| 計 | 7 | 6 | 147 | | 72 | 232 | | | | | ラウンジ | 1 | |
| | | | | | | | | | | | 洗濯室 | 10 | |

6 社会連携

生涯学習

公開講座

(平成22年度)

| 講座名 | 開催期間 | 募集人員 | 受講対象者 |
|---|-------------|------|---|
| ラフカディオ・ハーンと夏目漱石の魅力 | 6/19~7/24 | 40 | 中学生・高校生・学生・一般社会人 |
| 大正くまもと文学散歩 | 10/2~10/30 | 50 | 高校生・大学生・一般社会人 |
| 世界の阿蘇を科学する～ジオパークの魅力～ | 9/18~10/9 | 50 | 高校生・大学生・一般社会人 |
| 世相と民俗文化 | 7/3~7/24 | 20 | 高校生・大学生・一般社会人 |
| ワーグナー芸術への招待～《ニーベルングの指環》第1部・第2部～ | 6/5~10/16 | 20 | 一般社会人、学生 |
| 映画公開講座“映画にもっと光を” | 7/3~8/7 | 25 | 一般社会人、学生 |
| 陶芸教室～土と親しみ、つくる喜びをもとめて～ | 5/15~12/18 | 15 | 一般社会人、高校生、障害児 |
| 陸上競技教室～速く走る秘密～ | 7/25~8/29 | 40 | 小学生、中学生、高校生、指導者や教員、コーチなど |
| 健康で幸せなおもてなしを考えよう | 9/4~10/16 | 30 | 一般社会人 |
| 心を動かす健康メッセージの届け方 健康づくりのためのヘルスコミュニケーション | 7/10~8/7 | 30 | 自治体保健師、産業保健師、養護教諭、その他健康に関する啓発や教育の取り組みをされている方々 |
| 教師が使えるカウンセリング講座 | 6/12~2/5 | 30 | 教職員関係者、教師、保育士、心の相談員、子育てサポートー等。その他カウンセリング学習して、子どもの心身の成長に貢献したい人 |
| 先生のための「食育」講座 ～各分野で活躍する食育に携わる方々のために～ | 8/10、8/11 | 30 | 幼稚園・小・中学校教職員、高等学校教職員、養護学校教職員、保健師、保育士、栄養士、各分野で食育に携わる方、他専門職業人を志す方、教員を志す学生、食育に興味をお持ちの方 |
| 特別支援教育コーディネーターのための サバイバルスキル・ワークショップ | 6/19~12/18 | 30 | 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校において、特別支援教育コーディネーターを担当されているか、または、コーディネーターの業務に関心のある人 |
| 看護研究のための質問紙(アンケート)調査法の基礎と統計解析講座 －エクセルによる統計解析－ | 9/11、9/12 | 40 | 質問紙(アンケート)調査法を用いた看護研究を行いたいと考えている人 |
| 看護倫理セミナー2010 －倫理感性を磨き、倫理的判断力を高めよう－ | 6/12、6/13 | 20 | 看護職(看護師・保健師・助産師)、家族が療養生活を送っておられ倫理的な問題や対応に悩んでいる方 |
| 看護倫理セミナー2010 －NANDA、NOC、NICのリンクage－ | 9/25、9/26 | 20 | 臨床現場で看護診断する看護職または看護診断を教える看護教師、看護診断を学びたい人 |
| 看護職の人材育成のための教育研修の企画力を磨くワークショップ2010 －人材確保法促進下の教育研修を考える－ | 11/20、11/21 | 20 | 看護に関する研修の企画を担当する看護職または研修や授業担当者、看護教師 |
| リーダーシップ・トレーニング(熊本会場) | 6/10~9/10 | 30 | 一般社会人、組織・団体のリーダー |
| リーダーシップ・トレーニング(東京会場) | 8/24~11/24 | 20 | 組織・団体のリーダー |

授業開放科目

平成21年度後学期

(実績)

| | 文学部 | 教育学部 | 法学部 | 理学部 | 工学部 | 医学部 | 薬学部 | 教養教育実施機構 | (院)社会文化科学研究科 | (院)自然科学研究科 | 計 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|--------------|------------|-----|
| 科目数 | 4 | 2 | 6 | 12 | 6 | 2 | 3 | 16 | 0 | 3 | 54 |
| 募集人員 | 20 | 8 | 30 | 52 | 30 | 10 | 15 | 76 | 0 | 15 | 256 |
| 受講者数 | 8 | 3 | 14 | 12 | 6 | 1 | 5 | 48 | 0 | 0 | 97 |

平成22年度前学期

(H22.5.1現在)

| | 文学部 | 教育学部 | 法学部 | 理学部 | 工学部 | 医学部 | 薬学部 | 教養教育実施機構 | (院)社会文化科学研究科 | (院)自然科学研究科 | 計 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|----------|--------------|------------|-----|
| 科目数 | 3 | 2 | 7 | 5 | 3 | 2 | 4 | 15 | 2 | 11 | 54 |
| 募集人員 | 15 | 8 | 35 | 21 | 15 | 10 | 20 | 71 | 8 | 55 | 258 |
| 受講者数 | 13 | 5 | 19 | 4 | 1 | 4 | 21 | 37 | 6 | 11 | 121 |

放送(テレビ)公開講座

(平成21年度)

| テーマ:見て聞いて驚く!熊大お宝発見伝 | 放送日 |
|---|-------|
| 第1回 永青文庫は宝の山～古地図手がかりに肥後路を往く～ | 11/14 |
| 第2回 緑のオアシスは宝の山!～仙人先生が語る薬用植物の魅力～ | 11/21 |
| 第3回 機械遺産と赤レンガ工場～よみがえった近代工業の礎たち～ | 11/28 |
| 第4回 熊本大学のシンボル登場!～赤レンガの建物で宝探し～ | 12/5 |
| 第5回 世界が注目!KUMADA/マグネシウム合金～侍魂が宿した近未来の素材～ | 12/12 |

知のフロンティア講座

(平成21年度)

| 演題 | 開催日 |
|----------------------------------|-------|
| 雷さまの華麗なる技 環境を浄化し、ガン治療をめざすパレスパワー | 10/18 |
| 60兆の細胞が織りなす造形美 ヒトのからだの不思議 | 11/29 |
| 気がついたら感染していた、では遅すぎる忍び寄るエイズとどう戦うか | 12/6 |

最近の動き
組織

教育研究等

職員・学生数等
国際交流

社会連携

福利厚生施設
財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバニク・ジャーナル

6 社会連携

包括的連携協定等

本学の知的・人的資源を活用して、連携各機関と相互に協力しながら、地域における教育や文化の質の向上、産業の振興、地域課題の解決、環境保全に貢献することを目的としています。

| | 機関 [協定年月日] | 目的 |
|-------|-----------------------------------|---|
| 自治体 | 天草市(旧本渡市) [平成17年8月23日] | 包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。 |
| | 葦北郡芦北町 [平成18年12月4日] | 中山間地域の振興を目指して相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。 |
| | 熊本市 [平成19年4月26日] | 相互に協力し、熊本市及び熊本都市圏を始めとする地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的とする。 |
| | 水俣市 [平成19年8月4日] | 環境モデル都市の実現のため、環境保全、人材育成、地域づくり等様々な分野において、相互に協力することを目的とする。 |
| 研究機関等 | 財団法人阿蘇火山博物館久木文化財団 [平成18年4月21日] | 相互に協力し、火山を始めとする阿蘇地域に関する研究及び地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とする。 |
| | 独立行政法人メディア教育開発センター [平成19年7月2日] | 本学における教育研究の一層と充実及び学生の資質の向上を図るとともに、eラーニング及び情報コミュニケーション技術活用教育に関する相互の協力を促進し、学術及び高等教育におけるeラーニング及びICT活用教育の発展に寄与することを目的とする。 |
| 企業 | 富士電機システムズ株式会社 [平成17年8月23日] | 本学の有する研究成果と企業の有する技術力を集結し、産学の連携を推進することにより「次世代技術」を開発し、あわせて学術協力の振興、研究成果による社会貢献及び研究者・技術者の育成に資することを目的とする。 |
| | DOWAホールディングス株式会社 [平成19年2月16日] | |



▲水俣市との協定調印式



▲熊本市との協定調印式

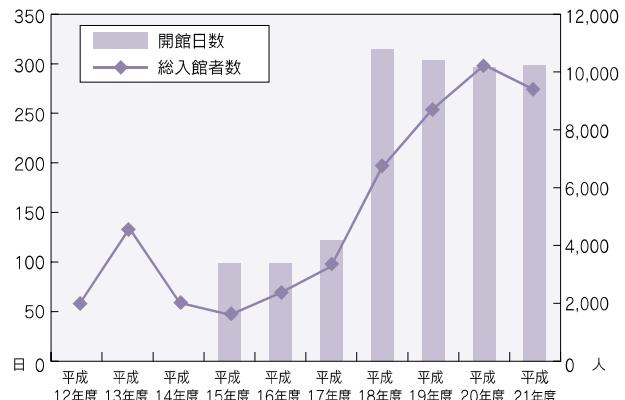
五高記念館入館者数

入館者数

| 年 度 | 年間開館日数 | 総入館者数 | 1日平均 |
|--------|--------|--------|------|
| 平成12年度 | — | 2,002 | — |
| 平成13年度 | — | 4,558 | — |
| 平成14年度 | — | 2,017 | — |
| 平成15年度 | 99 | 1,651 | 約16人 |
| 平成16年度 | 99 | 2,409 | 約24人 |
| 平成17年度 | 122 | 3,257 | 約26人 |
| 平成18年度 | 314 | 6,618 | 約21人 |
| 平成19年度 | 303 | 8,656 | 約28人 |
| 平成20年度 | 296 | 10,123 | 約34人 |
| 平成21年度 | 298 | 9,432 | 約31人 |

平成18年2月までは、土・日のみの開館。

入館者数状況



▲展示室内的勝海舟筆扁額

7 福利厚生施設

保健センター

保健センターは、昭和48年に本学に設置されて以来、学生・教職員の身体及び精神上の健康の保持増進を図るために、定期・臨時の健康診断、健康相談、応急措置等を行っています。

(H22.4.1現在)

| 職員数 | 構造等 | 主な施設 | 業務内容 | 備考 |
|---|----------------------------------|--------------------------|--|--------------|
| 所長(併) 専任教員(所長を含む)3名 看護師2名 学内医(併)4名 カウンセラー2名 | 鉄筋2階建 占有面積483.5m ² | 診察室 検査室 休養室 相談室 | 定期及び臨時の健康診断、RI等取扱者の健康診断、健康相談、精神衛生相談、学生生活・教育相談、学業・進路相談、留学生相談、一般処置、スポーツクリニック、体育系サークル検診、保健センターだよりの発行及び保健情報の提供 | 昭和48年4月12日設置 |

学生寄宿舎

学生寄宿舎は、熊本大学黒髪キャンパスから東に約1.5Km離れた県道337号線沿いに位置し、本学学部学生及び学部留学生に対して勉学に資する生活の場を提供する目的で設置された施設です。

(H22.4.1現在)

| 職員数 | 対象者 | 主な施設 | 業務内容 | 備考 |
|---|---------------------|--|---|---------------------------------------|
| 男子200名 (A棟100名) B棟100名 女子80名 合計280名 | 学部学生 及び 学部留学生 | 鉄筋5階建 (ただし、共通棟は鉄筋平屋建) 延面積5,091m ² | 各室個室(10m ²) 男女浴室各1(共通棟) 各階に談話室、 補食室、洗面・洗濯室、トイレ | 昭和55年4月1日設置 (所在地) 熊本市黒髪7丁目763番地 |

学生会館

学生会館(東光会館・サークル棟)は、学生相互及び学生教職員間の人間関係を緊密にし、学生の課外活動の発展と教養を高め福利厚生の充実を図ることを目的として昭和41年に設立されたもので、会館には、集会室、体育団体・文化団体連絡室、食品・書籍・文具・プレイガイド及び食堂等があります。

(H22.4.1現在)

| 東光会館棟 | | サークル棟 | | |
|----------|-----|---------------------|------|---------------------|
| 課外活動施設関係 | | 福利厚生施設関係 | | |
| 種別 | 部屋数 | 面積 | 種別 | 面積 |
| 大集会室 | 1 | 501m ² | 食堂 | 622m ² |
| 音楽室 | 1 | 100m ² | 厨房 | 263m ² |
| 集会室 | 5 | 322m ² | 購買関係 | 500m ² |
| 和室 | 2 | 46m ² | 機械室 | 46m ² |
| その他 | | 505m ² | その他 | 570m ² |
| 合計 | | 1,474m ² | 合計 | 2,001m ² |
| | | 総面積 | | 4,098m ² |

体育施設

(H22.4.1現在)

| 地区 | 施設名 | 面積等 |
|-----------------|-----------------|-----------------------------------|
| 黒髪 | 陸上競技場 | 1面(トラック300m、7コース) |
| | ラグビー場 | 1面 |
| | サッカーフィールド | 1面 |
| | テニスコート | 4面(教育学部東教場) |
| | プール | 50m 8コース |
| | 体育館 | 2棟 5,016m ² |
| 渡鹿 (大江総合運動場) | 体育器具庫 | 3棟 736m ² |
| | 野球場 | 1面(両翼88m、中堅110m) |
| | テニスコート | 8面 |
| | アーチェリー場 | 1基(10人立) |
| | 弓道場 | 1棟(8人立)、191m ² |
| | 体育館 | 1棟 990m ² |
| ※主として 課外活動用 | 自動車練習場 | 1面 2,378m ² |
| | 合宿研修棟 | 1棟 1,068m ² |
| | 体育器具庫 | 1棟 1,068m ² |
| | テニスコート | 2面 |
| | 体育館 (武道場を含む) | 1棟 1,446m ² |
| | 運動場 | 1面 |
| 大江 (薬学部) | テニスコート | 1面 |
| | 体育館 | 1棟 1,071m ² |
| 三角 (宇城市三角町) | ヨット用艇庫 | 1棟 121m ² |
| | 合宿所 | 1棟 59m ² |
| 広木 | 漕艇用艇庫 | 1棟 225m ² (土地は熊本市から借用) |

その他の福利厚生施設

(H22.4.1現在)

| 地区 | 施設名 | 面積 | 席数 |
|--------|------------|-------------------|-----|
| 黒髪(北) | 北地区食堂1F | 510m ² | 400 |
| | 北地区2F喫茶・軽食 | 197m ² | 200 |
| 黒髪(南) | 南地区食堂 | 204m ² | 175 |
| | 南地区理髪所 | 29m ² | 3 |
| 本荘・九品寺 | 福利施設食堂 | 950m ² | 350 |
| | 福利施設購買 | 165m ² | — |
| 大江 | 楷樹会館食堂 | 306m ² | 200 |
| | 楷樹会館購買 | 67m ² | — |
| | 楷樹会館書籍 | 44m ² | — |
| 蕃滋館 | 蕃滋館食堂 | 185m ² | 106 |
| | 蕃滋館購買 | 56m ² | — |

8 財政

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

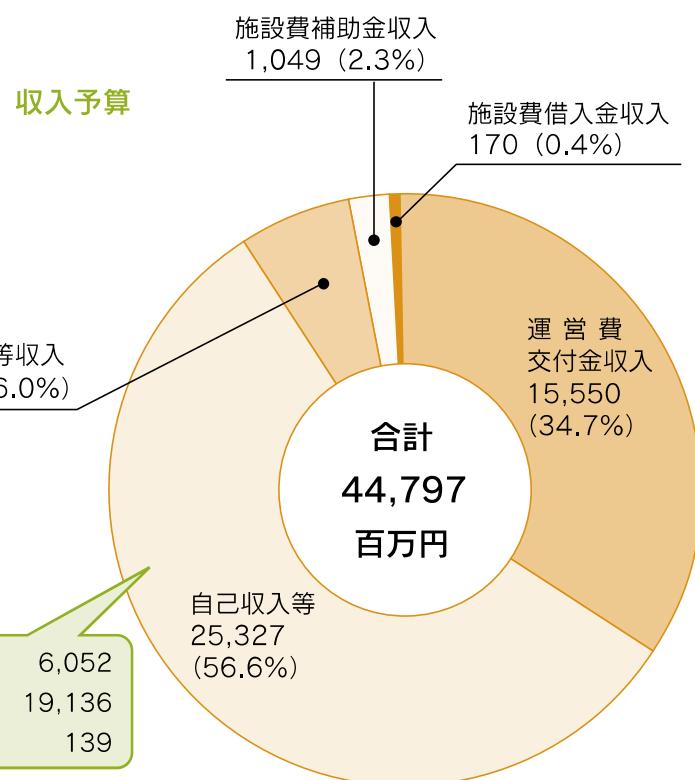
熊本大学
ユバシティミュージアム

平成22年度収入・支出予算額

収入予算

| 事 項 | 収 入 額 |
|----------|--------|
| 運営費交付金収入 | 15,550 |
| 自己収入等 | 25,327 |
| 受託事業等収入 | 2,701 |
| 施設費補助金収入 | 1,049 |
| 施設費借入金収入 | 170 |
| 合 計 | 44,797 |

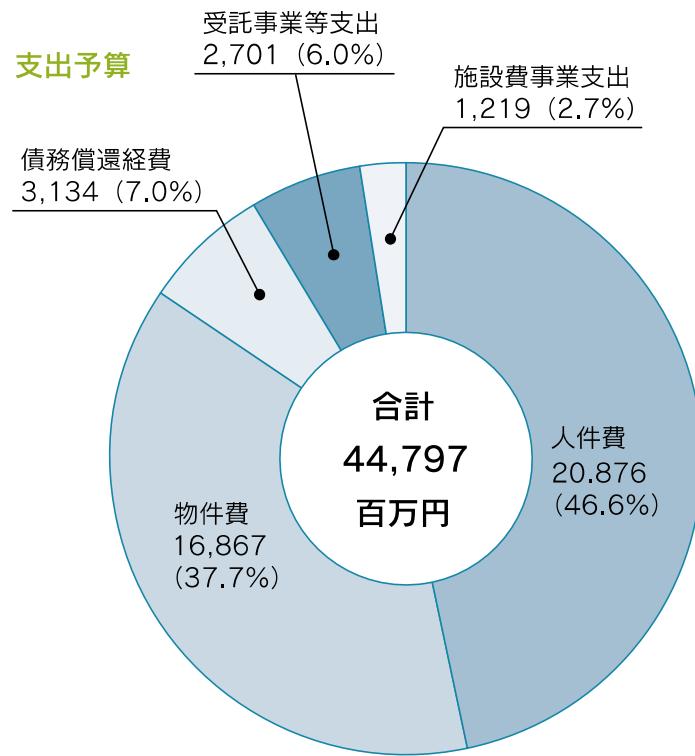
収入予算



支出予算

| 事 項 | 支 出 額 |
|---------|--------|
| 人件費 | 20,876 |
| 物件費 | 16,867 |
| 債務償還経費 | 3,134 |
| 受託事業等支出 | 2,701 |
| 施設費事業支出 | 1,219 |
| 合 計 | 44,797 |

支出予算



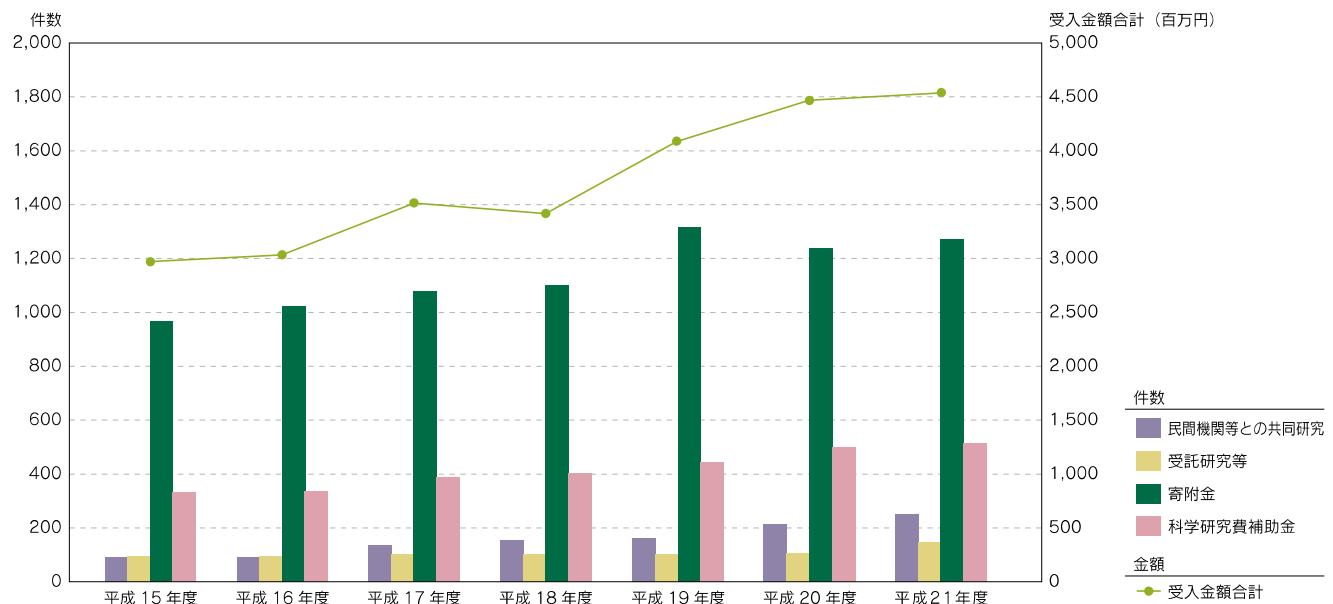
科学研究費補助金採択状況

(平成21年度 執行見込額)

| 種 別 | 件 数 | 金額 (千円) |
|----------------|-----|-----------|
| 新学術領域研究(領域提案型) | 8 | 93,600 |
| 新学術領域研究(課題提案型) | 3 | 29,250 |
| 特定領域研究 | 29 | 240,900 |
| 基盤研究(S) | 3 | 87,880 |
| 基盤研究(A) | 10 | 115,399 |
| 基盤研究(B) | 59 | 326,820 |
| 基盤研究(C) | 196 | 292,760 |
| 挑戦的萌芽研究 | 27 | 41,100 |
| 若手研究(S) | 1 | 23,920 |
| 若手研究(A) | 5 | 57,590 |
| 若手研究(B) | 98 | 181,740 |
| 若手研究(スタートアップ) | 23 | 32,240 |
| 特別研究員奨励費 | 36 | 25,500 |
| 総 計 | 498 | 1,548,699 |

間接経費を含む。千円未満は四捨五入。

外部資金等受入状況



| | 民間機関等との共同研究 | | 受託研究等 | | 寄附金 | | 科学研究費補助金 | | 合 計 金額 (千円) |
|----------|-------------|---------|-------|-----------|-------|-----------|----------|-----------|----------------|
| | 件 数 | 金額 (千円) | 件 数 | 金額 (千円) | 件 数 | 金額 (千円) | 件 数 | 金額 (千円) | |
| 平成 15 年度 | 96 | 259,383 | 101 | 419,788 | 946 | 1,099,927 | 346 | 1,196,329 | 2,975,427 |
| 平成 16 年度 | 117 | 240,225 | 119 | 510,882 | 1,016 | 1,023,294 | 368 | 1,260,276 | 3,034,677 |
| 平成 17 年度 | 149 | 248,932 | 127 | 799,159 | 1,120 | 1,068,162 | 393 | 1,441,148 | 3,557,401 |
| 平成 18 年度 | 162 | 280,397 | 126 | 782,534 | 1,131 | 1,100,367 | 400 | 1,279,420 | 3,442,718 |
| 平成 19 年度 | 176 | 322,753 | 130 | 1,197,121 | 1,286 | 1,211,178 | 435 | 1,414,955 | 4,146,007 |
| 平成 20 年度 | 204 | 346,947 | 139 | 1,145,421 | 1,245 | 1,419,462 | 458 | 1,570,170 | 4,482,000 |
| 平成 21 年度 | 212 | 249,108 | 155 | 1,146,055 | 1,256 | 1,610,660 | 462 | 1,523,199 | 4,529,022 |

※科学技術振興調整費を含む。 ※寄附講座分は含む。 ※熊本大学基金は含まない。 ※特別研究員奨励費は除く。

8 財政

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティミュージアム

主な競争的資金採択状況

グローバル COE プログラム

| プログラム名称 | 実施期間 | 拠点リーダー | |
|----------------------|---------------|----------|------------|
| 細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット | 平成 19 ~ 23 年度 | 桑 昭苑 教授 | 発生医学研究所 |
| エイズ制圧を目指した国際教育研究拠点 | 平成 20 ~ 24 年度 | 満屋 裕明 教授 | エイズ学研究センター |
| 衝撃エネルギー工学グローバル先導拠点 | 平成 20 ~ 24 年度 | 秋山 秀典 教授 | 大学院自然科学研究科 |

科学技術振興調整費

| 事業名 | プログラム名称 | 実施期間 |
|-------------------------------------|-------------------------|-----------|
| 若手研究者の自立的研究環境整備促進 | 挑戦的若手研究者の自立支援人事制度改革 | 平成19~23年度 |
| 地域再生人材創出拠点の形成 | みなまた環境マイスター養成プログラム | 平成19~23年度 |
| アジア・アフリカ科学技術協力の戦略的推進 「国際共同研究の推進」 | 先進 Mg 合金開発に関する東アジア連携の構築 | 平成21~23年度 |
| イノベーション創出若手研究人材養成 | 異分野融合型イノベーション推進人材の育成 | 平成21~25年度 |
| 女性研究者養成システム改革加速 | バッファリングによる女性研究者養成の加速 | 平成22~26年度 |
| 戦略的環境リーダー育成拠点形成 | 地下水環境リーダー育成国際共同教育拠点 | 平成22~26年度 |

地域結集型研究開発プログラム (JST)

| プログラム名称 | 実施期間 | 研究代表者 | |
|----------------------|---------------|----------|------------|
| 次世代耐熱マグネシウム合金の基盤技術開発 | 平成 18 ~ 22 年度 | 河村 能人 教授 | 大学院自然科学研究科 |

再生医療の実現化プロジェクト (JST)

| プロジェクト名称 | 実施期間 | 研究代表者 | |
|---|---------------|---------|---------|
| i P S 細胞から脛 β 細胞への分化制御と糖尿病 再生医療の基盤開発 | 平成 20 ~ 24 年度 | 桑 昭苑 教授 | 発生医学研究所 |

戦略的創造研究推進事業 C R E S T (JST)

| プログラム名称 | 実施期間 | 研究代表者 | |
|---|---------------|----------|------------|
| i P S 細胞由来の樹状細胞とマクロファージを 用いた医療技術の開発 | 平成 20 ~ 25 年度 | 千住 覚 准教授 | 大学院生命科学部 |
| i P S 細胞からの間葉系、造血幹細胞への 分化誘導法の開発と分化の分子機構の解析 | 平成 21 ~ 26 年度 | 江良 択実 教授 | 発生医学研究所 |
| ナノシートから構築する高機能ナノ構造体 | 平成 21 ~ 26 年度 | 松本 泰道 教授 | 大学院自然科学研究科 |

技術協力プロジェクト (JICA)

| プロジェクト名称 | 実施期間 | プロジェクト総括 | |
|-----------------------------------|---------------|----------|------------|
| ホーチミン工科大学地域連携機能強化 プロジェクト・フェーズ2 | 平成 21 ~ 24 年度 | 宇佐川 毅 教授 | 大学院自然科学研究科 |

教育改革プログラム

| 事業名 | プログラム名称 | 実施期間 | 申請部局 |
|-----------------------|--|-----------|-----------|
| 特色ある大学教育支援プログラム | IT環境を用いた自立学習支援システム | 平成15~18年度 | 学務部 |
| | 学習と社会に扉を開く全学共通情報基礎教育 | 平成16~19年度 | 学務部 |
| | 工学教育から発信する大学教育の質保証 | 平成18~20年度 | 工学部 |
| 法科大学院等専門職大学院形成支援プログラム | サイバー・クリニックシステムの構築 -21世紀の司法を担う法曹養成に向けて- (単独) | 平成16~18年度 | 法曹養成研究科 |
| | 九州三大学連携法曹養成プロジェクト(連携) | 平成16~18年度 | 法曹養成研究科 |
| | 実務技能教育教材共同開発共有プロジェクト(連携) | 平成16~18年度 | 法曹養成研究科 |
| 魅力ある大学院教育イニシアティブ | DDSスペシャリスト養成プログラム | 平成17~18年度 | 薬学教育部 |
| | 異分野融合能力をもつ未来開拓型人材育成 | 平成18~19年度 | 自然科学研究科 |
| | エイズ制圧をめざした研究者養成プログラム | 平成18~19年度 | 医学教育部 |
| 大学・大学院における教員養成推進プログラム | 不登校の改善・解決に資する教育力の養成 | 平成17~18年度 | 教育学研究科 |
| 大学教育の国際化推進プログラム | エキスパート・シェアリングの展開と実践 | 平成17年度 | 学術研究協力部 |
| | ラーナーオートノミーを育てる英語教育改革 | 平成18年度 | 学術研究協力部 |
| 現代的教育ニーズ取組支援プログラム | eICこころ学習プログラムの開発 | 平成18~20年度 | 教育学部 |
| 先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム | 次世代情報化社会を牽引するICTアーキテクト育成プログラム(連携) | 平成18~21年度 | 自然科学研究科 |
| 大学教育の国際化推進プログラム | 熊本大学長期海外留学支援プログラム | 平成19~22年度 | 研究・国際部 |
| がんプロフェッショナル養成プラン | 九州がんプロフェッショナル養成プラン(連携) | 平成19~23年度 | 医学教育部 |
| 専門職大学院等教育推進プログラム | ローセンターを活用した臨床教育の高度化(単独) | 平成19~20年度 | 法曹養成研究科 |
| | 実務技能教育指導要綱作成プロジェクト(連携) | 平成19~20年度 | 法曹養成研究科 |
| | 九州・沖縄連携実習教育高度化プロジェクト(連携) | 平成19~20年度 | 法曹養成研究科 |
| | 法科大学院を通じた研究者等の連携一貫教育(連携) | 平成20~21年度 | 法曹養成研究科 |
| 大学院教育改革支援プログラム | IT時代の教育イノベーター育成プログラム | 平成19~21年度 | 社会文化科学研究科 |
| | 大学院科学技術教育の全面英語化計画 | 平成19~21年度 | 自然科学研究科 |
| | 創薬研究者養成プログラム | 平成19~21年度 | 薬学教育部 |
| | 臨床・基礎・社会医学一体型先端教育の実践 | 平成20~22年度 | 医学教育部 |
| 戦略的大学連携支援事業 | スーパー連携大学院構想:産学官の広域連携を通じたイノベーション博士人材の育成(連携) | 平成20~22年度 | 自然科学研究科 |
| 大学病院連携型高度医療人養成推進事業 | 中九州三大学病院合同専門医養成プログラム(連携) | 平成20~24年度 | 医学部附属病院 |
| | 多極連携型専門医・臨床研究医育成事業(連携) | 平成20~24年度 | 医学部附属病院 |
| 質の高い大学教育推進プログラム | エコファーマを担う薬学人育成プログラム | 平成20~22年度 | 薬学部 |
| | 学生主導型ゼミによる地域活性化人材の育成(連携) | 平成20~22年度 | 法学部 |
| 理数学生応援プロジェクト | 高・大・大学院連携型理数学生ステップ・アップ・プログラム | 平成21~24年度 | 理・工学部 |
| 組織的な大学院教育改革推進プログラム | イノベーション創出のための大学院教養教育 | 平成21~23年度 | 自然科学研究科 |
| 大学教育推進プログラム | 学習成果に基づく学士課程教育の体系的構築 | 平成21~23年度 | 全学 |

所属及び申請部局等は、申請当時の名称。

土地・建物面積

土地・建物面積

(H22.4.1現在)

| 区分 | 土地 (m ²) | 建物延面積 (m ²) | 区分 | 土地 (m ²) | 建物延面積 (m ²) |
|---|----------------------|-------------------------|-------------------------------|----------------------|-------------------------|
| 黒髪北地区 | 170,103 | 69,169 | 医学部附属病院 | | 105,094 |
| 附属図書館 | | 8,422 | 遺伝子実験施設 アイソトープ総合施設 | | 4,199 |
| 文学部・法学部 | | 10,876 | エイズ学研究センター | | 1,950 |
| 教育学部 | | 16,306 | 発生医学研究所 | | 5,831 |
| { 大学教育機能開発総合研究センター 学務部 国際化推進センター } | | 27,475 | 動物資源開発研究施設 | | 8,513 |
| 環境安全センター | | 418 | 九品寺地区 | 25,761 | 14,273 |
| 保健センター | | 1,034 | 医学部 | | 13,975 |
| その他 | | 4,638 | その他 | | 298 |
| 教育学部東教場 | 26,375 | 5,536 | 大江地区 | 51,264 | 17,304 |
| 教育学部 | | 1,942 | 薬学部 | | 15,788 |
| 教育学部附属特別支援学校 | | 3,594 | 機器分析施設 | | 1,516 |
| 黒髪南地区 | 115,000 | 94,559 | 京町地区 | 51,547 | 13,445 |
| 事務局 | | 8,086 | 教育学部附属小学校 | | 6,786 |
| 理学部 | | 15,354 | 教育学部附属中学校 | | 6,133 |
| 工学部 | | 46,238 | 教育学部附属教育実践総合センター | | 526 |
| 自然科学研究科 | | 15,510 | 教育学部附属幼稚園 | 4,632 | 1,213 |
| 総合情報基盤センター | | 2,417 | 大江総合運動場 | 39,752 | 3,800 |
| 衝撃・極限環境研究センター | | 351 | 合津マリンステーション | 4,903 | 1,688 |
| イノベーション推進機構 (インキュベーションラボラトリーアンチャービジネスラボラトリーアン) | | 4,129 | イノベーション推進機構 (地域共同ラボラトリーアン) | (19,945) | 2,129 |
| その他 | | 2,474 | その他 | 63,112 | 31,422 |
| 本荘地区 | 107,551 | 183,835 | 合計 | 660,000 | 438,373 |
| 医学部 | | 58,248 | | | |



位置図



9 キャンパス

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数人等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティミュージアム

主要施設等配置図

【黒髪北・南地区 附属特別支援学校】

■黒髪北地区

〒860-8555
熊本市黒髪2丁目40番1号
TEL.096(344)2111

- 1 教育学部
- 2 黒髪北倉庫
- 3 知命堂（宿泊施設）
- 4 くすの木会館
- 5 文学部・法学部、
社会文化科学研究科、
法曹養成研究科
- 6 五高記念館
- 7 五高化学実験場
- 8 全学教育棟、共用棟黒髪6、
国際化推進センター、学務部
- 9 グランド（武田原）
- 10 体育会部室
- 11 体育館
- 12 プール
- 13 文化部室
- 14 学生会館、福利施設
- 15 正門（赤門）
- 16 共用棟黒髪5
- 17 保健センター
- 18 附属図書館
- 19 門衛所
- 20 北地区食堂
- 21 環境安全センター

■黒髪南地区

〒860-8555
熊本市黒髪2丁目39番1号
TEL.096(344)2111

- 22 共用棟黒髪4
- 23 総合情報基盤センター
- 24 事務局
- 25 門衛所
- 26 共用棟黒髪7
- 27 理学部1・2号館
- 28 自然科学研究科研究棟、理学部研究棟
- 29 理学部3号館
- 30 理学部4号館
- 31 自然科学研究科研究棟
- 32 自然科学研究科実験棟
- 33 工学部研究棟I
- 34 工学部1号館
- 35 工学部2号館
- 36 共用棟黒髪3
- 37 沿岸域環境科学教育研究センター
- 38 共用棟黒髪2
- 39 工学部研究資料館
- 40 工学部研究棟III
- 41 (黒髪)総合研究棟
- 42 工学部百周年記念館
- 43 共用棟黒髪1
- 44 工学部研究棟II-2
- 45 工学部9号館
- 46 機械実習工場
- 47 ものづくり実習室
- 48 研究実験棟
- 49 インキュベーションラボラトリ
- 50 ベンチャービジネスラボラトリ、
衝撃・極限環境研究センター
- 51 黒髪地区アイソートープ施設
- 52 工学研究機器センター
- 53 埋蔵文化財調査室
- 54 南地区福利施設FORICO
- 55 南地区食堂
- 56 熊本県地域結集型研究開発
プログラムコア研究室

■附属特別支援学校

〒860-0862
熊本市黒髪5丁目17番1号
TEL.096(342)2956

- 57 運動場
- 58 プール
- 59 附属特別支援学校
- 60 体育館
- 61 教育学部 東教室



【本荘・九品寺地区】

■本荘・九品寺地区 A

〒860-8556 熊本市本荘 1 丁目 1 番 1 号
TEL.096 (344) 2111

- 1 西病棟
- 2 東病棟
- 3 第 6 病棟
- 4 中央診療棟
- 5 外来診療棟
- 6 管理棟
- 7 MRI-CT 装置棟
- 8 医学部臨床研究棟
- 9 山崎記念館
- 10 医学教育図書棟
- 11 医学総合研究棟
- 12 基礎医学研究棟
- 13 看護師宿舎

■本荘・九品寺地区 B

〒860-0811 熊本市本荘 2 丁目 2 番 1 号
TEL.096 (344) 2111

- 14 肥後医育記念館
- 15 医学部基礎研究棟
- 16 エイズ学研究センター、
生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設新館
- 17 生命資源研究・支援センター遺伝子実験施設、
アイソトープ総合施設
- 18 生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設本館
- 19 発生医学研究所
- 20 共用棟本荘 1

■本荘・九品寺地区 C

〒862-0976 熊本市九品寺 4 丁目 24 番 1 号
TEL.096 (344) 2111

- 21 楠樹会館
- 22 体育館
- 23 医学部保健学科（看護学専攻）
- 24 医学部保健学科（放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻）
- 25 グラウンド
- 26 こばと保育園



【大江地区】

■大江地区

〒862-0973 熊本市大江本町 5 番 1 号
TEL.096 (344) 2111

- 1 薬学部
- 2 共同実験棟
- 3 大江地区アイソトープ施設
- 4 薬学部実験研究棟
- 5 創薬研究センター
- 6 育薬フロンティアセンター
- 7 薬学部講義室
- 8 生命資源研究・支援センター機器分析施設
- 9 (大江) 総合研究棟
- 10 福利厚生施設（蓄滋館）
- 11 体育館
- 12 薬用資源エコフロンティアセンター（薬用植物園）
- 13 宮本記念館
- 14 職員宿舎
- 15 グラウンド



9 キャンパス

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学
ユバシティミュージアム



【附属小学校・附属中学校 附属教育実践総合センター】

■附属小・中学校 附属教育実践総合センター

〒860-0081 熊本市京町本丁5番12号
(小学校) TEL.096 (356) 2492
(中学校) TEL.096 (355) 0375
(教育実践総合センター) TEL.096 (325) 3282

- 1 附属中学校運動場
- 2 附属中学校
- 3 附属中学校体育館
- 4 コンピュータ棟
- 5 附属中学校プール
- 6 附属教育実践総合センター
- 7 附属小学校プール
- 8 附属小学校体育館
- 9 附属小学校
- 10 給食センター
- 11 附属小学校運動場



【附属幼稚園】

■附属幼稚園

〒860-0846 熊本市城東町5番9号
TEL.096 (352) 3483

- 1 プール
- 2 附属幼稚園
- 3 保育室A棟
- 4 保育室B棟
- 5 運動場



【大江総合運動場】

■大江総合運動場

〒862-0970 熊本市渡鹿4丁目1番1号
TEL.096 (372) 4241

- 1 弓道場
- 2 管理棟
- 3 合宿棟
- 4 部室棟
- 5 野球場
- 6 体育館
- 7 アーチェリー場
- 8 自動車部練習場



【合津マリンステーション】

■合津マリンステーション

〒861-6102 熊本県上天草市松島町合津6061番
TEL.0969 (56) 0277

- 1 研究飼育棟
- 2 研究実習棟
- 3 研究宿泊棟



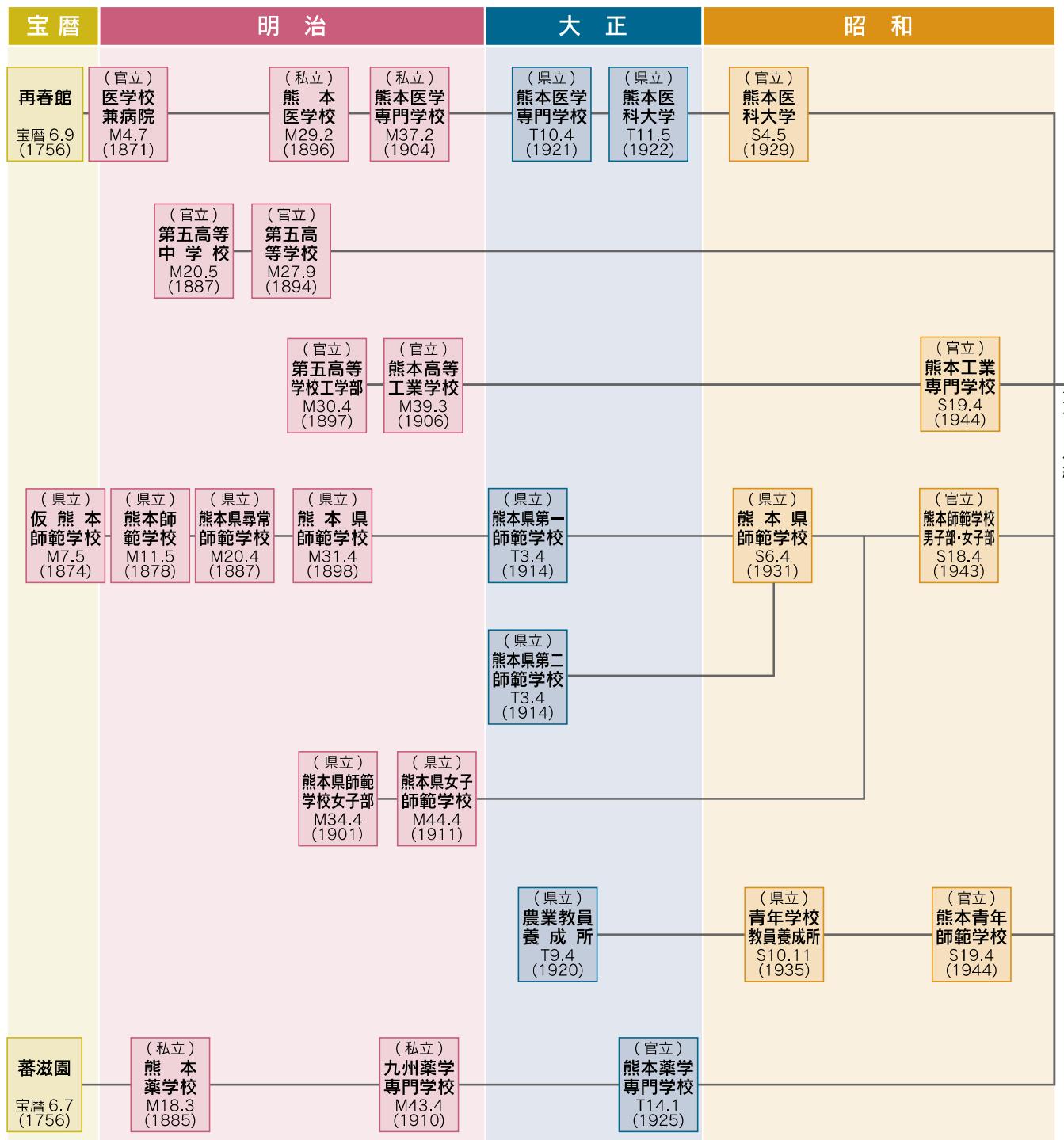
【地域共同ラボラトリー】

■地域共同ラボラトリー

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081の7
TEL.096 (286) 1212

- 1 駐車場
- 2 地域共同ラボラトリー
- 3 遠心力試験室

沿革図



歴代学長

| | 氏名 | 就任年月日 |
|------|-------|-------------|
| 事務取扱 | 鶴淵 健之 | 昭和24年 5月31日 |
| 初代 | 鶴淵 健之 | 昭和25年 1月18日 |
| 2代 | 本田 弘人 | 昭和34年 5月26日 |
| 3代 | 柳本 武 | 昭和40年 5月26日 |
| 事務取扱 | 荒木 雄喜 | 昭和44年 2月12日 |
| 事務取扱 | 忽那 将愛 | 昭和44年 4月 5日 |
| 4代 | 六反田藤吉 | 昭和44年10月17日 |
| 事務取扱 | 黒田 正巳 | 昭和45年 8月31日 |
| 5代 | 黒田 正巳 | 昭和45年11月20日 |

| | 氏名 | 就任年月日 |
|-------|-------|-------------|
| 6代 | 岳中 典男 | 昭和49年11月20日 |
| 7代 | 松山 公一 | 昭和55年11月20日 |
| 8代 | 松角 康彦 | 昭和61年11月20日 |
| 9代 | 森野 能昌 | 平成2年11月20日 |
| 10代 | 江口 吾朗 | 平成8年11月20日 |
| 11代 | 崎元 達郎 | 平成14年11月20日 |
| 法人化初代 | 崎元 達郎 | 平成16年 4月 1日 |
| 12代 | 谷口 功 | 平成21年 4月 1日 |

沿革図



沿革略年表

| | | |
|---------|---|---|
| S24. 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・熊本大学設置 法文学部(法学科、哲学科、史学科、文学科) 教育学部(小学校教員養成課程、中学校教員養成課程) (附属小学校、附属中学校、附属幼稚園) 理学部(数学科、物理学科、化学科、地学科、生物学科) 医学部(医学科)(附属病院、附属厚生女学部) 薬学部(薬剤学科、製薬学科) 工学部(土木建築工学科、採鉱冶金学科、機械工学科、電気工学科、工業化学科)体質医学研究所、附属図書館 (本館、教育学部分館、医学部分館、薬学部分館、工学部分館) | <ul style="list-style-type: none"> S42. 4 ・工学研究科電子工学専攻設置 ・6 ・教育学部附属養護学校高等部設置 |
| S44. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属診療エックス線技師学校を 附属診療放射線技師学校に改称 ・工学研究科合成化学専攻設置 | <ul style="list-style-type: none"> S44. 4 ・医学部附属診療エックス線技師学校を 附属診療放射線技師学校に改称 ・工学研究科合成化学専攻設置 |
| S46. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部附属衝撃エネルギー実験所設置 | <ul style="list-style-type: none"> S46. 4 ・工学部附属衝撃エネルギー実験所設置 |
| S47. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・法文学専攻科廃止 ・4 ・文学研究科修士課程(哲学専攻、史学専攻、国文学専攻、 独文学専攻)設置 ・法学研究科修士課程(法律学専攻)設置 ・医学部附属衛生検査技師学校を附属臨床検査 技師学校に改称 | <ul style="list-style-type: none"> S47. 3 ・法文学専攻科廃止 ・4 ・文学研究科修士課程(哲学専攻、史学専攻、国文学専攻、 独文学専攻)設置 ・法学研究科修士課程(法律学専攻)設置 ・医学部附属衛生検査技師学校を附属臨床検査 技師学校に改称 |
| S48. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科英文学専攻設置 ・特殊教育特別専攻科設置 ・医学部附属免疫医学研究施設設置 ・保健管理センター設置 | <ul style="list-style-type: none"> S48. 4 ・文学研究科英文学専攻設置 ・特殊教育特別専攻科設置 ・医学部附属免疫医学研究施設設置 ・保健管理センター設置 |
| S49. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部附属薬用植物園設置 ・工学部環境建設工学科設置 | <ul style="list-style-type: none"> S49. 4 ・薬学部附属薬用植物園設置 ・工学部環境建設工学科設置 |
| S50. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭特別別科設置 | <ul style="list-style-type: none"> S50. 4 ・養護教諭特別別科設置 |
| S51. 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部(看護学科、衛生技術学科)設置 | <ul style="list-style-type: none"> S51. 10 ・医療技術短期大学部(看護学科、衛生技術学科)設置 |
| S52. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部養護教諭養成課程設置 | <ul style="list-style-type: none"> S52. 4 ・教育学部養護教諭養成課程設置 |
| S53. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科環境建設工学専攻設置 ・医療技術短期大学部診療放射線技術学科設置 | <ul style="list-style-type: none"> S53. 4 ・工学研究科環境建設工学専攻設置 ・医療技術短期大学部診療放射線技術学科設置 |
| S54. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属看護学校、附属臨床検査技師学校廃止 ・養護教諭養成所廃止 ・4 ・法文学部を改組し、文学部(哲学科、地域科学科、史学科、 文学科)及び法学部(法律学科)設置 ・教育学部附属教育工学センター設置 ・医学部附属動物実験施設設置 ・工学部情報工学科設置 | <ul style="list-style-type: none"> S54. 3 ・医学部附属看護学校、附属臨床検査技師学校廃止 ・養護教諭養成所廃止 ・4 ・法文学部を改組し、文学部(哲学科、地域科学科、史学科、 文学科)及び法学部(法律学科)設置 ・教育学部附属教育工学センター設置 ・医学部附属動物実験施設設置 ・工学部情報工学科設置 |
| S55. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属助産婦学校、附属診療放射線技師学校廃止 ・4 ・医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置 | <ul style="list-style-type: none"> S55. 3 ・医学部附属助産婦学校、附属診療放射線技師学校廃止 ・4 ・医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻設置 |
| S57. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属中毒研究施設及び附属免疫医学研究施設を 廃止し、附属免疫医学研究施設設置 | <ul style="list-style-type: none"> S57. 4 ・医学部附属中毒研究施設及び附属免疫医学研究施設を 廃止し、附属免疫医学研究施設設置 |
| S58. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科地域科学専攻設置 ・工学研究科情報工学専攻設置 | <ul style="list-style-type: none"> S58. 4 ・文学研究科地域科学専攻設置 ・工学研究科情報工学専攻設置 |
| S59. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝医学研究施設設置 ・体質医学研究所廃止 | <ul style="list-style-type: none"> S59. 4 ・医学部附属遺伝医学研究施設設置 ・体質医学研究所廃止 |
| S60. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・薬学部薬剤学科及び製薬学科を改組し、薬科学科設置 ・薬学研究科医療薬科学専攻(博士課程)設置 (薬剤学専攻、製薬学専攻を改組) | <ul style="list-style-type: none"> S60. 4 ・薬学部薬剤学科及び製薬学科を改組し、薬科学科設置 ・薬学研究科医療薬科学専攻(博士課程)設置 (薬剤学専攻、製薬学専攻を改組) |
| S61. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・法文学部廃止 ・教育専攻科廃止 ・4 ・教育学研究科修士課程(学校教育専攻、障害児教育専攻、 教科教育専攻)設置 ・工学部電気工学科、電子工学科及び情報工学科を 電気情報工学科に、工業化学科及び合成化学科を 応用化学科に改組 ・工学研究科生産科学専攻(博士課程)設置 ・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置 | <ul style="list-style-type: none"> S61. 3 ・法文学部廃止 ・教育専攻科廃止 ・4 ・教育学研究科修士課程(学校教育専攻、障害児教育専攻、 教科教育専攻)設置 ・工学部電気工学科、電子工学科及び情報工学科を 電気情報工学科に、工業化学科及び合成化学科を 応用化学科に改組 ・工学研究科生産科学専攻(博士課程)設置 ・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置 |
| S41. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学専攻科廃止 ・4 ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程設置 ・理学研究科修士課程(数学専攻、物理学専攻、 化学専攻、地学専攻、生物学専攻)設置 ・医学部附属中毒研究施設設置 ・工学部附属工学研究機器センター設置 ・養護教諭養成所設置 | <ul style="list-style-type: none"> S41. 3 ・理学専攻科廃止 ・4 ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程設置 ・理学研究科修士課程(数学専攻、物理学専攻、 化学専攻、地学専攻、生物学専攻)設置 ・医学部附属中毒研究施設設置 ・工学部附属工学研究機器センター設置 ・養護教諭養成所設置 |
| S62. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置 | <ul style="list-style-type: none"> S62. 4 ・理学研究科環境科学専攻(博士課程)設置 |

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

沿革略年表

| | | | |
|--------|--|--------|---|
| S62. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部資源開発工学科、金属工学科を材料開発工学科に、機械工学科、生産機械工学科を機械工学科に改組 | H10. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・薬学研究科博士課程に臨床薬学専攻を設置、医療薬科学専攻を薬科学専攻に改組 |
| . 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域共同研究センター設置 | H11. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学研究科に博士前期課程として物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻を設置し、博士後期課程として物質・生命科学専攻を設置 |
| S63. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属教育工学センターを附属教育実践研究指導センターに改組 ・工学部土木工学科、建築学科及び環境建設工学科を改組し、土木環境工学科、建築学科設置 ・自然科学研究科博士課程(生産科学専攻、システム科学専攻、環境科学専攻)設置 (理学研究科環境科学専攻(博士課程)及び工学研究科生産科学専攻(博士課程)を振替) | H12. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属遺伝発生医学研究施設トランジエニック実験室及び医学部附属動物実験施設を廃止し、動物資源開発研究センター設置 ・自然科学研究科博士後期課程生産科学専攻及びシステム科学専攻を生産システム科学専攻及びシステム情報科学専攻に改組 |
| H2. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科電気工学専攻、電子工学専攻及び情報工学専攻を電気情報工学専攻に、工業化学専攻及び合成化学専攻を応用化学専攻に改組 ・理学部生物学科を生物科学科に改組 | H13. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部附属衝撃エネルギー実験所及び理学部極低温装置室を整備統合し、衝撃・極限環境研究センターを設置 ・環境保全センター(学内措置)設置 |
| . 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センター設置 | H14. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部地域共生社会課程設置 ・医学部附属遺伝発生医学研究施設を廃止し、発生医学研究センター設置 ・教育学研究科養護教育専攻設置 ・自然科学研究科博士後期課程環境科学専攻を環境共生科学専攻に改組 |
| H3. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学研究科資源開発工学専攻及び金属工学専攻を材料開発工学専攻に、機械工学専攻及び生産機械工学専攻を機械工学専攻に改組 ・機器分析センター設置 | . 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学研究科哲学専攻、地域科学専攻、史学専攻、国文学専攻、英文学専攻及び独文学専攻を人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻及び言語文学専攻に改組 ・法学研究科法律学専攻を法学専攻及び公共政策専攻に改組 ・薬学研究科分子機能薬学専攻(博士課程)設置 ・生涯学習教育研究センター設置 ・沿岸域環境科学教育研究センター設置(理学部附属臨海実験所の転換) |
| H4. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学部附属免疫医学研究施設及び附属遺伝医学研究施設を廃止し、附属遺伝発生医学研究施設設置 ・医学研究科脳・免疫統合科学系専攻(博士課程)設置 ・工学研究科土木工学専攻、建築学専攻及び環境建設工学専攻を土木環境工学専攻及び建築学専攻に改組 | H15. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属教育実践研究指導センターを附属教育実践総合センターに改組 ・環境保全センター(学内措置)を環境安全センター(学内措置)に改称 ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーセンター設置 ・情報プラザ設置 ・医学研究科修士課程(医科学専攻)設置 ・社会文化科学研究科博士課程(文化学専攻、公共社会政策学専攻)設置 ・総合情報処理センターを総合情報基盤センターに改組 ・インキュベーション施設設置 ・医学薬学研究部設置 |
| H5. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部地学科を地球科学科に改組 | | <ul style="list-style-type: none"> ・医学研究科修士課程、博士課程を廃止し、医学教育部修士課程(医科学専攻)、医学教育部博士課程(生体医科学専攻、病態制御額専攻、臨床医科学専攻、環境社会医学専攻)設置 ・薬学研究科博士課程を廃止し、薬学教育部博士課程(分子機能薬学専攻、生命薬科学専攻)設置 ・薬学部附属薬用植物園を廃止し、薬学教育部附属薬用植物園設置 |
| H6. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学進学課程廃止 | | |
| . 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科生物学専攻を生物化学専攻に改組 | | |
| H7. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子実験施設設置 ・アイソトープ総合センター設置 | | |
| H8. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生センター設置 | | |
| H9. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部土木環境工学科、建築学科、材料開発工学科、機械工学科、電気情報工学科及び応用化学科を環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科及び物質生命化学科に改組 ・教養部廃止 | | |
| . 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学部哲学科及び史学科を人間科学科及び歴史学科に改組 ・教育学部生涯スポーツ福祉課程設置 ・法学部法律学科を法学科及び公共政策学科に改組 ・理学部数学科、物理学科、化学科、地球科学科及び生物科学科を数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科及び環境理学科に改組 ・理学研究科地学専攻を地球科学専攻に改組 ・エイズ学研究センター設置 ・大学教育研究センター(学内措置)設置 | | |
| H10. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学研究科修士課程を廃止 ・工学研究科修士課程を廃止 ・附属図書館工学部分室を廃止 | | |

沿革略年表

| | | | |
|--------|--|--------|--|
| H15. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・機器分析センター、遺伝子実験施設、 ・アイソトープ総合センター、動物資源開発研究センターを廃止し、生命資源研究・支援センター設置 ・大学教育機能開発総合研究センター設置 ・大学教育研究センター(学内措置)を廃止し、教養教育実施機構(学内措置)設置 ・教育学部特別教科(看護)教員養成課程、医療技術短期大学部を改組し、医学部保健学科設置 | H19.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・バイオエレクトリクス研究センター設置 ・地域共同研究センター、知的財産創生推進本部、インキュベーション施設、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーを発展的に再編し、イノベーション推進機構設置 ・文学研究科(修士課程)人間科学専攻、地域科学専攻、歴史学専攻、言語文学専攻、法学研究科(修士課程)法学公共政策学専攻及び社会文化科学研究科(修士課程)教授システム学専攻を社会文化科学研究科(博士課程前期)公共政策学専攻、法学専攻、現代社会人間学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組 ・社会文化科学研究科(博士課程)文化学専攻、公共社会政策学専攻を社会文化科学研究科(博士後期課程)人間・社会科学専攻、文化学専攻、教授システム学専攻に改組 ・医学教育部(博士課程)生体医科学専攻、病態制御学専攻、臨床医学専攻、環境社会医学専攻を医学専攻に改組 ・保健学教育部(修士課程)保健学専攻設置 ・薬学部附属育薬フロンティアセンター設置 ・教育学研究科(修士課程)障害児教育専攻を教育学研究科(修士課程)特別支援教育専攻に改称 ・特殊教育特別専攻科を特別支援教育特別専攻科に改称 |
| H16. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・設置者が国から国立大学法人へ変更 ・法学部法学科及び公共政策学科を法学科に改組 ・理学部数理科学科、物理科学科、物質化学科、地球科学科、生物科学科、環境理科学科を理学科に改組 ・法学研究科法学専攻及び公共政策専攻を法学公共政策学専攻に改組 ・法曹養成研究科設置 ・サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーをベンチャー・ビジネス・ラボラトリーに改称 ・保健管理センターを保健センターに改称 | H20. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・政策創造研究センター設置 ・文学部人間科学科、地域科学科、歴史学科、文学科を総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科に改組 ・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター設置 |
| H17. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学部人間科学科、地域科学科、歴史学科、文学科を総合人間学科、歴史学科、文学科、コミュニケーション情報学科に改組 ・工学部附属ものづくり創造融合工学教育センター設置 | H21. 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際化推進機構を設置し、留学生センターを国際化推進センターに改組 |
| H18. 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・工学部環境システム工学科、知能生産システム工学科、電気システム工学科、数理情報システム工学科、物質生命化学科を社会環境工学科、建築学科、マテリアル工学科、機械システム工学科、情報電気電子工学科、数理工学科、物質生命化学科に改組 ・薬学部薬科学科を薬学科、創薬・生命薬科学科に改組 ・大学院自然科学研究科物質科学専攻、材料システム専攻、機械システム専攻、数理科学・情報システム専攻、電気システム専攻、自然システム専攻、環境土木工学専攻、建築学専攻、生産システム科学専攻、システム情報科学専攻、環境共生科学専攻、物質・生命科学専攻を理学専攻、複合新領域科学専攻、物質生命化学専攻、マテリアル工学専攻、機械システム工学専攻、情報電気電子工学専攻、社会環境工学専攻、建築学専攻、産業創造工学専攻、環境共生工学専攻に改組 ・薬学部附属創薬研究センター設置 ・社会文化科学研究科修士課程(教授システム学専攻)設置 ・環境安全センターを学内共同教育研究施設として改組 | . 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育学研究科(修士課程)学校教育専攻、特別支援教育専攻、教科教育実践専攻、養護教育専攻及び障害児教育専攻を、教育学研究科(修士課程)学校教育実践専攻、教科教育実践専攻に改組 ・発生医学研究センターを発生医学研究所に改組 ・文学部附属永青文庫研究センター設置 |
| . 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・法曹養成研究科附属臨床法学教育研究センター設置 | H22. 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・医学薬学研究部を生命科学研究部に改組 |
| . 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・五高記念館設置 | . 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然科学研究科(博士前期課程)数学専攻設置 ・保健学教育部(博士後期課程)保健学専攻設置 ・薬学教育部(博士前期課程)分子機能薬学専攻及び生命薬科学専攻を、薬学教育部(博士前期課程)創薬・生命薬科学専攻に改組 ・薬学教育部附属薬用資源工コフロンティアセンターに改組 |
| H19. 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術短期大学部廃止 | | |
| . 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院先導機構設置 ・生涯学習教育研究センター、政策創造研究センターを廃止し、政策創造研究教育センター設置 ・eラーニング推進機構設置 ・教育学部附属養護学校を教育学部附属特別支援学校に改称 ・自然科学研究科附属総合科学技術共同教育センター設置 | | |

最近の動き

組織

教育研究等

職員・学生数等

国際交流

社会連携

福利厚生施設

財政

キャンパス

沿革

熊本大学ユニバーシティ・ミュージアム

五高記念館は国の重要文化財に指定され、本学のシンボルとなっています。このほかにも、重要文化財等の赤煉瓦建物群や登録文化財となっている建物、また、他のキャンパスで保存・活用されている施設があり、これらの建物・施設・資料等から成る熊本大学博物館の実現を目指しています。その第一歩として、平成18年度から五高記念館の整備に着手し、現在、火曜日を除く毎日開館しています。館内では五高関係史・資料を展示した常設展や企画展をご覧いただけます。

五高記念館(国指定重要文化財)

《黒髪北地区》URL <http://www.goko.kumamoto-u.ac.jp/>

明治20年、九州における当時の最高学府として第五高等中学校(明治27年に第五高等学校と改称)が設置され、嘉納治五郎、小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)、夏目漱石など著名人が教鞭をとりました。五高記念館は、第五高等中学校の教室として明治22年に完成以来、120年を経て、今なお優美な姿をとどめています。

| | |
|------|--|
| 休館日 | 毎週火曜日、年末年始 (3月～11月は祝日も開館します) (本学の都合上、臨時に休・開館する場合があります) |
| 開館時間 | 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで) |
| 入館料 | 無料 |



▲五高記念館(国指定重要文化財)



▲平成19年10月10日に行われた開校120周年
記念式典の様子



▲復原教室



▲入学試験問題

熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館)

《大江地区》URL <http://www.pharm.kumamoto-u.ac.jp/museum/>

開学100年以上の歴史をもつ薬学部に関する貴重な資料や珍しい実験器具の展示をはじめ、くすりの知識などを紹介する様々なコーナーを設置しています。



▲熊薬ミュージアム(熊薬同窓会館)



▲資料展示室



▲古書



▲調剤器のいろいろ

赤門(国指定重要文化財)

《黒髪北地区》

第五高等中学校の表門は、明治22年に熊本市古城町の仮校舎から現在の場所へ移転して以来、正門として使用されました。通称「赤門」と親しみを込めて呼ばれ、現在は本学北キャンパスの入口となっています。



工学部研究資料館(国指定重要文化財)

《黒髪南地区》

旧熊本高等工業学校の機械工場として明治41年に完成し、大学に引き継がれた際に工学部中央工場と改称し、昭和45年に新工場ができるまで実験工場として使用されました。また、機械技術に関わる歴史的遺産を次世代に伝えようと平成19年に設けられた日本機械学会の「機械遺産」に。同年、館内の工作機械群とともに認定されました。

オープンキャンパスや大学祭では、すべての機械を動かして、見学していただいている。



化学実験場(国指定重要文化財)

《黒髪北地区》

この建物は、フランスで建築を学んだ山口半六の設計によるもので、明治22年に完成しました。西側に廊下を設けることで熊本の強い西日を避けるなどの工夫が施され、南側には特徴ある階段教室が設けられています。

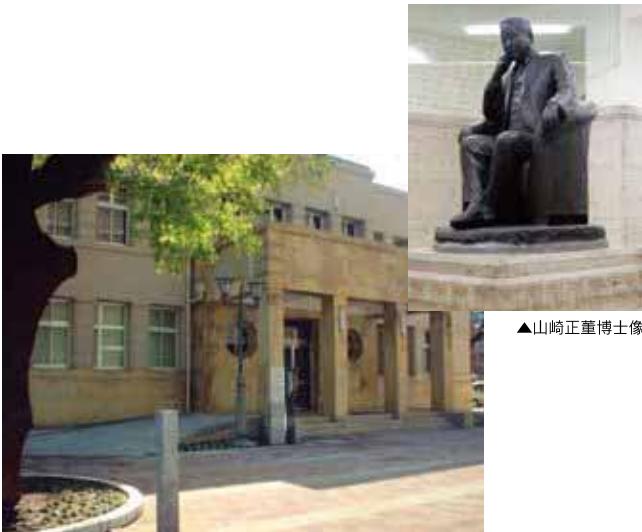


▲階段教室

山崎記念館(登録有形文化財)

《本荘・九品寺地区》

医学部の中興の祖と称えられる山崎正董博士の功績を記念して、昭和6年(1931)に建設されました。内部を一般公開し未永く保存するため、平成18年(2006)、中央診療棟新築の際、建物ごと48メートル移動させました。



▲山崎正董博士像

2010 熊本大学概要

平成22年7月発行

編集発行: 国立大学法人 熊本大学

熊本市黒髪2-39-1

TEL.096-344-2111(代表)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>



国立大学法人 熊本大学

熊本県熊本市黒髪2-39-1
TEL.096-342-3119(企画部企画課)
<http://www.kumamoto-u.ac.jp>